

**「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」
策定のためのアンケート調査
結果報告書**

平成 30 年3月



米原市

目次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査方法	1
3. 回収結果	1
4. 報告書の見方	1
II アンケート調査結果	2
1. あなたご自身のことについて	2
2. お住まいの地域とのかかわりなどについて	9
3. 日常生活について	19
4. 地域活動・ボランティア活動について	36
5. 災害時の支え合いについて	47
6. 地域福祉に関連する制度や機関、団体について.....	52
7. 米原市の地域福祉施策について	70
III 課題のまとめ	76
1. 回答者について	76
2. 地域とのかかわりなどについて	76
3. 日常生活について	76
4. 地域活動・ボランティア活動について	77
5. 災害時の支え合いについて	77
6. 地域福祉に関する制度や機関、団体について.....	78
7. 米原市の地域福祉施策について	78

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の皆さまの福祉に対する考えや、地域活動への参加状況の実態把握、ご意見・ご提言をお伺いし、「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」の策定に向けた基礎資料とすることを目的に実施したものです。

2. 調査方法

調査対象者	20歳以上の市民1,995人の方を無作為に抽出
調査期間	平成29年11月3日～平成29年11月17日
調査方法	郵送配布・郵送回収による郵送調査方法

3. 回収結果

配布数	1,995件
有効回収数	1,168件
有効回収率	58.5%

4. 報告書の見方

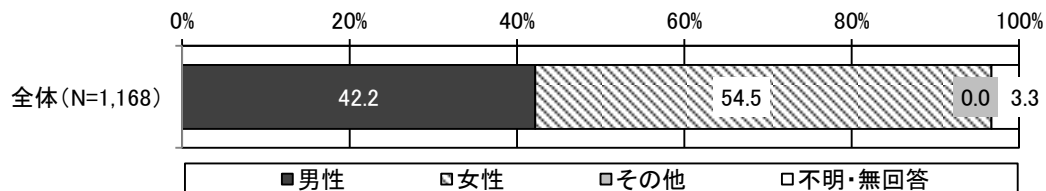
- 回答結果は、有効サンプル数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。小数点第2位以下を四捨五入しているため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合があります。このことは、調査結果の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの回答の占める割合を示しています。そのため、合計が100%を超える場合があります。
- 図表中において、「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- グラフおよび表のN（number of case）は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢は、簡略化している場合があります。
- グラフ中の数値表示は、グラフが繁雑になる場合には省略しています。
- 前回調査とは、平成24年度に実施した「米原市地域福祉計画策定に関するアンケート調査」のことです。（配布数2,000件、回収数953件、回収率47.7%、有効回答数952件）

Ⅱ アンケート調査結果

1. あなたご自身のことについて

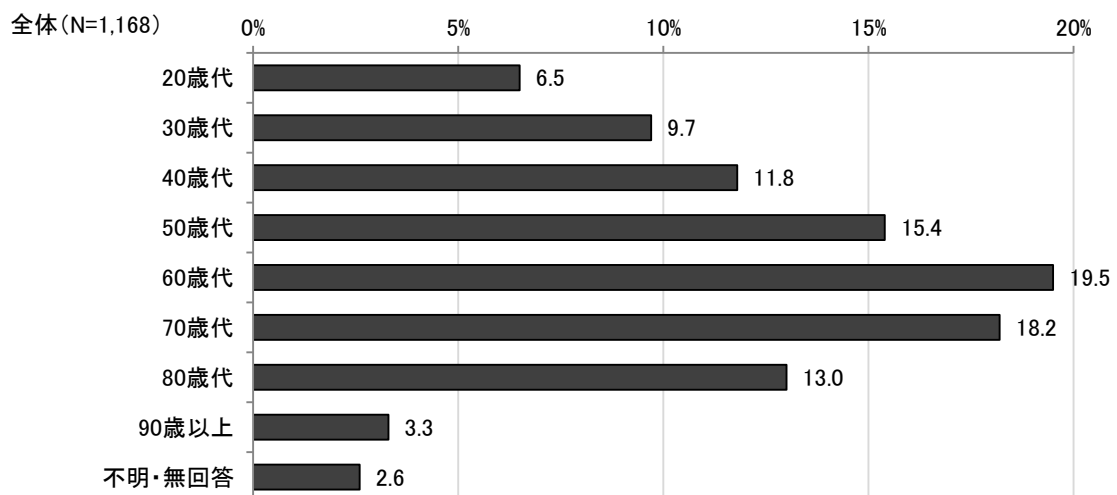
問1 性別をおうかがいします。(1つに○)

性別についてみると、「男性」が42.2%、「女性」が54.5%となっています。



問2 年齢をおうかがいします。(平成29年11月1日現在)(1つに○)

年齢についてみると、「60歳代」が19.5%、「70歳代」が18.2%、「50歳代」が15.4%と続いています。



《参考》平成27年国勢調査にみる20歳以上の年代別人口分布(構成比)

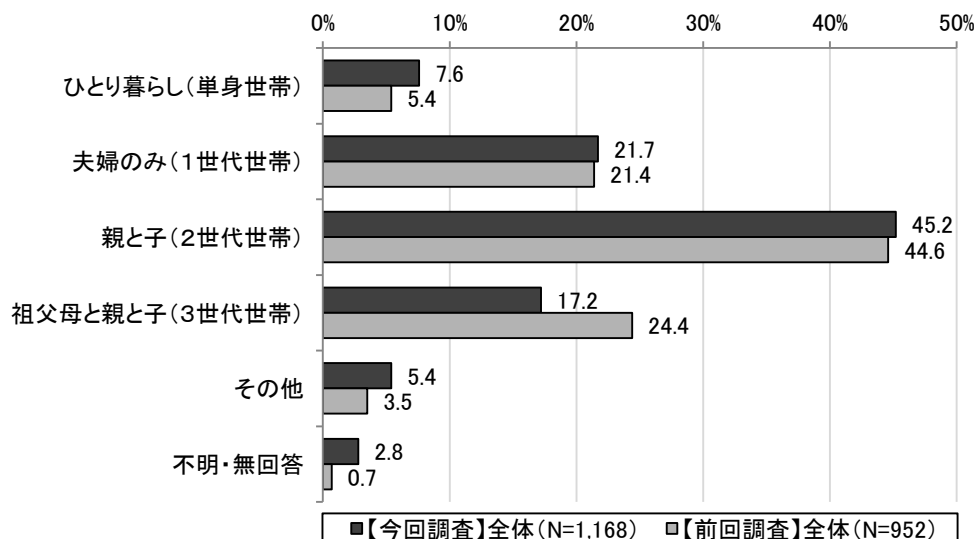
	米原市	滋賀県	全国
20歳以上人口	100.0%	100.0%	100.0%
20歳代	11.8%	13.0%	11.8%
30歳代	14.2%	15.9%	14.8%
40歳代	16.2%	18.2%	17.5%
50歳代	15.9%	14.9%	14.7%
60歳代	17.0%	17.0%	17.2%
70歳代	13.6%	12.1%	13.3%
80歳代	9.2%	6.6%	7.7%
90歳以上	1.8%	1.2%	1.7%
不詳	0.4%	1.2%	1.4%

問3 現在の家族構成についてお答えください。(1つに○)

家族構成についてみると、「親と子(2世代世帯)」が45.2%、「夫婦のみ(1世代世帯)」が21.7%、「祖父母と親と子(3世代世帯)」が17.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「祖父母と親と子(3世代世帯)」が7.2ポイント低く、「ひとり暮らし(単身世帯)」が2.2ポイント高くなっています。

■前回調査との経年比較



《参考》平成27年国勢調査にみる世帯種類別分布(構成比)

	米原市	滋賀県	全国
一般世帯	100.0%	100.0%	100.0%
単身世帯	21.9%	29.6%	36.0%
夫婦のみ(1世代)	21.5%	20.5%	20.9%
親と子(2世代)	40.7%	40.7%	37.2%
親と子と孫(3世代)	15.9%	9.1%	5.9%

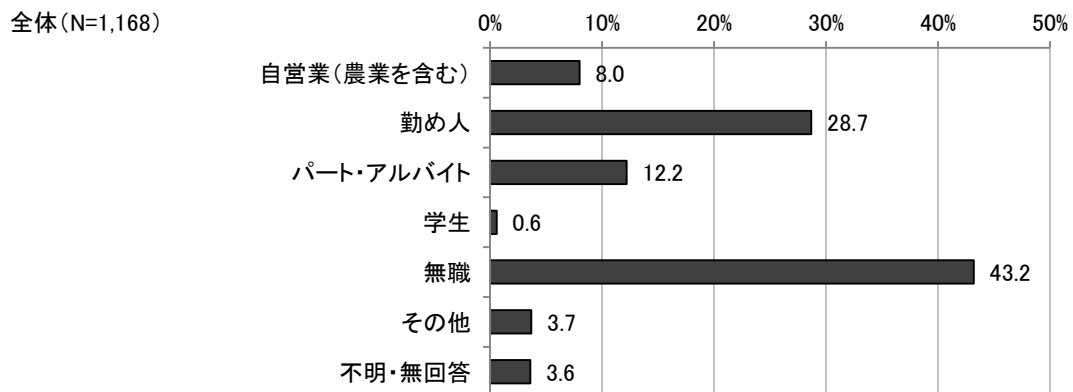
■家族構成（年齢別）

年齢別にみると、すべてにおいて「親と子（2世代世帯）」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		ひとり暮らし (単身世帯)	夫婦のみ(1 世代世帯)	親と子(2世 代世帯)	祖父母と親と 子(3世代世 帯)	その他	不明・無回答	
年 齢 別	全体	N=1,168	89 7.6	254 21.7	528 45.2	201 17.2	63 5.4	33 2.8
	20歳代	N=76	2 2.6	5 6.6	42 55.3	23 30.3	4 5.3	- -
	30歳代	N=113	5 4.4	11 9.7	69 61.1	23 20.4	3 2.7	2 1.8
	40歳代	N=138	4 2.9	12 8.7	88 63.8	31 22.5	3 2.2	- -
	50歳代	N=180	5 2.8	24 13.3	95 52.8	48 26.7	7 3.9	1 0.6
	60歳代	N=228	13 5.7	81 35.5	92 40.4	27 11.8	14 6.1	1 0.4
	70歳代	N=212	26 12.3	80 37.7	67 31.6	23 10.8	15 7.1	1 0.5
	80歳代	N=152	27 17.8	34 22.4	58 38.2	16 10.5	16 10.5	1 0.7
	90歳以上	N=39	7 17.9	7 17.9	15 38.5	9 23.1	1 2.6	- -
	不明・無回答	N=30	- -	- -	2 6.7	1 3.3	- -	27 90.0

問4 ご職業をお答えください。(1つに〇)

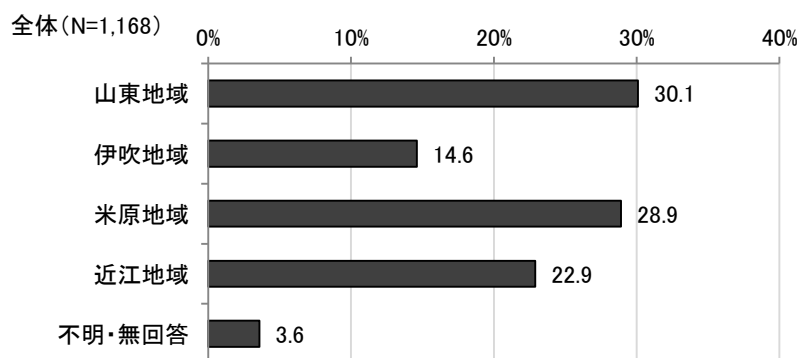
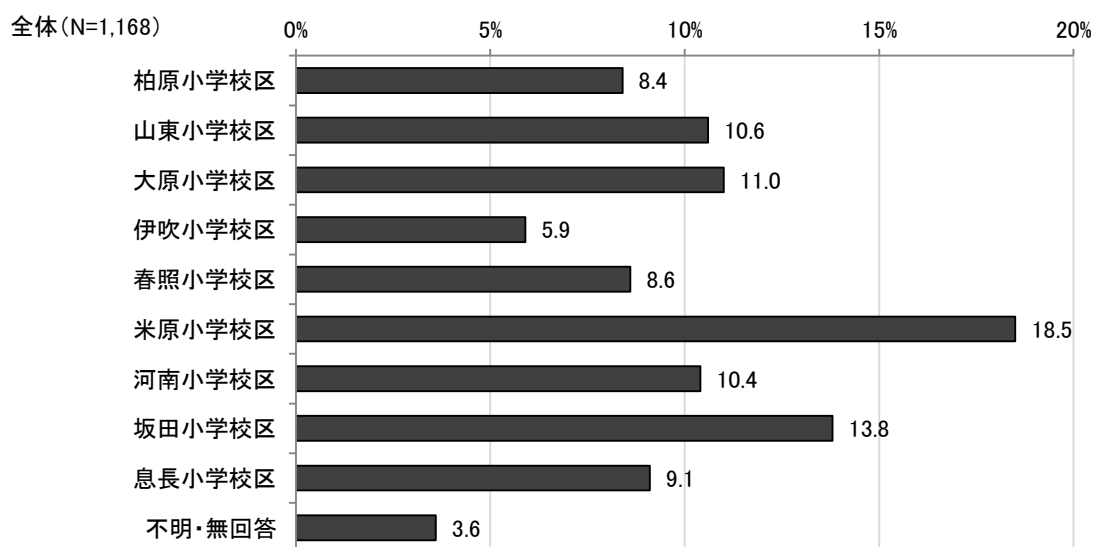
職業についてみると、「無職」が43.2%、「勤め人」が28.7%、「パート・アルバイト」が12.2%と続いています。



問5 お住まいの地域を教えてください。(小学校区別)(1つに○)

お住まいの小学校区についてみると、「米原小学校区」が18.5%、「坂田小学校区」が13.8%、「大原小学校区」が11.0%と続いています。

地域別にみると、「山東地域」が30.1%、「米原地域」が28.9%、「近江地域」が22.9%と続いています。



※小数点第2位以下を四捨五入しているため、小学校区別の合計が地域別の割合と一致しない場合があります

■年齢（小学校区別）

年齢を小学校区別にみると、『柏原小学校区』『山東小学校区』『大原小学校区』『息長小学校区』では「60歳代」、『伊吹小学校区』では「70歳代」、『春照小学校区』では「80歳代」、『米原小学校区』『坂田小学校区』では「50歳代」、『河南小学校区』では「60歳代」と「80歳代」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	不明・無回答	
小学校区別	全体	N=1,168	76 6.5	113 9.7	138 11.8	180 15.4	228 19.5	212 18.2	152 13.0	39 3.3	30 2.6
	柏原小学校区	N=98	6 6.1	7 7.1	6 6.1	12 12.2	25 25.5	20 20.4	13 13.3	8 8.2	1 1.0
	山東小学校区	N=124	9 7.3	8 6.5	10 8.1	17 13.7	35 28.2	26 21.0	15 12.1	4 3.2	-
	大原小学校区	N=129	14 10.9	13 10.1	18 14.0	12 9.3	31 24.0	27 20.9	13 10.1	1 0.8	-
	伊吹小学校区	N=69	4 5.8	13 18.8	3 4.3	10 14.5	11 15.9	18 26.1	8 11.6	1 1.4	1 1.4
	春照小学校区	N=101	8 7.9	8 7.9	17 16.8	15 14.9	17 16.8	14 13.9	19 18.8	3 3.0	-
	米原小学校区	N=216	10 4.6	26 12.0	36 16.7	37 17.1	35 16.2	33 15.3	30 13.9	9 4.2	-
	河南小学校区	N=122	4 3.3	13 10.7	11 9.0	19 15.6	24 19.7	23 18.9	24 19.7	4 3.3	-
	坂田小学校区	N=161	14 8.7	17 10.6	24 14.9	37 23.0	19 11.8	31 19.3	14 8.7	4 2.5	1 0.6
	息長小学校区	N=106	6 5.7	8 7.5	12 11.3	21 19.8	28 26.4	13 12.3	13 12.3	5 4.7	-
	不明・無回答	N=42	1 2.4	-	1 2.4	-	3 7.1	7 16.7	3 7.1	-	27 64.3

■家族構成（小学校区別）

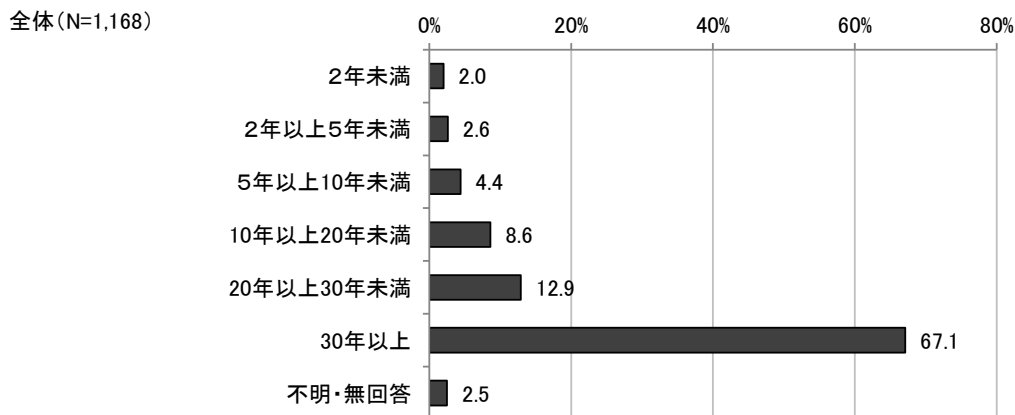
家族構成を小学校区別にみると、すべてにおいて「親と子（2世代）」が高くなっています。また、「ひとり暮らし（単身世帯）」は『米原小学校区』、「祖父母と親と子（3世代世帯）」は『伊吹小学校区』において、他の小学校区よりも高くなっています。

上段:件数 下段:%		ひとり暮らし(単身世帯)	夫婦のみ(1世代世帯)	親と子(2世代世帯)	祖父母と親と子(3世代世帯)	その他	不明・無回答	
小学校区別	全体	N=1,168	89 7.6	254 21.7	528 45.2	201 17.2	63 5.4	33 2.8
	柏原小学校区	N=98	9 9.2	26 26.5	34 34.7	21 21.4	8 8.2	-
	山東小学校区	N=124	7 5.6	33 26.6	52 41.9	25 20.2	7 5.6	-
	大原小学校区	N=129	5 3.9	29 22.5	62 48.1	25 19.4	7 5.4	1 0.8
	伊吹小学校区	N=69	5 7.2	20 29.0	22 31.9	18 26.1	4 5.8	-
	春照小学校区	N=101	7 6.9	25 24.8	45 44.6	20 19.8	4 4.0	-
	米原小学校区	N=216	26 12.0	46 21.3	112 51.9	19 8.8	11 5.1	2 0.9
	河南小学校区	N=122	11 9.0	20 16.4	57 46.7	26 21.3	8 6.6	-
	坂田小学校区	N=161	14 8.7	31 19.3	82 50.9	26 16.1	8 5.0	-
	息長小学校区	N=106	4 3.8	21 19.8	53 50.0	21 19.8	6 5.7	1 0.9
	不明・無回答	N=42	1 2.4	3 7.1	9 21.4	-	-	29 69.0

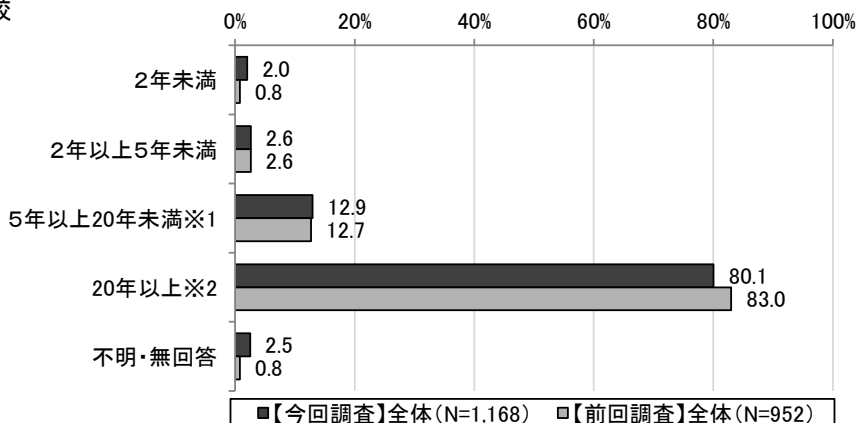
問6 米原市には、どのくらいお住まいですか。(1つに○)

居住年数についてみると、「30年以上」が67.1%、「20年以上30年未満」が12.9%、「10年以上20年未満」が8.6%と続いています。

前回調査と比較すると、「20年以上」が前回、今回ともに80%を超えています。



■ 前回調査との経年比較



※1 今回調査では「5年以上10年未満」+「10年以上20年未満」の合計

※2 今回調査では「20年以上30年未満」+「30年以上」の合計

※小数点第2位以下を四捨五入しているため、項目の合計が一致しない場合があります

■居住年数（小学校区別）

居住年数を小学校区別にみると、すべてにおいて「30年以上」が最も高くなっており、『河南小学校区』では他の小学校区よりも特に高くなっています。

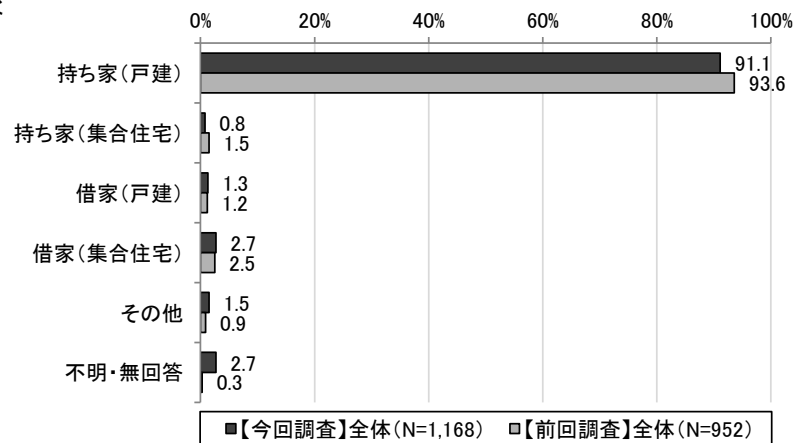
上段:件数 下段:%		2年未満	2年以上5年未満	5年以上10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	不明・無回答
小学校区別	全体 N=1,168	23 2.0	30 2.6	51 4.4	100 8.6	151 12.9	784 67.1	29 2.5
	柏原小学校区 N=98	1 1.0	- -	3 3.1	4 4.1	13 13.3	77 78.6	- -
	山東小学校区 N=124	1 0.8	2 1.6	2 1.6	6 4.8	14 11.3	99 79.8	- -
	大原小学校区 N=129	3 2.3	4 3.1	8 6.2	12 9.3	26 20.2	75 58.1	1 0.8
	伊吹小学校区 N=69	3 4.3	- -	1 1.4	7 10.1	3 4.3	55 79.7	- -
	春照小学校区 N=101	2 2.0	3 3.0	5 5.0	10 9.9	14 13.9	67 66.3	- -
	米原小学校区 N=216	10 4.6	11 5.1	12 5.6	27 12.5	25 11.6	130 60.2	1 0.5
	河南小学校区 N=122	- -	1 0.8	3 2.5	5 4.1	12 9.8	101 82.8	- -
	坂田小学校区 N=161	2 1.2	7 4.3	10 6.2	25 15.5	30 18.6	87 54.0	- -
	息長小学校区 N=106	1 0.9	2 1.9	5 4.7	4 3.8	12 11.3	82 77.4	- -
	不明・無回答 N=42	- -	- -	2 4.8	- -	2 4.8	11 26.2	27 64.3

問7 お住まいの形態を教えてください。（1つに○）

居住形態についてみると、「持ち家（戸建）」が 91.1%、「借家（集合住宅）」が 2.7%、「その他」が 1.5%と続いています。

前回調査と比較しても、あまり大きな差はみられません。

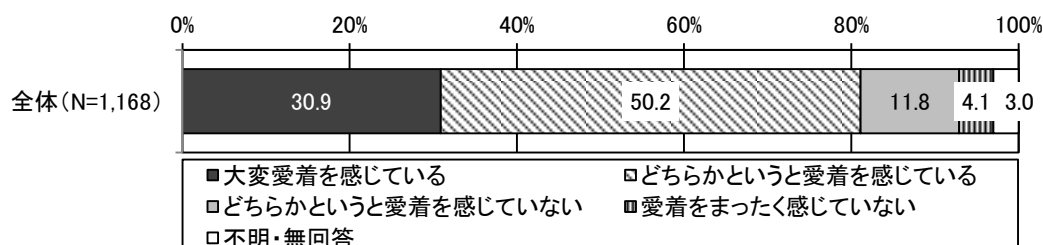
■前回調査との経年比較



2. お住まいの地域とのかかわりなどについて

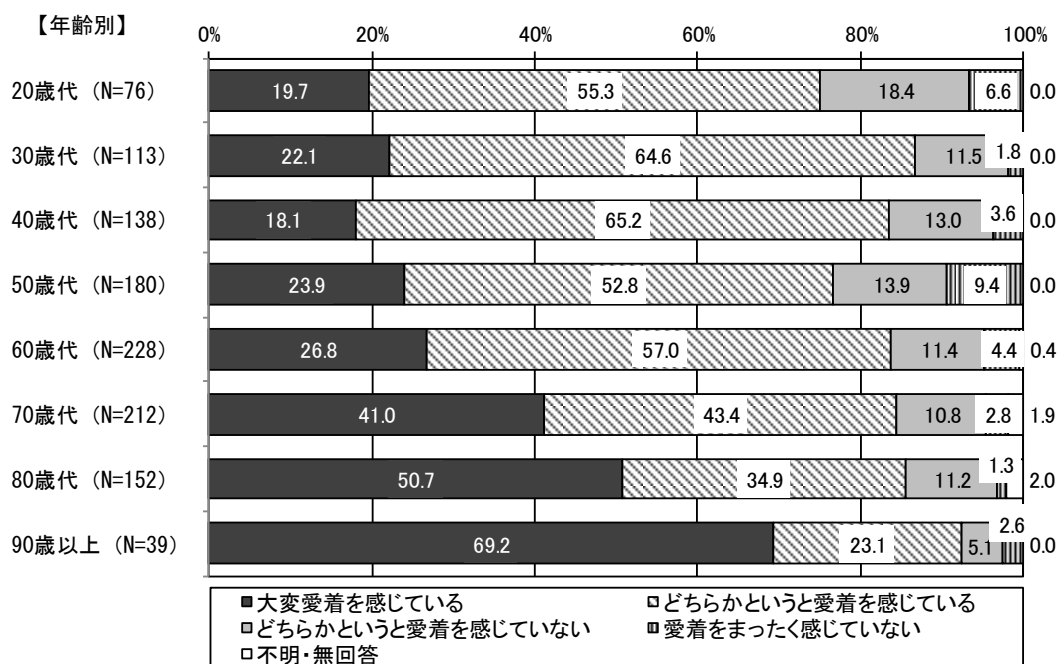
問8 あなたは、自分が住んでいる地域にどの程度の愛着を感じていますか。(1つに○)

地域への愛着についてみると、『愛着を感じている』（「大変愛着を感じている」「どちらかというとな愛着を感じている」の合計）が81.1%、『愛着を感じていない』（「どちらかというとな愛着を感じていない」「愛着をまったく感じていない」の合計）が15.9%となっています。



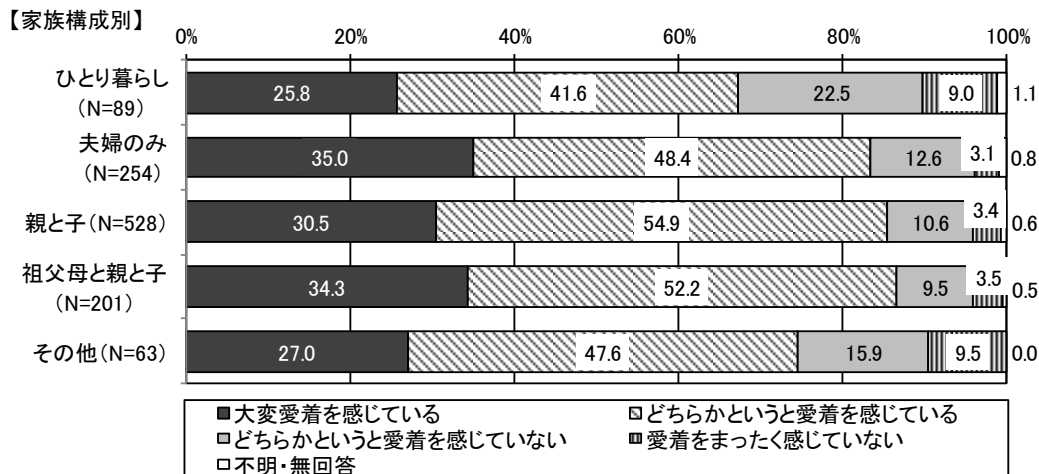
■愛着度（年齢別）

年齢別にみると、年齢に比例して『愛着を感じている』が高くなる傾向にあります。



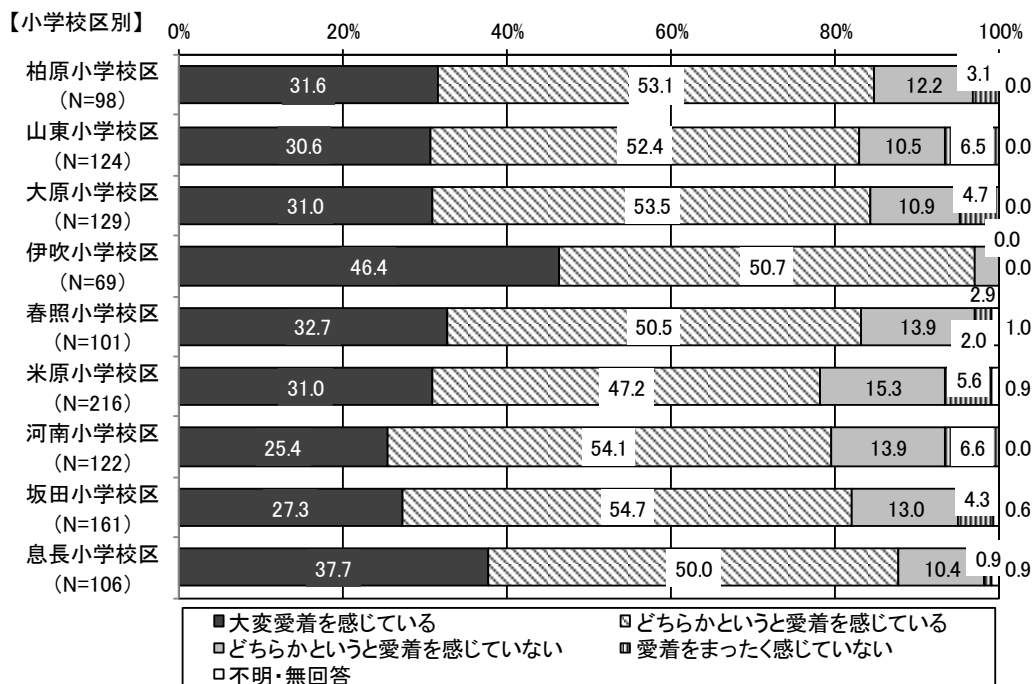
■愛着度（家族構成別）

家族構成別にみると、世帯人員に比例して『愛着を感じている』が高くなっています。



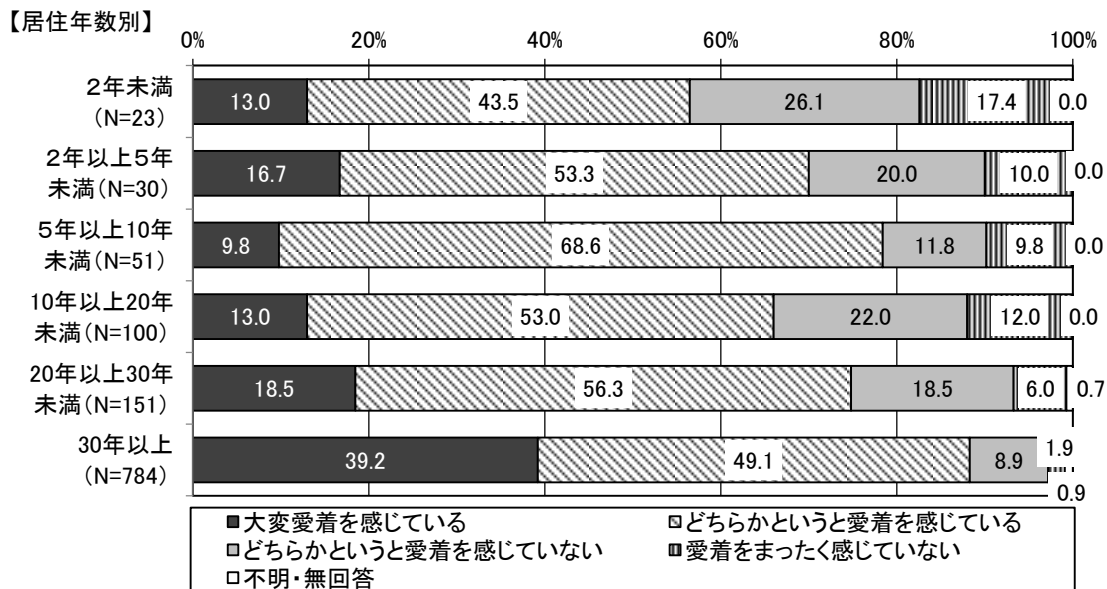
■愛着度（小学校区別）

小学校区別にみると、「伊吹小学校区」では『愛着を感じている』が最も高くなっています。



■愛着度（居住年数別）

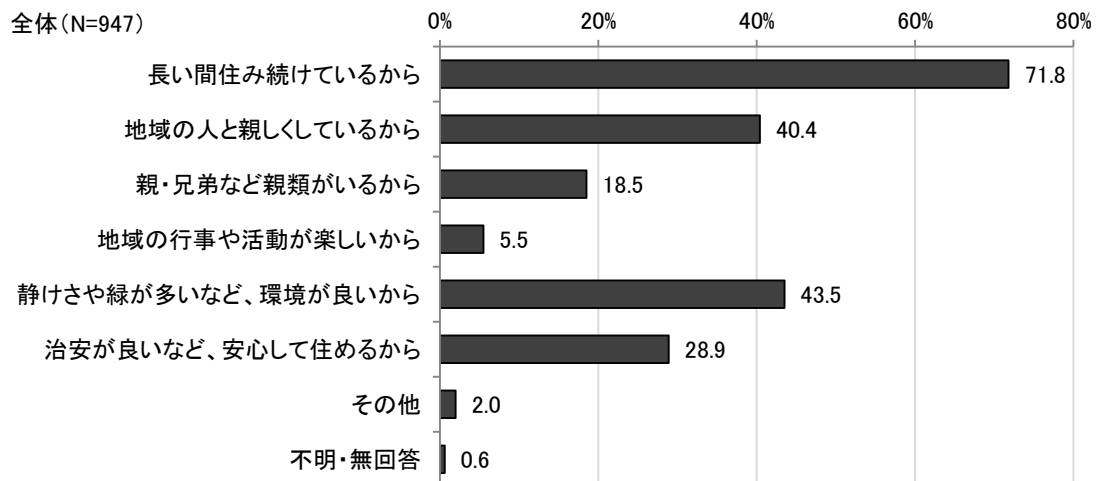
居住年数別にみると、「30年以上」では『愛着を感じている』が最も高くなっています。



【問8で「大恋愛を感じている」または「どちらかという愛着を感じている」を選んだ方におうかがいします】

問8-1 愛着を感じている理由は何ですか。（3つまで○）

愛着を感じている理由についてみると、「長い間住み続けているから」が71.8%、「静けさや緑が多いなど、環境が良いから」が43.5%、「地域の人と親しくしているから」が40.4%と続いています。



■愛着を感じている理由（居住年数別）

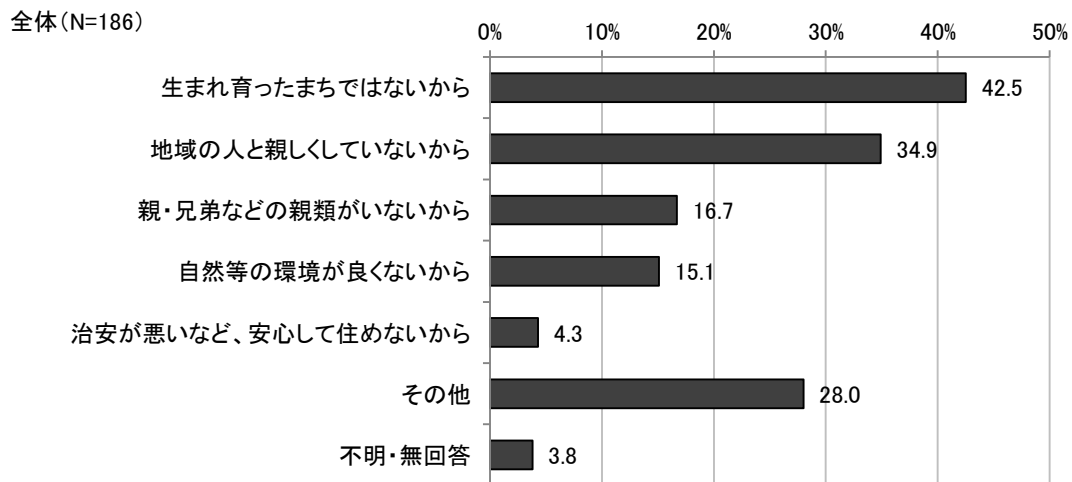
居住年数別にみると、『2年未満』『2年以上5年未満』『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』では「静けさや緑が多いなど、環境が良いから」、20年以上では「長い間住み続けているから」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		長い間住み 続けているか ら	地域の人と 親しくしてい るから	親・兄弟など 親類がいる から	地域の行事 や活動が楽 しいから	静けさや緑 が多いなど、 環境が良い から	治安が良い など、安心し て住めるから	その他	不明・無回答
居住年 数別	全体	N=947 680 71.8	383 40.4	175 18.5	52 5.5	412 43.5	274 28.9	19 2.0	6 0.6
	2年未満	N=13 1 7.7	1 7.7	5 38.5	1 7.7	8 61.5	5 38.5	-	-
	2年以上5年未 満	N=21 2 9.5	8 38.1	6 28.6	-	10 47.6	9 42.9	-	-
	5年以上10年未 満	N=40 6 15.0	14 35.0	5 12.5	2 5.0	27 67.5	17 42.5	-	-
	10年以上20年未 満	N=66 22 33.3	20 30.3	8 12.1	3 4.5	37 56.1	26 39.4	5 7.6	-
	20年以上30年未 満	N=113 86 76.1	23 20.4	25 22.1	1 0.9	55 48.7	34 30.1	-	-
	30年以上	N=692 562 81.2	317 45.8	125 18.1	45 6.5	275 39.7	183 26.4	14 2.0	6 0.9
	不明・無回答	N=2 1 50.0	-	1 50.0	-	-	-	-	-

【問8で「どちらかというとな愛着を感じていない」または「愛着をまったく感じていない」を選んだ方におうかがいします】

問8-2 愛着を感じていない理由は何ですか。（3つまで○）

愛着を感じていない理由についてみると、「生まれ育ったまちではないから」が42.5%、「地域の人と親しくしていないから」が34.9%、「その他」が28.0%と続いています。

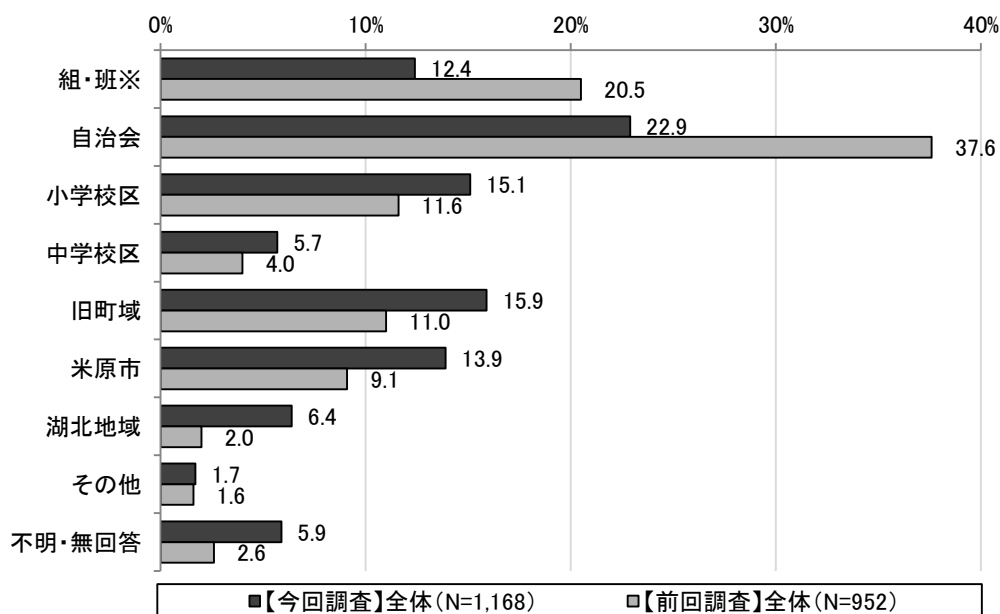


問9 あなたにとって「身近な地域」とはどの程度の範囲ですか。(1つに○)

「身近な地域」の範囲についてみると、「自治会」が22.9%、「旧町域」が15.9%、「小学校区」が15.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「組・班」「自治会」が低くなっているのに対して、「小学校区」「中学校区」「旧町域」「米原市」「湖北地域」が高くなっています。

■前回調査との経年比較



※前回調査では「組」

■身近な地域の範囲（年齢別）

年齢別にみると、『20歳代』では「米原市」、『30歳代』『40歳代』では「小学校区」、50歳代以上では「自治会」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		組・班	自治会	小学校区	中学校区	旧町域	米原市	湖北地域	その他	不明・無回答
全体	N=1,168	145 12.4	268 22.9	176 15.1	67 5.7	186 15.9	162 13.9	75 6.4	20 1.7	69 5.9
20歳代	N=76	1 1.3	7 9.2	16 21.1	13 17.1	9 11.8	17 22.4	11 14.5	2 2.6	-
30歳代	N=113	10 8.8	11 9.7	30 26.5	10 8.8	19 16.8	21 18.6	9 8.0	3 2.7	-
40歳代	N=138	16 11.6	22 15.9	33 23.9	15 10.9	15 10.9	18 13.0	15 10.9	2 1.4	2 1.4
50歳代	N=180	16 8.9	48 26.7	34 18.9	11 6.1	30 16.7	23 12.8	14 7.8	3 1.7	1 0.6
60歳代	N=228	36 15.8	66 28.9	25 11.0	8 3.5	43 18.9	30 13.2	10 4.4	4 1.8	6 2.6
70歳代	N=212	28 13.2	61 28.8	23 10.8	9 4.2	37 17.5	30 14.2	7 3.3	3 1.4	14 6.6
80歳代	N=152	31 20.4	38 25.0	12 7.9	-	26 17.1	20 13.2	5 3.3	3 2.0	17 11.2
90歳以上	N=39	7 17.9	14 35.9	3 7.7	1 2.6	7 17.9	2 5.1	3 7.7	-	2 5.1
不明・無回答	N=30	-	1 3.3	-	-	-	1 3.3	1 3.3	-	27 90.0

■身近な地域の範囲（小学校区別）

小学校区別にみると、『柏原小学校区』『春照小学校区』では「旧町域」、それ以外では「自治会」が最も高くなっています。

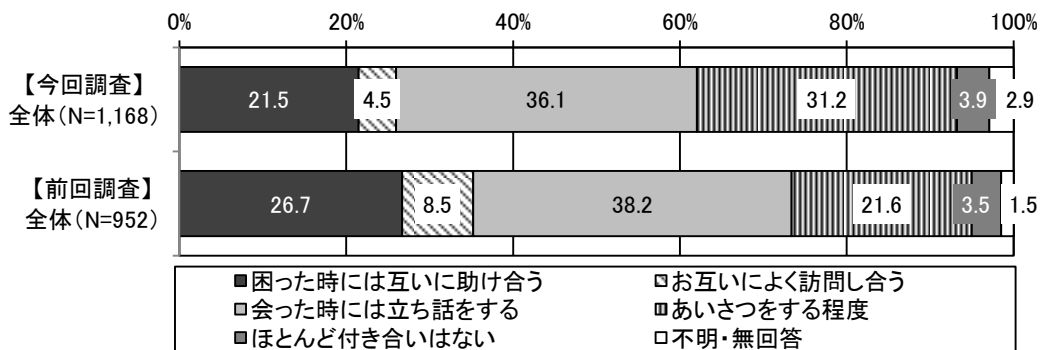
上段:件数 下段:%		組・班	自治会	小学校区	中学校区	旧町域	米原市	湖北地域	その他	不明・無回答	
小学校区別	全体	N=1,168	145 12.4	268 22.9	176 15.1	67 5.7	186 15.9	162 13.9	75 6.4	20 1.7	69 5.9
	柏原小学校区	N=98	12 12.2	18 18.4	17 17.3	5 5.1	20 20.4	18 18.4	7 7.1	-	1 1.0
	山東小学校区	N=124	23 18.5	24 19.4	23 18.5	2 1.6	19 15.3	19 15.3	7 5.6	2 1.6	5 4.0
	大原小学校区	N=129	18 14.0	27 20.9	24 18.6	8 6.2	25 19.4	9 7.0	10 7.8	2 1.6	6 4.7
	伊吹小学校区	N=69	3 4.3	18 26.1	16 23.2	7 10.1	16 23.2	4 5.8	2 2.9	1 1.4	2 2.9
	春照小学校区	N=101	10 9.9	20 19.8	15 14.9	8 7.9	23 22.8	11 10.9	8 7.9	3 3.0	3 3.0
	米原小学校区	N=216	31 14.4	49 22.7	30 13.9	12 5.6	22 10.2	45 20.8	16 7.4	5 2.3	6 2.8
	河南小学校区	N=122	14 11.5	33 27.0	18 14.8	6 4.9	13 10.7	22 18.0	8 6.6	2 1.6	6 4.9
	坂田小学校区	N=161	21 13.0	39 24.2	21 13.0	13 8.1	31 19.3	20 12.4	8 5.0	3 1.9	5 3.1
	息長小学校区	N=106	13 12.3	36 34.0	12 11.3	6 5.7	16 15.1	12 11.3	8 7.5	1 0.9	2 1.9
	不明・無回答	N=42	-	4 9.5	-	-	1 2.4	2 4.8	1 2.4	1 2.4	33 78.6

問 10 あなたは、ご近所とのお付き合いをどの程度していますか。（1つに○）

近所付き合いについてみると、「会った時には立ち話をする」が 36.1%、「あいさつをする程度」が 31.2%、「困った時には互いに助け合う」が 21.5%と続いています。

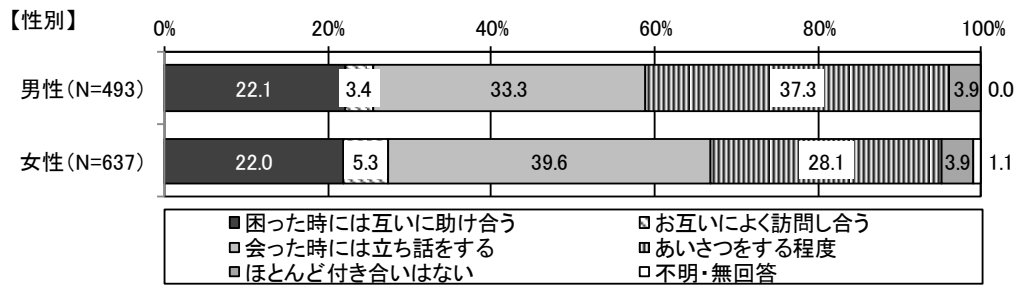
前回調査と比較すると、「困った時には互いに助け合う」が 5.2 ポイント低くなっているのに対して、「あいさつをする程度」が 9.6 ポイント高くなっています。

■前回調査との経年比較



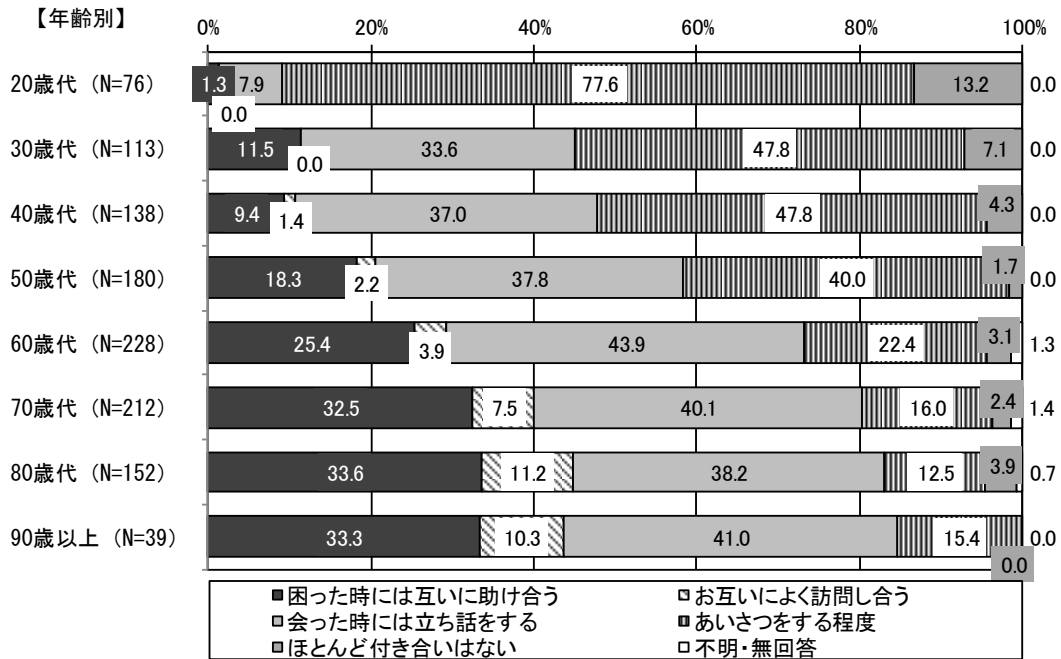
■近所付き合いの程度（性別）

性別にみると、『男性』では「あいさつをする程度」、『女性』では「会った時には立ち話をする」が最も高くなっています。



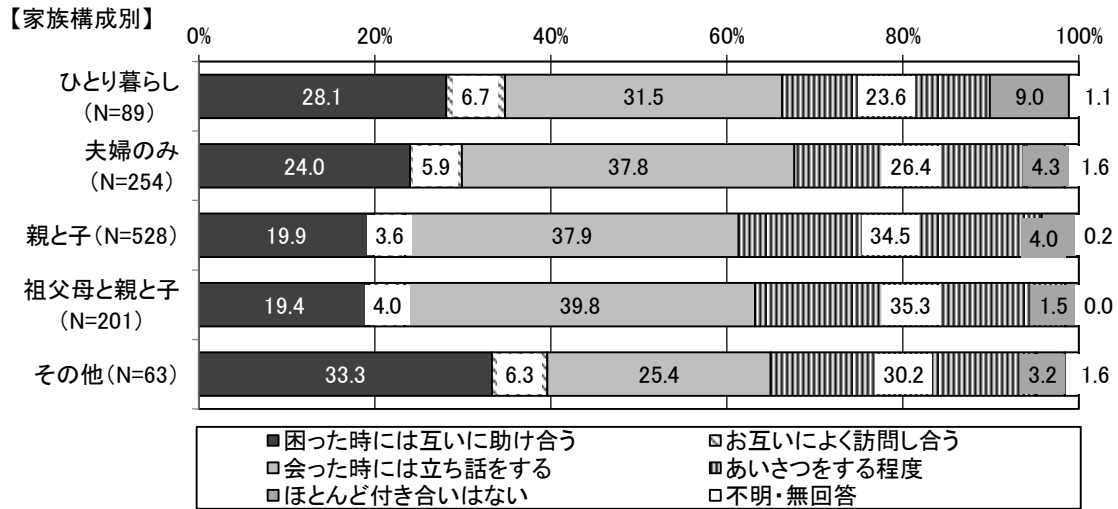
■近所付き合いの程度（年齢別）

年齢別にみると、年齢に比例して「困った時には互いに助け合う」「お互いによく訪問し合う」が高くなる傾向にあります。



■近所付き合いの程度（家族構成別）

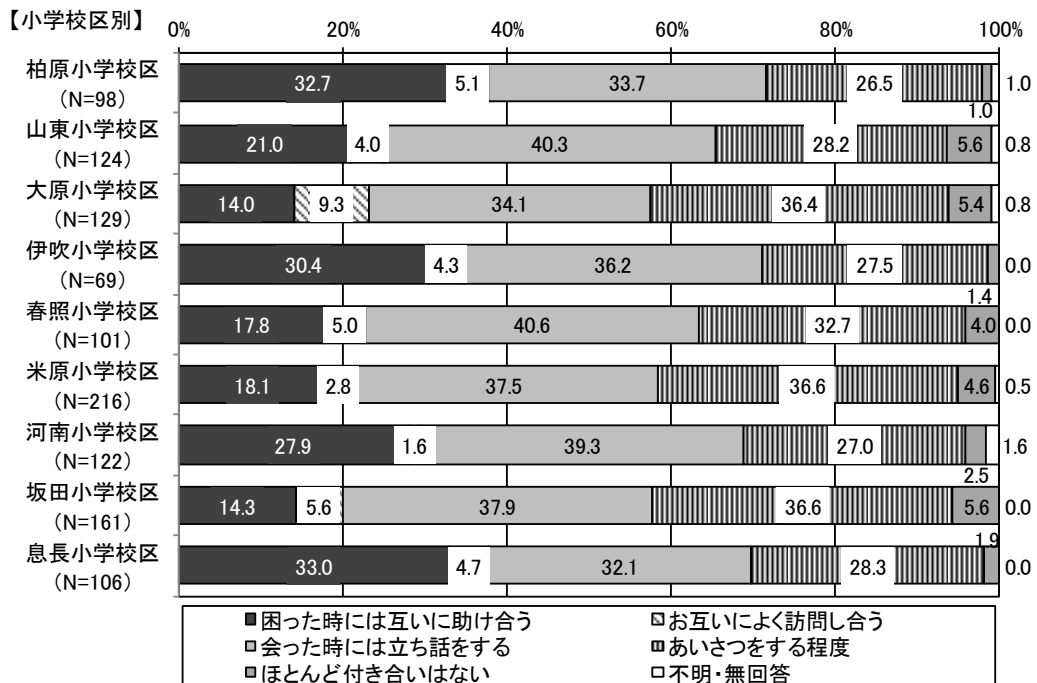
家族構成別にみると、『その他』を除き、『ひとり暮らし』では「困った時には互いに助け合う」が他の世帯よりも高くなっています。



■近所付き合いの程度（小学校区別）

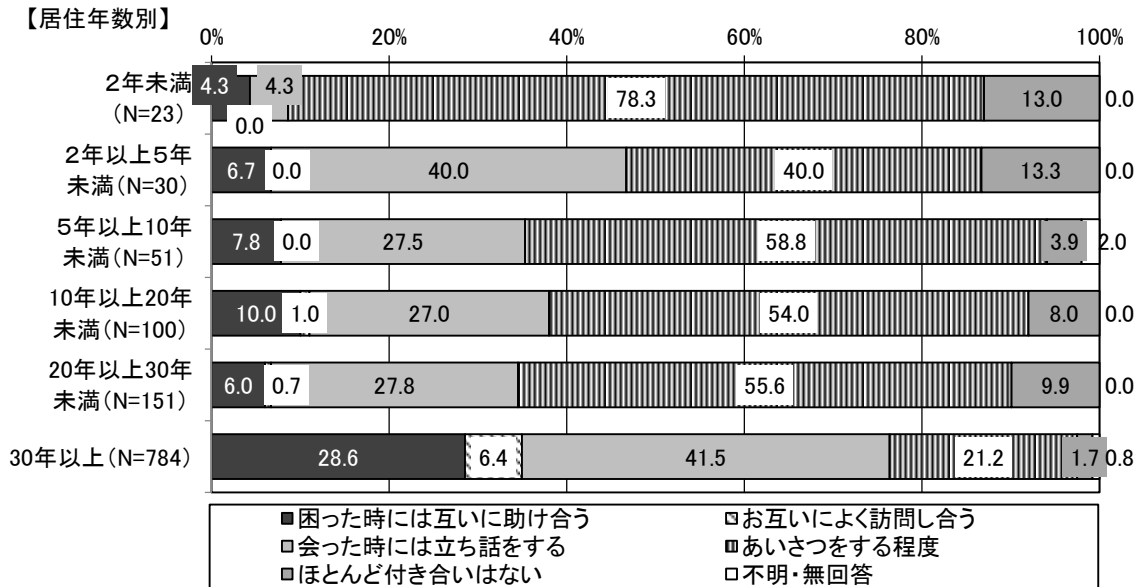
小学校区別にみると、『大原小学校区』では「あいさつをする程度」、『息長小学校区』では「困った時には互いに助け合う」、それ以外では「会った時には立ち話をする」が高くなっています。

居住年数が30年以上の方が多い小学校区ほど「困った時には互いに助け合う」が高くなっています。



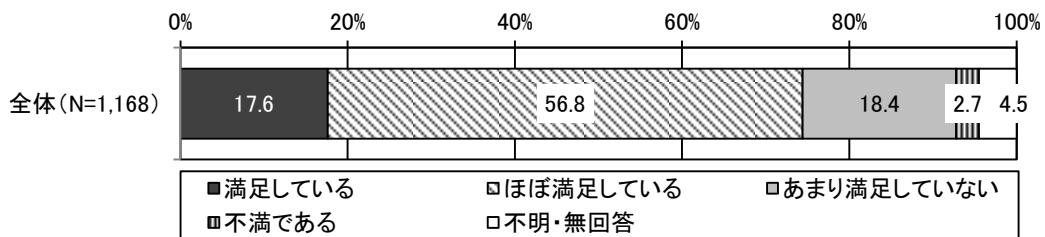
■近所付き合いの程度（居住年数別）

居住年数別にみると、『2年未満』『5年以上10年未満』『10年以上20年未満』『20年以上30年未満』では「あいさつする程度」、『2年以上5年未満』では「会った時には立ち話をする」「あいさつする程度」、『30年以上』では「会った時には立ち話をする」が高くなっています。また『30年以上』では「困った時には互いに助け合う」が他の居住年数よりも高くなっています。



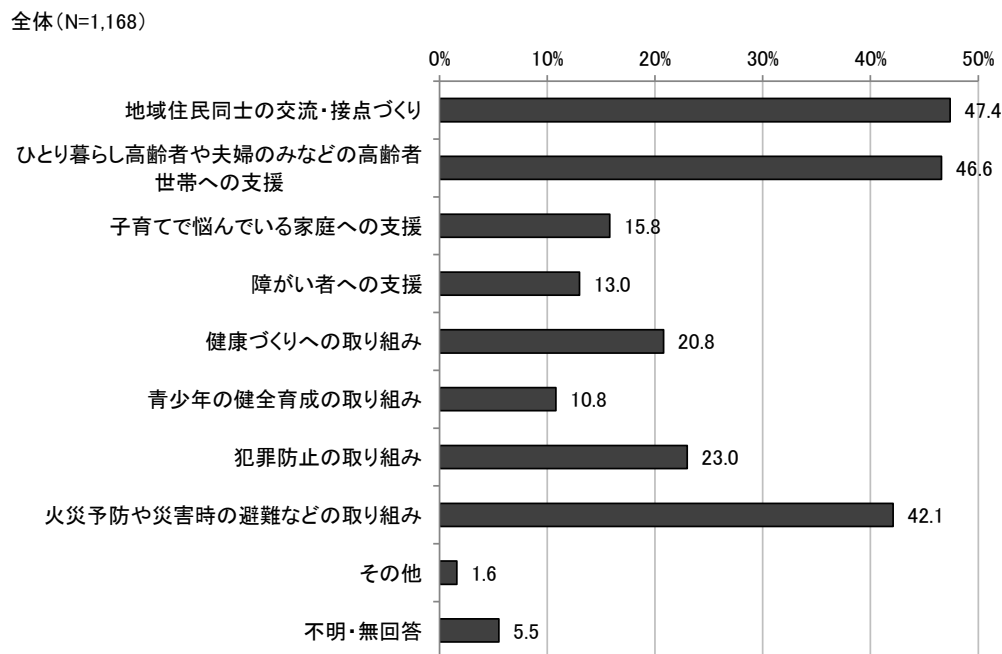
問 11 あなたは、今のご近所との付き合いに満足（普段から協力や助け合える関係が築けているなど）していますか。（1つに○）

近所付き合いに満足しているかについてみると、『満足』（「満足している」「ほぼ満足している」の合計）が74.4%、『不満』（「あまり満足していない」「不満である」の合計）が21.1%となっています。



問 12 地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題は、次のうちどれだと思いますか。
(3つまで○)

地域の人との協力による必要な取り組みについてみると、「地域住民同士の交流・接点づくり」が47.4%、「ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援」が46.6%、「火災予防や災害時の避難などの取り組み」が42.1%と続いています。



■地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題（年齢別）

年齢別にみると、『20歳代』『30歳代』『40歳代』では「火災予防や災害時の避難などの取り組み」、『50歳代』『60歳代』では「ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援」、70歳代以上では「地域住民同士の交流・接点づくり」が高くなっています。

上段:件数 下段:%	地域住民同士の交流・接点づくり	ひとり暮らし高齢者や夫婦のみなどの高齢者世帯への支援	子育てで悩んでいる家庭への支援	障がい者への支援	健康づくりへの取り組み	青少年の健全育成の取り組み	犯罪防止の取り組み	火災予防や災害時の避難などの取り組み	その他	不明・無回答
全体 N=1,168	554 47.4	544 46.6	184 15.8	152 13.0	243 20.8	126 10.8	269 23.0	492 42.1	19 1.6	64 5.5
20歳代 N=76	21 27.6	28 36.8	32 42.1	17 22.4	16 21.1	7 9.2	22 28.9	33 43.4	1 1.3	1 1.3
30歳代 N=113	40 35.4	36 31.9	37 32.7	14 12.4	10 8.8	16 14.2	41 36.3	60 53.1	2 1.8	3 2.7
40歳代 N=138	54 39.1	59 42.8	27 19.6	15 10.9	9 6.5	26 18.8	50 36.2	74 53.6	2 1.4	3 2.2
50歳代 N=180	76 42.2	100 55.6	30 16.7	28 15.6	23 12.8	22 12.2	50 27.8	92 51.1	4 2.2	2 1.1
60歳代 N=228	121 53.1	126 55.3	25 11.0	25 11.0	56 24.6	23 10.1	50 21.9	107 46.9	6 2.6	6 2.6
70歳代 N=212	128 60.4	97 45.8	19 9.0	25 11.8	79 37.3	23 10.8	36 17.0	72 34.0	2 0.9	14 6.6
80歳代 N=152	86 56.6	79 52.0	12 7.9	26 17.1	46 30.3	9 5.9	14 9.2	42 27.6	1 0.7	6 3.9
90歳以上 N=39	26 66.7	18 46.2	2 5.1	1 2.6	4 10.3	-	6 15.4	11 28.2	1 2.6	2 5.1
不明・無回答 N=30	2 6.7	1 3.3	-	1 3.3	-	-	-	1 3.3	-	27 90.0

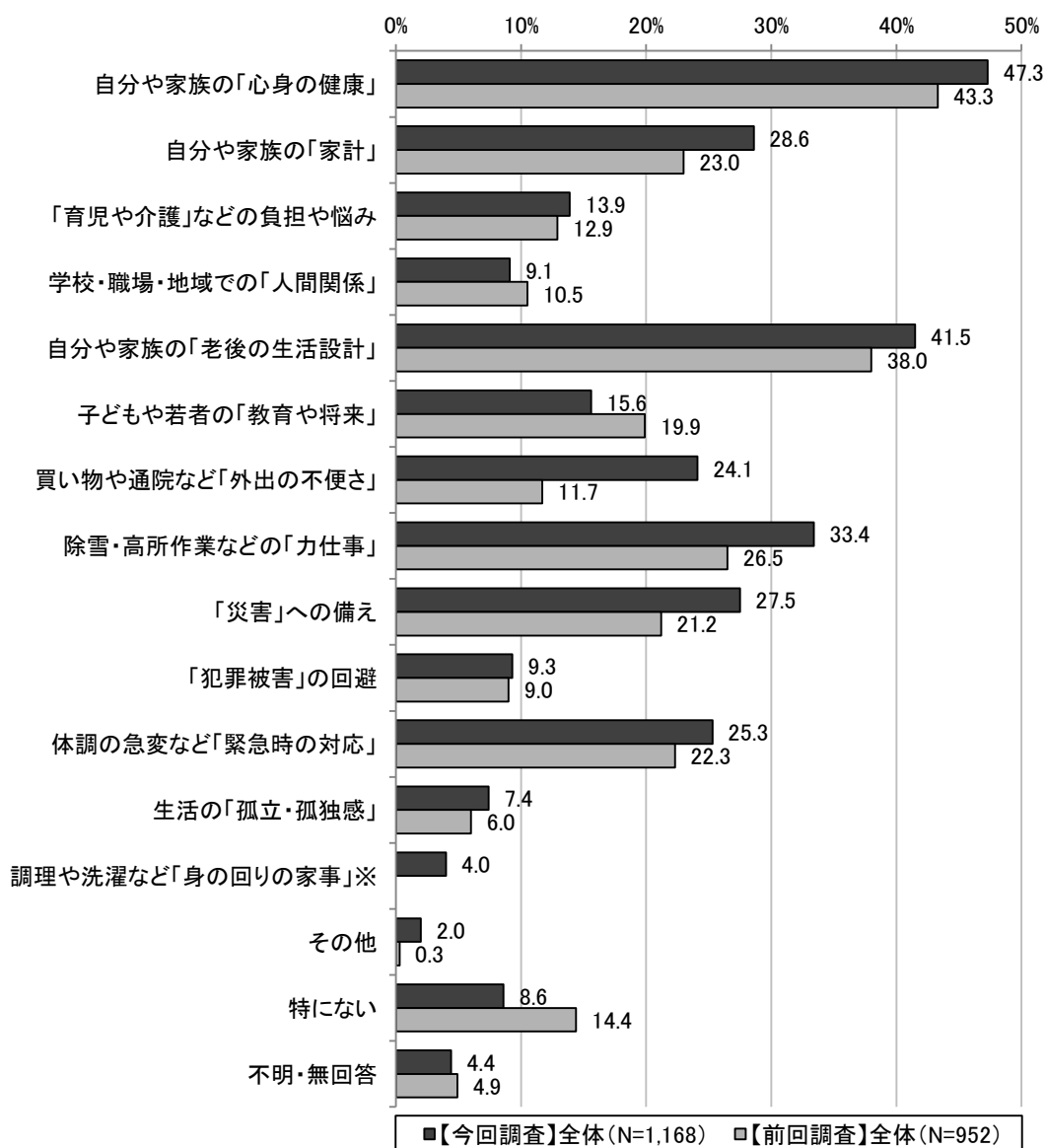
3. 日常生活について

問 13 あなたは、日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることはありますか。
 (あてはまるものすべてに○)

日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることについてみると、「自分や家族の心身の健康」が 47.3%、「自分や家族の老後の生活設計」が 41.5%、「除雪・高所作業などの力仕事」が 33.4%と続いています。

前回調査と比較すると、「学校・職場・地域での人間関係」「子どもや若者の教育や将来」「特にない」以外は高くなっています。特に「外出の不便さ」が 12.4 ポイント高くなっています。

■ 前回調査との経年比較



※前回調査では項目なし

■困っていること、悩みや不安を感じていること（年齢別）

年齢別にみると、『30歳代』では「自分や家族の家計」、『50歳代』では「自分や家族の老後の生活設計」、『60歳代』では「自分や家族の心身の健康」と「自分や家族の老後の生活設計」、それ以外では「自分や家族の心身の健康」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		自分や家族 の「心身の健 康」	自分や家族 の「家計」	「育児や介 護」などの負 担や悩み	学校・職場・ 地域での「人 間関係」	自分や家族 の「老後の生 活設計」	子どもや若 者の「教育や 将来」	買い物や通 院など「外出 の不便さ」	除雪・高所作 業などの「力 仕事」	
年 齢 別	全体	N=1,168	553 47.3	334 28.6	162 13.9	106 9.1	485 41.5	182 15.6	281 24.1	390 33.4
	20歳代	N=76	32 42.1	27 35.5	11 14.5	13 17.1	27 35.5	14 18.4	22 28.9	24 31.6
	30歳代	N=113	40 35.4	46 40.7	22 19.5	18 15.9	40 35.4	34 30.1	29 25.7	32 28.3
	40歳代	N=138	60 43.5	54 39.1	26 18.8	22 15.9	57 41.3	51 37.0	28 20.3	26 18.8
	50歳代	N=180	85 47.2	50 27.8	38 21.1	27 15.0	91 50.6	26 14.4	38 21.1	69 38.3
	60歳代	N=228	111 48.7	58 25.4	26 11.4	17 7.5	111 48.7	24 10.5	35 15.4	70 30.7
	70歳代	N=212	108 50.9	57 26.9	24 11.3	3 1.4	97 45.8	25 11.8	54 25.5	79 37.3
	80歳代	N=152	89 58.6	31 20.4	8 5.3	3 2.0	41 27.0	4 2.6	58 38.2	69 45.4
	90歳以上	N=39	19 48.7	7 17.9	3 7.7	1 2.6	11 28.2	1 2.6	11 28.2	14 35.9
	不明・無回答	N=30	9 30.0	4 13.3	4 13.3	2 6.7	10 33.3	3 10.0	6 20.0	7 23.3
上段:件数 下段:%		「災害」への 備え	「犯罪被害」 の回避	体調の急変 など「緊急時 の対応」	生活の「孤 立・孤独感」	調理や洗濯 など「身の回 りの家事」	その他	特にない	不明・無回答	
年 齢 別	全体	N=1,168	321 27.5	109 9.3	296 25.3	87 7.4	47 4.0	23 2.0	101 8.6	51 4.4
	20歳代	N=76	22 28.9	7 9.2	13 17.1	7 9.2	4 5.3	-	5 6.6	3 3.9
	30歳代	N=113	40 35.4	19 16.8	22 19.5	4 3.5	2 1.8	3 2.7	8 7.1	3 2.7
	40歳代	N=138	42 30.4	18 13.0	22 15.9	2 1.4	4 2.9	5 3.6	14 10.1	2 1.4
	50歳代	N=180	51 28.3	21 11.7	38 21.1	18 10.0	8 4.4	4 2.2	18 10.0	4 2.2
	60歳代	N=228	68 29.8	15 6.6	53 23.2	17 7.5	6 2.6	4 1.8	21 9.2	9 3.9
	70歳代	N=212	54 25.5	12 5.7	75 35.4	17 8.0	7 3.3	2 0.9	12 5.7	12 5.7
	80歳代	N=152	31 20.4	11 7.2	56 36.8	17 11.2	14 9.2	5 3.3	12 7.9	10 6.6
	90歳以上	N=39	9 23.1	2 5.1	13 33.3	3 7.7	1 2.6	-	7 17.9	3 7.7
	不明・無回答	N=30	4 13.3	4 13.3	4 13.3	2 6.7	1 3.3	-	4 13.3	5 16.7

■困っていること、悩みや不安を感じていること（家族構成別）

家族構成別にみると、『ひとり暮らし』では「体調の急変など緊急時の対応」、それ以外では「自分や家族の心身の健康」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		自分や家族の「心身の健康」	自分や家族の「家計」	「育児や介護」などの負担や悩み	学校・職場・地域での「人間関係」	自分や家族の「老後の生活設計」	子どもや若者の「教育や将来」	買い物や通院など「外出の不便さ」	除雪・高所作業などの「力仕事」	
家族構成別	全体	N=1,168	553 47.3	334 28.6	162 13.9	106 9.1	485 41.5	182 15.6	281 24.1	390 33.4
	ひとり暮らし (単身世帯)	N=89	38 42.7	20 22.5	4 4.5	4 4.5	22 24.7	4 4.5	23 25.8	46 51.7
	夫婦のみ (1世代世帯)	N=254	145 57.1	69 27.2	24 9.4	17 6.7	106 41.7	17 6.7	74 29.1	114 44.9
	親と子 (2世代世帯)	N=528	239 45.3	159 30.1	81 15.3	56 10.6	230 43.6	99 18.8	122 23.1	144 27.3
	祖父母と親と子 (3世代世帯)	N=201	89 44.3	57 28.4	39 19.4	23 11.4	87 43.3	51 25.4	36 17.9	61 30.3
	その他	N=63	33 52.4	22 34.9	9 14.3	5 7.9	28 44.4	7 11.1	19 30.2	18 28.6
	不明・無回答	N=33	9 27.3	7 21.2	5 15.2	1 3.0	12 36.4	4 12.1	7 21.2	7 21.2
	上段:件数 下段:%		「災害」への備え	「犯罪被害」の回避	体調の急変など「緊急時の対応」	生活の「孤立・孤独感」	調理や洗濯など「身の回りの家事」	その他	特にない	不明・無回答
家族構成別	全体	N=1,168	321 27.5	109 9.3	296 25.3	87 7.4	47 4.0	23 2.0	101 8.6	51 4.4
	ひとり暮らし (単身世帯)	N=89	24 27.0	10 11.2	47 52.8	22 24.7	5 5.6	2 2.2	6 6.7	5 5.6
	夫婦のみ (1世代世帯)	N=254	70 27.6	24 9.4	83 32.7	21 8.3	11 4.3	6 2.4	14 5.5	7 2.8
	親と子 (2世代世帯)	N=528	149 28.2	50 9.5	107 20.3	27 5.1	17 3.2	10 1.9	52 9.8	21 4.0
	祖父母と親と子 (3世代世帯)	N=201	60 29.9	17 8.5	35 17.4	10 5.0	9 4.5	4 2.0	17 8.5	12 6.0
	その他	N=63	12 19.0	4 6.3	18 28.6	5 7.9	4 6.3	1 1.6	7 11.1	2 3.2
	不明・無回答	N=33	6 18.2	4 12.1	6 18.2	2 6.1	1 3.0	-	5 15.2	4 12.1

■困っていること、悩みや不安を感じていること（小学校区別）

小学校区別にみると、『山東小学校区』では「自分や家族の老後の生活設計」、『伊吹小学校区』では「除雪・高所作業などの力仕事」、それ以外では「自分や家族の心身の健康」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		自分や家族の「心身の健康」	自分や家族の「家計」	「育児や介護」などの負担や悩み	学校・職場・地域での「人間関係」	自分や家族の「老後の生活設計」	子どもや若者の「教育や将来」	買い物や通院など「外出の不便さ」	除雪・高所作業などの「力仕事」	
小学校区別	全体	N=1,168	553 47.3	334 28.6	162 13.9	106 9.1	485 41.5	182 15.6	281 24.1	390 33.4
	柏原小学校区	N=98	52 53.1	25 25.5	12 12.2	10 10.2	46 46.9	13 13.3	27 27.6	31 31.6
	山東小学校区	N=124	58 46.8	31 25.0	20 16.1	15 12.1	67 54.0	14 11.3	36 29.0	53 42.7
	大原小学校区	N=129	57 44.2	45 34.9	20 15.5	12 9.3	54 41.9	23 17.8	22 17.1	41 31.8
	伊吹小学校区	N=69	35 50.7	12 17.4	8 11.6	6 8.7	26 37.7	9 13.0	14 20.3	36 52.2
	春照小学校区	N=101	43 42.6	25 24.8	9 8.9	6 5.9	38 37.6	17 16.8	23 22.8	36 35.6
	米原小学校区	N=216	115 53.2	72 33.3	33 15.3	19 8.8	93 43.1	31 14.4	74 34.3	59 27.3
	河南小学校区	N=122	64 52.5	44 36.1	19 15.6	13 10.7	53 43.4	23 18.9	39 32.0	44 36.1
	坂田小学校区	N=161	67 41.6	41 25.5	26 16.1	17 10.6	51 31.7	34 21.1	17 10.6	39 24.2
	息長小学校区	N=106	49 46.2	31 29.2	11 10.4	7 6.6	44 41.5	15 14.2	19 17.9	38 35.8
	不明・無回答	N=42	13 31.0	8 19.0	4 9.5	1 2.4	13 31.0	3 7.1	10 23.8	13 31.0
	上段:件数 下段:%		「災害」への備え	「犯罪被害」の回避	体調の急変など「緊急時の対応」	生活の「孤立・孤独感」	調理や洗濯など「身の回りの家事」	その他	特にない	不明・無回答
小学校区別	全体	N=1,168	321 27.5	109 9.3	296 25.3	87 7.4	47 4.0	23 2.0	101 8.6	51 4.4
	柏原小学校区	N=98	26 26.5	7 7.1	35 35.7	6 6.1	2 2.0	1 1.0	6 6.1	5 5.1
	山東小学校区	N=124	34 27.4	10 8.1	34 27.4	7 5.6	9 7.3	3 2.4	8 6.5	6 4.8
	大原小学校区	N=129	27 20.9	9 7.0	27 20.9	8 6.2	4 3.1	4 3.1	16 12.4	3 2.3
	伊吹小学校区	N=69	25 36.2	5 7.2	17 24.6	3 4.3	2 2.9	1 1.4	4 5.8	3 4.3
	春照小学校区	N=101	19 18.8	10 9.9	30 29.7	8 7.9	3 3.0	2 2.0	9 8.9	4 4.0
	米原小学校区	N=216	64 29.6	23 10.6	62 28.7	22 10.2	13 6.0	7 3.2	18 8.3	6 2.8
	河南小学校区	N=122	36 29.5	12 9.8	31 25.4	7 5.7	5 4.1	- -	10 8.2	2 1.6
	坂田小学校区	N=161	49 30.4	24 14.9	33 20.5	12 7.5	6 3.7	1 0.6	17 10.6	8 5.0
	息長小学校区	N=106	35 33.0	4 3.8	21 19.8	11 10.4	2 1.9	3 2.8	9 8.5	7 6.6
	不明・無回答	N=42	6 14.3	5 11.9	6 14.3	3 7.1	1 2.4	1 2.4	4 9.5	7 16.7

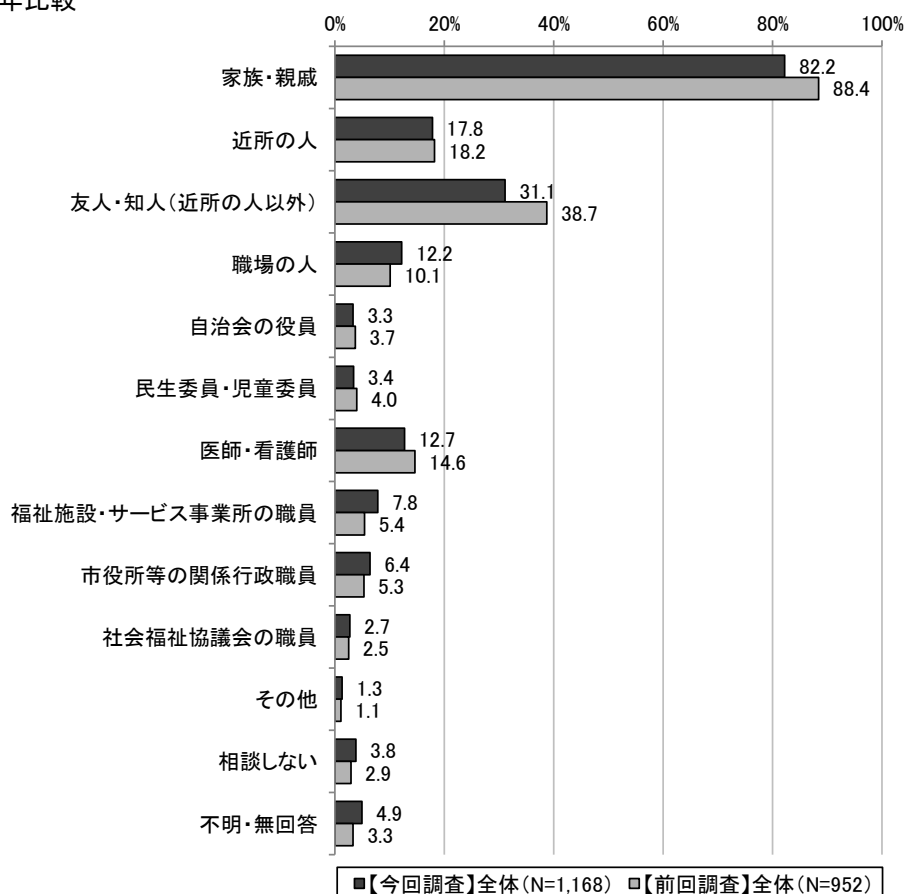
※上位3項目(河南小学校区のみ4項目)に網掛けしています

問 14 あなたは、日々の生活のなかで困ったことがある時、誰に相談していますか。(あてはまるものすべてに○)

困った時の相談先についてみると、「家族・親戚」が82.2%、「友人・知人(近所の人以外)」が31.1%、「近所の人」が17.8%と続いています。

前回調査と比較しても、あまり大きな差はみられません。

■前回調査との経年比較



■相談先(性別)

性別にみると、男女ともに「家族・親戚」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		家族・親戚	近所の人	友人・知人 (近所の人以外)	職場の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	医師・看護師
性別	全体 N=1,168	960 82.2	208 17.8	363 31.1	142 12.2	39 3.3	40 3.4	148 12.7
	男性 N=493	402 81.5	81 16.4	125 25.4	62 12.6	24 4.9	22 4.5	70 14.2
	女性 N=637	533 83.7	119 18.7	232 36.4	78 12.2	14 2.2	17 2.7	71 11.1
	不明・無回答 N=38	25 65.8	8 21.1	6 15.8	2 5.3	1 2.6	1 2.6	7 18.4
上段:件数 下段:%		福祉施設・サービス事業所の職員	市役所等の関係行政職員	社会福祉協議会の職員	その他	相談しない	不明・無回答	
性別	全体 N=1,168	91 7.8	75 6.4	31 2.7	15 1.3	44 3.8	57 4.9	
	男性 N=493	43 8.7	45 9.1	23 4.7	6 1.2	19 3.9	18 3.7	
	女性 N=637	45 7.1	27 4.2	6 0.9	9 1.4	23 3.6	34 5.3	
	不明・無回答 N=38	3 7.9	3 7.9	2 5.3	-	2 5.3	5 13.2	

■相談先（年齢別）

年齢別にみると、すべてにおいて「家族・親戚」が最も高くなっています。次いで、『20歳代』から『60歳代』までは「友人・知人（近所の人以外）」、『70歳代』では「近所の人」、『80歳代』では「医師・看護師」、『90歳以上』では「福祉施設・サービス事業所の職員」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		家族・親戚	近所の人	友人・知人 (近所の人以外)	職場の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	医師・看護師
年齢別	全体	N=1,168 960 82.2	208 17.8	363 31.1	142 12.2	39 3.3	40 3.4	148 12.7
	20歳代	N=76 65 85.5	2 2.6	44 57.9	24 31.6	-	-	4 5.3
	30歳代	N=113 100 88.5	10 8.8	53 46.9	29 25.7	-	-	1 0.9
	40歳代	N=138 117 84.8	18 13.0	57 41.3	39 28.3	-	2 1.4	7 5.1
	50歳代	N=180 147 81.7	40 22.2	56 31.1	35 19.4	9 5.0	3 1.7	19 10.6
	60歳代	N=228 189 82.9	45 19.7	78 34.2	10 4.4	12 5.3	4 1.8	27 11.8
	70歳代	N=212 173 81.6	52 24.5	49 23.1	2 0.9	10 4.7	8 3.8	43 20.3
	80歳代	N=152 120 78.9	30 19.7	17 11.2	-	7 4.6	19 12.5	35 23.0
	90歳以上	N=39 30 76.9	6 15.4	4 10.3	-	-	4 10.3	7 17.9
	不明・無回答	N=30 19 63.3	5 16.7	5 16.7	3 10.0	1 3.3	-	5 16.7
	上段:件数 下段:%		福祉施設・サービス事業所の職員	市役所等の関係行政職員	社会福祉協議会の職員	その他	相談しない	不明・無回答
年齢別	全体	N=1,168 91 7.8	75 6.4	31 2.7	15 1.3	44 3.8	57 4.9	
	20歳代	N=76 6 7.9	3 3.9	-	-	3 3.9	2 2.6	
	30歳代	N=113 4 3.5	4 3.5	1 0.9	3 2.7	3 2.7	3 2.7	
	40歳代	N=138 6 4.3	4 2.9	2 1.4	2 1.4	5 3.6	3 2.2	
	50歳代	N=180 13 7.2	11 6.1	3 1.7	2 1.1	9 5.0	6 3.3	
	60歳代	N=228 16 7.0	16 7.0	3 1.3	3 1.3	11 4.8	10 4.4	
	70歳代	N=212 18 8.5	18 8.5	12 5.7	3 1.4	7 3.3	13 6.1	
	80歳代	N=152 17 11.2	16 10.5	7 4.6	2 1.3	5 3.3	11 7.2	
	90歳以上	N=39 9 23.1	1 2.6	1 2.6	-	-	4 10.3	
	不明・無回答	N=30 2 6.7	2 6.7	2 6.7	-	1 3.3	5 16.7	

■相談先（近所付き合いの程度別）

近所付き合いの程度別にみると、すべてにおいて「家族・親戚」が最も高くなっています。次いで、『困った時には互いに助け合う』『お互いによく訪問し合う』では「近所の人」、それ以外では「友人・知人（近所の人以外）」が高くなっています。

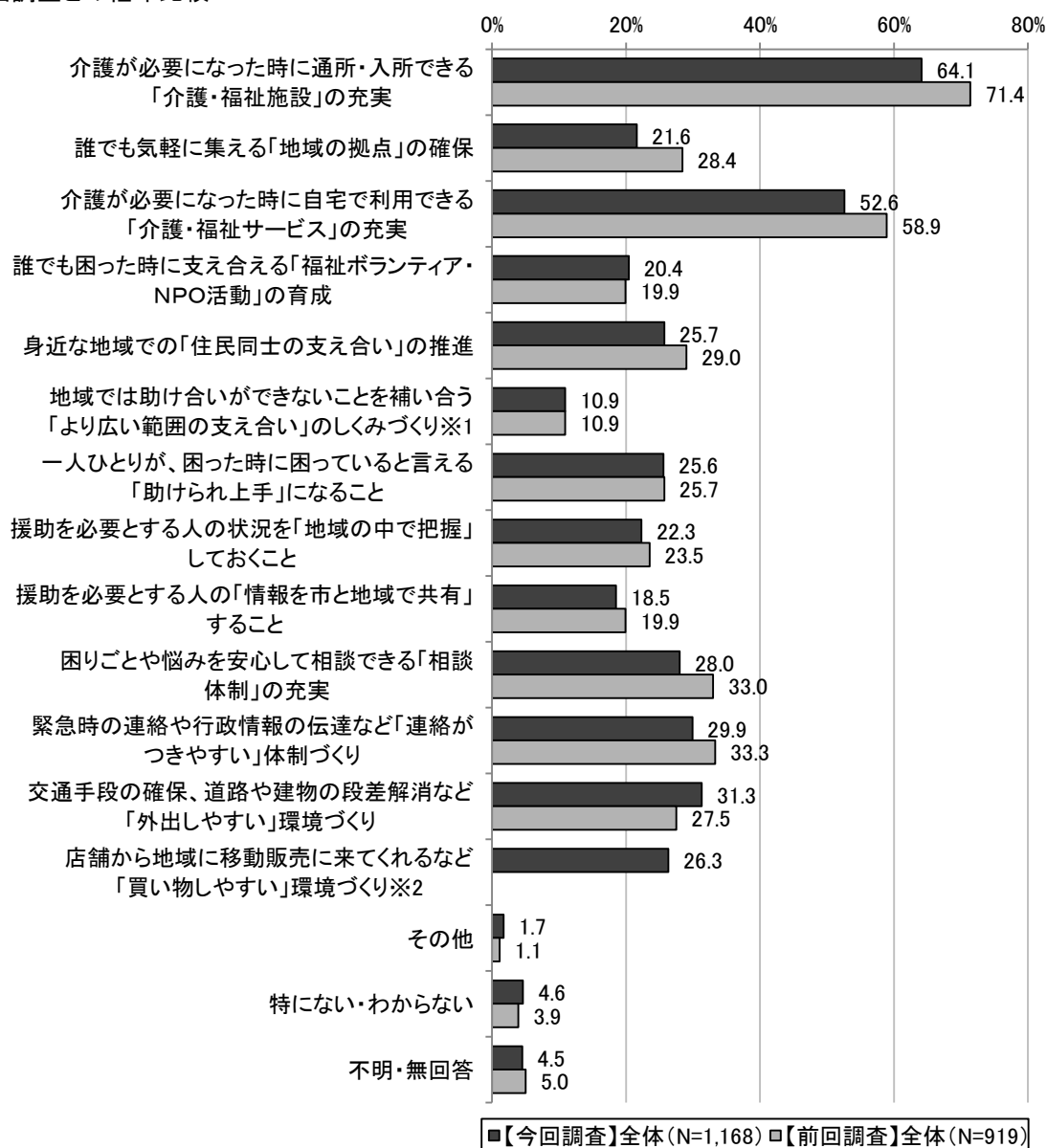
上段:件数 下段:%		家族・親戚	近所の人	友人・知人 (近所の人以外)	職場の人	自治会の役員	民生委員・児童委員	医師・看護師
近所付き合いの程度別	全体	N=1,168 960 82.2	208 17.8	363 31.1	142 12.2	39 3.3	40 3.4	148 12.7
	困った時には互いに助け合う	N=251 213 84.9	88 35.1	76 30.3	18 7.2	18 7.2	18 7.2	35 13.9
	お互いによく訪問し合う	N=52 45 86.5	20 38.5	15 28.8	1 1.9	2 3.8	2 3.8	13 25.0
	会った時には立ち話をする	N=422 355 84.1	75 17.8	138 32.7	49 11.6	15 3.6	17 4.0	60 14.2
	あいさつをする程度	N=364 293 80.5	18 4.9	116 31.9	63 17.3	3 0.8	3 0.8	30 8.2
	ほとんど付き合いはない	N=45 31 68.9	1 2.2	12 26.7	9 20.0	-	-	5 11.1
	不明・無回答	N=34 23 67.6	6 17.6	6 17.6	2 5.9	1 2.9	-	5 14.7
	上段:件数 下段:%		福祉施設・サービス事業所の職員	市役所等の関係行政職員	社会福祉協議会の職員	その他	相談しない	不明・無回答
近所付き合いの程度別	全体	N=1,168 91 7.8	75 6.4	31 2.7	15 1.3	44 3.8	57 4.9	
	困った時には互いに助け合う	N=251 19 7.6	21 8.4	8 3.2	1 0.4	5 2.0	13 5.2	
	お互いによく訪問し合う	N=52 4 7.7	3 5.8	-	1 1.9	1 1.9	3 5.8	
	会った時には立ち話をする	N=422 33 7.8	30 7.1	10 2.4	4 0.9	14 3.3	18 4.3	
	あいさつをする程度	N=364 26 7.1	17 4.7	10 2.7	8 2.2	19 5.2	17 4.7	
	ほとんど付き合いはない	N=45 7 15.6	2 4.4	2 4.4	1 2.2	4 8.9	-	
	不明・無回答	N=34 2 5.9	2 5.9	1 2.9	-	1 2.9	6 17.6	

問 15 誰もが住み慣れた地域で安心して生活していくため、身近な地域で、今後特に必要と思うことはどんなことですか。(あてはまるものすべてに○)

安心して生活するために特に必要と思うことについてみると、「介護が必要になった時に通所・入所できる介護・福祉施設の充実」が 64.1%、「介護が必要になった時に自宅で利用できる介護・福祉サービスの充実」が 52.6%、「交通手段の確保、道路や建物の段差解消など外出しやすい環境づくり」が 31.3%と続いています。

前回調査と比較しても、あまり大きな差はみられません。

■前回調査との経年比較



※1 前回調査では「地域では助け合いができないことを補い合う「より広い支え合い」のしくみづくり」

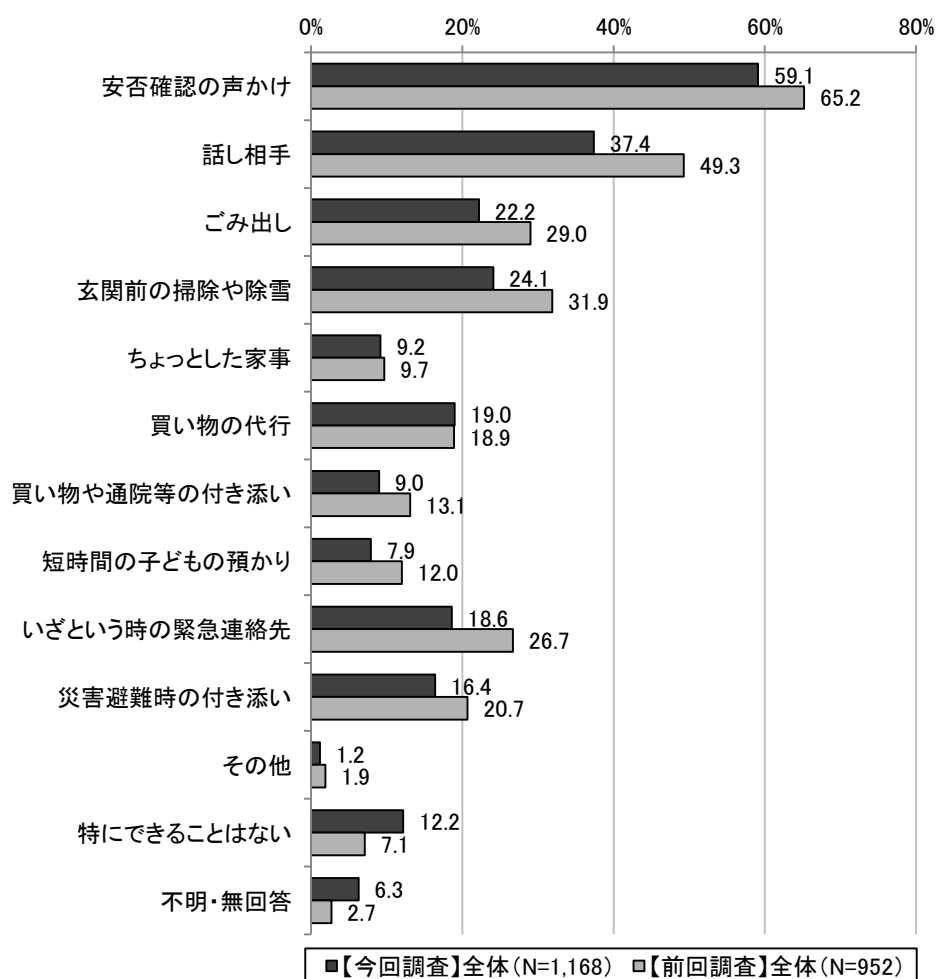
※2 前回調査では項目なし

問 16 あなたは、ご近所に困っている人がいる時、どのようなことができますか。(あてはまるものすべてに○)

困っている人がいる時、できることについてみると、「安否確認の声かけ」が59.1%、「話し相手」が37.4%、「玄関前の掃除や除雪」が24.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「特にできることはない」「買い物の代行」以外は少なくなっています。特に「話し相手」が11.9ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■ ご近所に困っている人がいる時にできること（性別）

性別にみると、男女ともに「安否確認の声かけ」が高くなっています。次いで、『男性』では「話し相手」「玄関前の掃除や除雪」、『女性』では「話し相手」「ごみ出し」と続いています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
性別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	男性	N=493	296 60.0	150 30.4	98 19.9	149 30.2	33 6.7	87 17.6	44 8.9
	女性	N=637	377 59.2	273 42.9	154 24.2	126 19.8	70 11.0	129 20.3	56 8.8
	不明・無回答	N=38	17 44.7	14 36.8	7 18.4	6 15.8	4 10.5	6 15.8	5 13.2
上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答		
性別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	男性	N=493	26 5.3	100 20.3	97 19.7	7 1.4	63 12.8	22 4.5	
	女性	N=637	62 9.7	105 16.5	90 14.1	7 1.1	77 12.1	42 6.6	
	不明・無回答	N=38	4 10.5	12 31.6	5 13.2	-	2 5.3	9 23.7	

■ご近所に困っている人がいる時にできること（年齢別）

年齢別にみると、『90歳以上』を除き「安否確認の声かけ」が高くなっています。次いで、「話し相手」や、『20歳代』から『50歳代』までは「玄関前の掃除や除雪」、『50歳代』から『70歳代』までは「ごみ出し」、「買い物の代行」、『60歳代』『70歳代』では「いざという時の緊急連絡先」、『50歳代』『60歳代』では「災害避難時の付き添い」も多く挙げられています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
年齢別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	20歳代	N=76	37 48.7	31 40.8	13 17.1	25 32.9	4 5.3	10 13.2	3 3.9
	30歳代	N=113	62 54.9	46 40.7	20 17.7	31 27.4	10 8.8	20 17.7	10 8.8
	40歳代	N=138	81 58.7	35 25.4	25 18.1	44 31.9	9 6.5	27 19.6	4 2.9
	50歳代	N=180	114 63.3	64 35.6	53 29.4	55 30.6	22 12.2	43 23.9	14 7.8
	60歳代	N=228	161 70.6	85 37.3	62 27.2	60 26.3	29 12.7	52 22.8	27 11.8
	70歳代	N=212	137 64.6	91 42.9	57 26.9	43 20.3	23 10.8	50 23.6	28 13.2
	80歳代	N=152	72 47.4	64 42.1	19 12.5	15 9.9	6 3.9	11 7.2	11 7.2
	90歳以上	N=39	11 28.2	10 25.6	4 10.3	2 5.1	-	3 7.7	3 7.7
	不明・無回答	N=30	15 50.0	11 36.7	6 20.0	6 20.0	4 13.3	6 20.0	5 16.7

上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
年齢別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3
	20歳代	N=76	5 6.6	8 10.5	10 13.2	1 1.3	9 11.8	2 2.6
	30歳代	N=113	17 15.0	10 8.8	21 18.6	1 0.9	14 12.4	4 3.5
	40歳代	N=138	14 10.1	18 13.0	26 18.8	1 0.7	19 13.8	4 2.9
	50歳代	N=180	15 8.3	31 17.2	41 22.8	5 2.8	11 6.1	7 3.9
	60歳代	N=228	23 10.1	61 26.8	47 20.6	2 0.9	18 7.9	12 5.3
	70歳代	N=212	10 4.7	56 26.4	30 14.2	3 1.4	20 9.4	18 8.5
	80歳代	N=152	3 2.0	21 13.8	12 7.9	1 0.7	34 22.4	15 9.9
	90歳以上	N=39	1 2.6	2 5.1	1 2.6	-	15 38.5	5 12.8
	不明・無回答	N=30	4 13.3	10 33.3	4 13.3	-	2 6.7	6 20.0

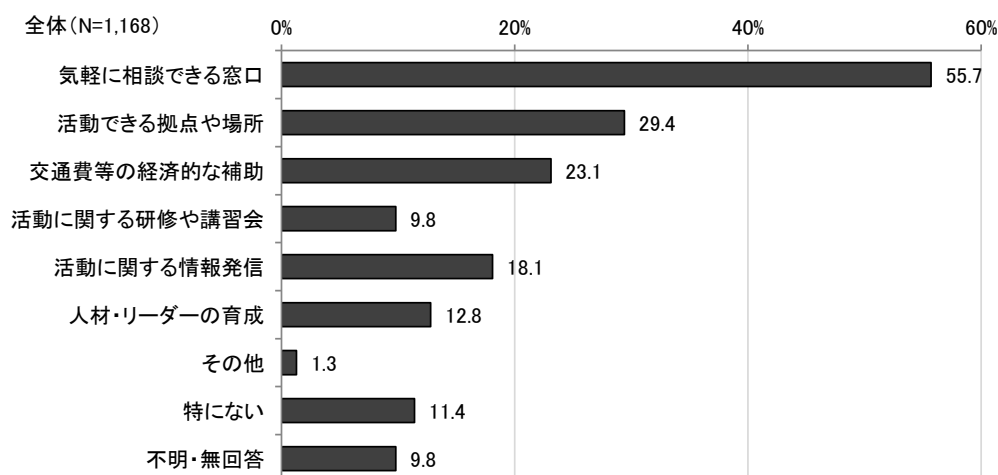
■身近な地域で、今後特に必要と思うこと（近所の困っている人にできること別）

身近な地域で、今後特に必要と思うことを近所の困っている人にできること別にみると、「介護が必要になった時に通所・入所できる介護・福祉施設の充実」「介護が必要になった時に自宅で利用できる介護・福祉サービスの充実」以外では、「誰でも気軽に集える地域の拠点の確保」については『短時間の子どもの預かり』『ごみ出し』『買い物や通院等の付き添い』、「誰でも困った時に支え合える福祉ボランティア・NPO 活動の育成」については『買い物の代行』『買い物や通院等の付き添い』『災害避難時の付き添い』が高くなっています。

上段:件数 下段:%	介護が必要になった時に通所・入所できる「介護・福祉施設」の充実	誰でも気軽に集える「地域の拠点」の確保	介護が必要になった時に自宅で利用できる「介護・福祉サービス」の充実	誰でも困った時に支え合える「福祉ボランティア・NPO活動」の育成	身近な地域での「住民同士の支え合い」の推進	地域では助け合いができないことを補い合う「より広い範囲の支え合い」のしくみづくり	一人ひとりが、困った時に困っていると言える「助けられ上手」になること	援助を必要とする人の状況を「地域の中で把握」しておくこと
全体 N=1,168	749 64.1	252 21.6	614 52.6	238 20.4	300 25.7	127 10.9	299 25.6	260 22.3
安否確認の声かけ N=690	485 70.3	182 26.4	421 61.0	160 23.2	219 31.7	76 11.0	220 31.9	190 27.5
話し相手 N=437	298 68.2	139 31.8	253 57.9	115 26.3	155 35.5	62 14.2	154 35.2	128 29.3
ごみ出し N=259	182 70.3	84 32.4	155 59.8	74 28.6	82 31.7	34 13.1	95 36.7	78 30.1
玄関前の掃除や除雪 N=281	191 68.0	87 31.0	169 60.1	80 28.5	74 26.3	39 13.9	83 29.5	76 27.0
ちょっとした家事 N=170	62 57.9	31 29.0	68 63.6	31 29.0	40 37.4	11 10.3	41 38.3	30 28.0
買い物の代行 N=222	152 68.5	70 31.5	137 61.7	68 30.6	74 33.3	25 11.3	91 41.0	65 29.3
買い物や通院等の付き添い N=105	70 66.7	34 32.4	70 66.7	32 30.5	33 31.4	10 9.5	43 41.0	37 35.2
短時間の子どもの預かり N=92	53 57.6	30 32.6	54 58.7	20 21.7	33 35.9	6 6.5	36 39.1	22 23.9
いざという時の緊急連絡先 N=217	157 72.4	62 28.6	138 63.6	64 29.5	83 38.2	35 16.1	74 34.1	64 29.5
災害避難時の付き添い N=192	138 71.9	53 27.6	132 68.8	59 30.7	70 36.5	30 15.6	67 34.9	69 35.9
その他 N=14	9 64.3	4 28.6	5 35.7	3 21.4	2 14.3	2 14.3	3 21.4	7 50.0
特にできることはない N=142	84 59.2	14 9.9	57 40.1	17 12.0	19 13.4	11 7.7	22 15.5	22 15.5
不明・無回答 N=73	20 27.4	4 5.5	16 21.9	7 9.6	6 8.2	4 5.5	7 9.6	8 11.0
上段:件数 下段:%	援助を必要とする人の「情報を市と地域で共有」すること	困りごとや悩みを安心して相談できる「相談体制」の充実	緊急時の連絡や行政情報の伝達など「連絡がつきやすい」体制づくり	交通手段の確保、道路や建物の段差解消など「外出しやすさ」環境づくり	店舗から地域に移動販売に来てくれるなど「買い物しやすさ」環境づくり	その他	特にないわからない	不明・無回答
全体 N=1,168	216 18.5	327 28.0	349 29.9	365 31.3	307 26.3	20 1.7	54 4.6	53 4.5
安否確認の声かけ N=690	152 22.0	216 31.3	240 34.8	226 32.8	187 27.1	13 1.9	20 2.9	4 0.6
話し相手 N=437	88 20.1	158 36.2	142 32.5	160 36.6	145 33.2	7 1.6	9 2.1	4 0.9
ごみ出し N=259	58 22.4	87 33.6	94 36.3	98 37.8	78 30.1	6 2.3	6 2.3	2 0.8
玄関前の掃除や除雪 N=281	68 24.2	93 33.1	95 33.8	96 34.2	75 26.7	5 1.8	8 2.8	-
ちょっとした家事 N=170	23 21.5	37 34.6	39 36.4	37 34.6	39 36.4	5 4.7	1 0.9	1 0.9
買い物の代行 N=222	53 23.9	74 33.3	80 36.0	73 32.9	74 33.3	5 2.3	4 1.8	2 0.9
買い物や通院等の付き添い N=105	29 27.6	42 40.0	46 43.8	36 34.3	38 36.2	3 2.9	1 1.0	1 1.0
短時間の子どもの預かり N=92	13 14.1	28 30.4	36 39.1	39 42.4	33 35.9	2 2.2	1 1.1	1 1.1
いざという時の緊急連絡先 N=217	66 30.4	77 35.5	92 42.4	88 40.6	57 26.3	4 1.8	3 1.4	2 0.9
災害避難時の付き添い N=192	63 32.8	64 33.3	77 40.1	74 38.5	55 28.6	6 3.1	2 1.0	1 0.5
その他 N=14	5 35.7	6 42.9	5 35.7	5 35.7	6 42.9	-	2 14.3	-
特にできることはない N=142	19 13.4	37 26.1	40 28.2	35 24.6	37 26.1	2 1.4	19 13.4	2 1.4
不明・無回答 N=73	6 8.2	8 11.0	7 9.6	8 11.0	12 16.4	1 1.4	3 4.1	44 60.3

問 17 あなたがご近所で困っている人に手助けをする場合に、どのような支援があれば手助けしやすと思いますか。(3つまで○)

近所で困っている人を手助けする場合に、手助けをするための必要な支援についてみると、「気軽に相談できる窓口」が55.7%、「活動できる拠点や場所」が29.4%、「交通費等の経済的な補助」が23.1%と続いています。



■ ご近所で困っている人を手助けする場合に必要な支援（近所の困っている人にできること別）

近所の困っている人にできること別にみると、「特にできることはない」を除き、すべてにおいて「気軽に相談できる窓口」が高くなっています。また、「活動できる拠点や場所」については『買い物や通院等の付き添い』や『短時間の子どもの預かり』、「活動に関する研修や講習会」については『ちょっとした家事』や『買い物や通院等の付き添い』、「人材・リーダーの育成」については『災害避難時の付き添い』が全体よりも特に高くなっています。

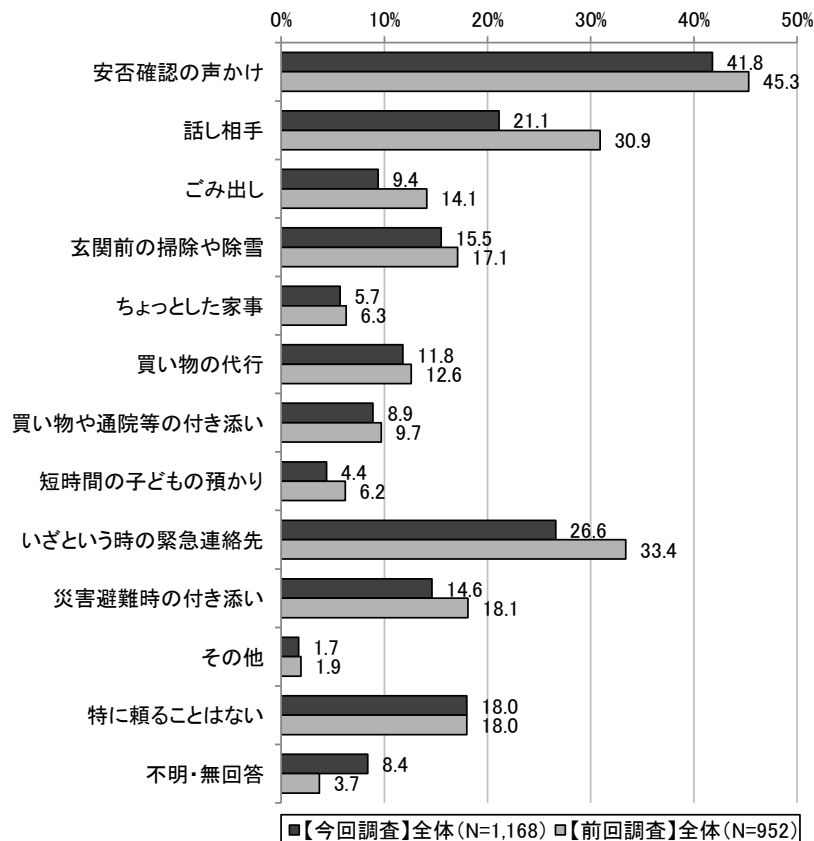
上段:件数 下段:%	気軽に相談できる窓口	活動できる拠点や場所	交通費等の経済的な補助	活動に関する研修や講習会	活動に関する情報発信	人材・リーダーの育成	その他	特にない	不明・無回答
全体 N=1,168	651 55.7	343 29.4	270 23.1	115 9.8	211 18.1	150 12.8	15 1.3	133 11.4	114 9.8
安否確認の声かけ N=450	450 65.2	252 36.5	173 25.1	86 12.5	157 22.8	108 15.7	11 1.6	45 6.5	31 4.5
話し相手 N=304	304 69.6	164 37.5	125 28.6	53 12.1	94 21.5	68 15.6	7 1.6	23 5.3	17 3.9
ごみ出し N=170	170 65.6	94 36.3	69 26.6	40 15.4	69 26.6	36 13.9	7 2.7	14 5.4	10 3.9
玄関前の掃除や除雪 N=176	176 62.6	108 38.4	94 33.5	38 13.5	78 27.8	45 16.0	6 2.1	11 3.9	9 3.2
ちょっとした家事 N=64	64 59.8	41 38.3	26 24.3	23 21.5	25 23.4	18 16.8	4 3.7	3 2.8	7 6.5
買い物の代行 N=146	146 65.8	95 42.8	76 34.2	32 14.4	63 28.4	35 15.8	6 2.7	9 4.1	8 3.6
買い物や通院等の付き添い N=68	68 64.8	47 44.8	31 29.5	21 20.0	25 23.8	20 19.0	5 4.8	7 6.7	2 1.9
短時間の子どもの預かり N=60	60 65.2	41 44.6	32 34.8	14 15.2	23 25.0	16 17.4	4 4.3	3 3.3	-
いざという時の緊急連絡先 N=148	148 68.2	88 40.6	64 29.5	32 14.7	47 21.7	43 19.8	5 2.3	7 3.2	11 5.1
災害避難時の付き添い N=117	117 60.9	74 38.5	52 27.1	31 16.1	56 29.2	40 20.8	3 1.6	11 5.7	11 5.7
その他 N=7	7 50.0	3 21.4	5 35.7	1 7.1	2 14.3	2 14.3	3 21.4	2 14.3	-
特にできることはない N=37	37 26.1	13 9.2	22 15.5	8 5.6	10 7.0	11 7.7	1 0.7	65 45.8	13 9.2
不明・無回答 N=42	2 2.7	3 4.1	2 2.7	1 1.4	1 1.4	1 1.4	1 1.4	2 2.7	63 86.3

問 18 あなたが困った時、ご近所に頼りたいことは、どのようなことですか。(あてはまるものすべてに○)

困った時、近所に頼りたいことについてみると、「安否確認の声かけ」が41.8%、「いざという時の緊急連絡先」が26.6%、「話し相手」が21.1%と続いています。

前回調査と比較すると、「特に頼ることはない」以外は少なくなっています。特に「話し相手」は9.8ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■困った時、ご近所に頼りたいこと（年齢別）

年齢別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっています。また、『20歳代』では「玄関前の掃除や除雪」と「いざという時の緊急連絡先」、『30歳代』では「短時間の子どもの預かり」、『40歳代』から『70歳代』までは「いざという時の緊急連絡先」、『80歳代』『90歳以上』では「話し相手」も多く挙げられています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
年齢別	全体	N=1,168	488 41.8	247 21.1	110 9.4	181 15.5	66 5.7	138 11.8	104 8.9
	20歳代	N=76	25 32.9	12 15.8	4 5.3	17 22.4	2 2.6	2 2.6	4 5.3
	30歳代	N=113	41 36.3	14 12.4	2 1.8	15 13.3	5 4.4	9 8.0	3 2.7
	40歳代	N=138	56 40.6	15 10.9	5 3.6	15 10.9	8 5.8	12 8.7	6 4.3
	50歳代	N=180	73 40.6	28 15.6	16 8.9	26 14.4	8 4.4	19 10.6	14 7.8
	60歳代	N=228	91 39.9	44 19.3	23 10.1	40 17.5	15 6.6	24 10.5	26 11.4
	70歳代	N=212	99 46.7	70 33.0	29 13.7	31 14.6	16 7.5	42 19.8	24 11.3
	80歳代	N=152	75 49.3	51 33.6	24 15.8	25 16.4	9 5.9	25 16.4	21 13.8
	90歳以上	N=39	16 41.0	7 17.9	3 7.7	6 15.4	2 5.1	3 7.7	3 7.7
	不明・無回答	N=30	12 40.0	6 20.0	4 13.3	6 20.0	1 3.3	2 6.7	3 10.0

上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特に頼るこ とはない	不明・無回答	
年齢別	全体	N=1,168	51 4.4	311 26.6	170 14.6	20 1.7	210 18.0	98 8.4
	20歳代	N=76	9 11.8	17 22.4	12 15.8	-	17 22.4	2 2.6
	30歳代	N=113	23 20.4	14 12.4	12 10.6	1 0.9	27 23.9	7 6.2
	40歳代	N=138	10 7.2	33 23.9	17 12.3	5 3.6	29 21.0	5 3.6
	50歳代	N=180	4 2.2	43 23.9	24 13.3	3 1.7	43 23.9	8 4.4
	60歳代	N=228	2 0.9	64 28.1	29 12.7	5 2.2	42 18.4	23 10.1
	70歳代	N=212	1 0.5	74 34.9	36 17.0	4 1.9	24 11.3	24 11.3
	80歳代	N=152	-	50 32.9	32 21.1	1 0.7	15 9.9	18 11.8
	90歳以上	N=39	1 2.6	6 15.4	3 7.7	1 2.6	7 17.9	6 15.4
	不明・無回答	N=30	1 3.3	10 33.3	5 16.7	-	6 20.0	5 16.7

■困った時、ご近所に頼りたいこと（小学校区別）

小学校区別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっています。また、『山東小学校区』や『息長小学校区』では「いざという時の緊急連絡先」も多く挙げられています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
小 学 校 区 別	全体	N=1,168	488 41.8	247 21.1	110 9.4	181 15.5	66 5.7	138 11.8	104 8.9
	柏原小学校区	N=98	45 45.9	16 16.3	11 11.2	16 16.3	5 5.1	13 13.3	9 9.2
	山東小学校区	N=124	46 37.1	30 24.2	13 10.5	21 16.9	13 10.5	14 11.3	13 10.5
	大原小学校区	N=129	54 41.9	34 26.4	5 3.9	21 16.3	4 3.1	12 9.3	8 6.2
	伊吹小学校区	N=69	29 42.0	11 15.9	5 7.2	10 14.5	4 5.8	7 10.1	6 8.7
	春照小学校区	N=101	39 38.6	21 20.8	7 6.9	13 12.9	6 5.9	15 14.9	12 11.9
	米原小学校区	N=216	93 43.1	48 22.2	19 8.8	32 14.8	12 5.6	27 12.5	17 7.9
	河南小学校区	N=122	52 42.6	24 19.7	11 9.0	23 18.9	6 4.9	7 5.7	9 7.4
	坂田小学校区	N=161	68 42.2	40 24.8	24 14.9	26 16.1	11 6.8	22 13.7	12 7.5
	息長小学校区	N=106	48 45.3	13 12.3	10 9.4	13 12.3	4 3.8	15 14.2	11 10.4
	不明・無回答	N=42	14 33.3	10 23.8	5 11.9	6 14.3	1 2.4	6 14.3	7 16.7

上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特に頼ること はない	不明・無回答	
小 学 校 区 別	全体	N=1,168	51 4.4	311 26.6	170 14.6	20 1.7	210 18.0	98 8.4
	柏原小学校区	N=98	1 1.0	23 23.5	9 9.2	2 2.0	17 17.3	9 9.2
	山東小学校区	N=124	5 4.0	40 32.3	13 10.5	1 0.8	26 21.0	12 9.7
	大原小学校区	N=129	7 5.4	23 17.8	15 11.6	1 0.8	26 20.2	12 9.3
	伊吹小学校区	N=69	4 5.8	16 23.2	15 21.7	1 1.4	11 15.9	8 11.6
	春照小学校区	N=101	4 4.0	26 25.7	14 13.9	2 2.0	18 17.8	5 5.0
	米原小学校区	N=216	8 3.7	61 28.2	36 16.7	3 1.4	39 18.1	18 8.3
	河南小学校区	N=122	3 2.5	27 22.1	17 13.9	3 2.5	29 23.8	7 5.7
	坂田小学校区	N=161	9 5.6	47 29.2	27 16.8	3 1.9	22 13.7	11 6.8
	息長小学校区	N=106	9 8.5	32 30.2	17 16.0	4 3.8	16 15.1	9 8.5
	不明・無回答	N=42	1 2.4	16 38.1	7 16.7	-	6 14.3	7 16.7

※「特に頼ることはない」を除く上位3項目(柏原小学校区のみ4項目)に網掛けしています

■困った時、ご近所に頼りたいこと（近所付き合いの程度別）

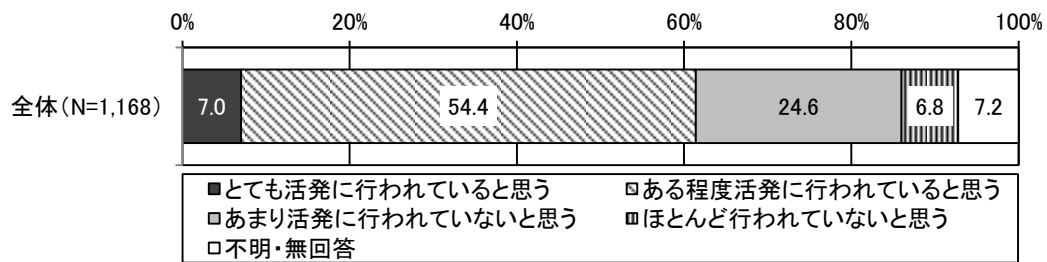
近所付き合いの程度別にみると、「ほとんど付き合いはない」を除き、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっています。また、『お互いによく訪問し合う』では、「話し相手」や「ごみ出し」「買い物の代行」「買い物や通院等の付き添い」についても、全体より多く挙げられています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
近 所 付 き 合 い の 程 度 別	全体	N=1,168	488 41.8	247 21.1	110 9.4	181 15.5	66 5.7	138 11.8	104 8.9
	困った時には互 いに助け合う	N=251	129 51.4	68 27.1	23 9.2	40 15.9	13 5.2	31 12.4	33 13.1
	お互いによく訪 問し合う	N=52	30 57.7	23 44.2	9 17.3	7 13.5	3 5.8	10 19.2	7 13.5
	会った時には立 ち話をする	N=422	187 44.3	93 22.0	44 10.4	60 14.2	28 6.6	57 13.5	31 7.3
	あいさつをする 程度	N=364	122 33.5	49 13.5	28 7.7	59 16.2	17 4.7	33 9.1	26 7.1
	ほとんど付き合 いはない	N=45	7 15.6	7 15.6	2 4.4	8 17.8	3 6.7	4 8.9	4 8.9
	不明・無回答	N=34	13 38.2	7 20.6	4 11.8	7 20.6	2 5.9	3 8.8	3 8.8
	上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特に頼ること はない	不明・無回答	
近 所 付 き 合 い の 程 度 別	全体	N=1,168	51 4.4	311 26.6	170 14.6	20 1.7	210 18.0	98 8.4	
	困った時には互 いに助け合う	N=251	2 0.8	81 32.3	42 16.7	5 2.0	25 10.0	20 8.0	
	お互いによく訪 問し合う	N=52	1 1.9	11 21.2	7 13.5	2 3.8	6 11.5	5 9.6	
	会った時には立 ち話をする	N=422	23 5.5	134 31.8	57 13.5	3 0.7	68 16.1	35 8.3	
	あいさつをする 程度	N=364	20 5.5	68 18.7	51 14.0	9 2.5	90 24.7	28 7.7	
	ほとんど付き合 いはない	N=45	4 8.9	6 13.3	8 17.8	1 2.2	14 31.1	3 6.7	
	不明・無回答	N=34	1 2.9	11 32.4	5 14.7	-	7 20.6	7 20.6	

4. 地域活動・ボランティア活動について

問 19 あなたが住んでいる地域の住民自治活動は活発だと思いますか。(1つに○)

住民自治活動が活発だと思うかについてみると、『活発に行われていると思う』(「とても活発に行われていると思う」「ある程度活発に行われていると思う」の合計)が61.4%、『活発に行われていないと思う』(「あまり活発に行われていないと思う」「ほとんど行われていないと思う」の合計)が31.4%となっています。



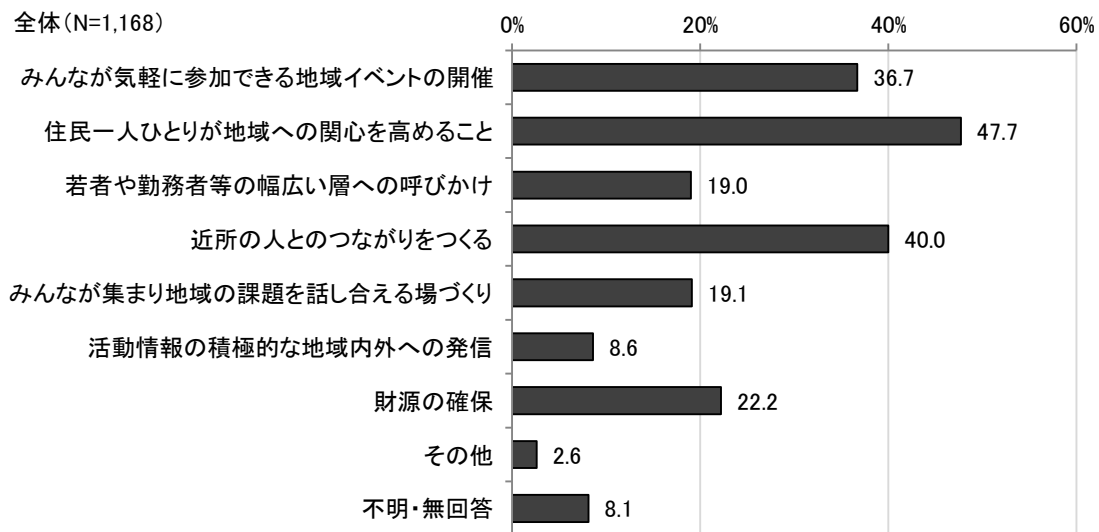
■地域の住民自治活動は活発だと思うか (小学校区別)

小学校区別にみると、すべてにおいて「ある程度活発に行われていると思う」が高くなっており、「息長小学校区」では『活発に行われていると思う』が特に高くなっています。

上段:件数 下段:%		とても活発に行われていると思う	ある程度活発に行われていると思う	あまり活発に行われていないと思う	ほとんど行われていないと思う	不明・無回答	
小学校区別	全体	N=1,168	82 7.0	635 54.4	287 24.6	80 6.8	84 7.2
	柏原小学校区	N=98	14 14.3	53 54.1	21 21.4	4 4.1	6 6.1
	山東小学校区	N=124	3 2.4	74 59.7	31 25.0	5 4.0	11 8.9
	大原小学校区	N=129	11 8.5	67 51.9	36 27.9	7 5.4	8 6.2
	伊吹小学校区	N=69	6 8.7	38 55.1	17 24.6	3 4.3	5 7.2
	春照小学校区	N=101	6 5.9	52 51.5	30 29.7	7 6.9	6 5.9
	米原小学校区	N=216	11 5.1	104 48.1	57 26.4	29 13.4	15 6.9
	河南小学校区	N=122	7 5.7	67 54.9	29 23.8	13 10.7	6 4.9
	坂田小学校区	N=161	9 5.6	94 58.4	39 24.2	8 5.0	11 6.8
	息長小学校区	N=106	12 11.3	71 67.0	14 13.2	1 0.9	8 7.5
	不明・無回答	N=42	3 7.1	15 35.7	13 31.0	3 7.1	8 19.0

問 20 地域の住民自治活動を活発にするためには、主に何が必要だと思いますか。(3つまで○)

住民自治活動を活発にするために必要なことについてみると、「住民一人ひとりが地域への関心を高めること」が 47.7%、「近所の人とのつながりをつくる」が 40.0%、「みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催」が 36.7%と続いています。



■住民自治活動を活発にするために必要なこと (年齢別)

年齢別にみると、『40歳代』では「みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催」、『80歳代』『90歳以上』では「近所の人とのつながりをつくる」、それ以外では「住民一人ひとりが地域への関心を高めること」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%	年齢別	N	みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催	住民一人ひとりが地域への関心を高めること	若者や勤務者等の幅広い層への呼びかけ	近所の人とのつながりをつくる	みんなが集まり地域の課題を話し合える場づくり	活動情報の積極的な地域内外への発信	財源の確保	その他	不明・無回答
			件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数	割合 (%)	件数
全体		1,168	429	557	222	467	223	100	259	30	95
			36.7	47.7	19.0	40.0	19.1	8.6	22.2	2.6	8.1
20歳代		76	31	34	25	21	6	7	21	1	3
			40.8	44.7	32.9	27.6	7.9	9.2	27.6	1.3	3.9
30歳代		113	43	47	21	30	15	14	31	6	6
			38.1	41.6	18.6	26.5	13.3	12.4	27.4	5.3	5.3
40歳代		138	57	55	26	49	16	14	37	6	9
			41.3	39.9	18.8	35.5	11.6	10.1	26.8	4.3	6.5
50歳代		180	63	96	33	59	30	21	55	6	8
			35.0	53.3	18.3	32.8	16.7	11.7	30.6	3.3	4.4
60歳代		228	66	121	46	98	46	25	57	5	15
			28.9	53.1	20.2	43.0	20.2	11.0	25.0	2.2	6.6
70歳代		212	92	109	40	98	58	11	28	5	24
			43.4	51.4	18.9	46.2	27.4	5.2	13.2	2.4	11.3
80歳代		152	57	70	23	82	35	5	22	-	17
			37.5	46.1	15.1	53.9	23.0	3.3	14.5	-	11.2
90歳以上		39	12	15	3	16	7	2	4	-	9
			30.8	38.5	7.7	41.0	17.9	5.1	10.3	-	23.1
不明・無回答		30	8	10	5	14	10	1	4	1	4
			26.7	33.3	16.7	46.7	33.3	3.3	13.3	3.3	13.3

■住民自治活動を活発にするために必要なこと（小学校区別）

小学校区別にみると、『大原小学校区』『伊吹小学校区』では「みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催」、それ以外では「住民一人ひとりが地域への関心を高めること」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催	住民一人ひとりが地域への関心を高めること	若者や勤労者等の幅広い層への呼びかけ	近所の人とのつながりをつくる	みんなが集まり地域の課題を話し合える場づくり	活動情報の積極的な地域内外への発信	財源の確保	その他	不明・無回答	
小学校区別	全体	N=1,168	429 36.7	557 47.7	222 19.0	467 40.0	223 19.1	100 8.6	259 22.2	30 2.6	95 8.1
	柏原小学校区	N=98	27 27.6	50 51.0	25 25.5	42 42.9	22 22.4	8 8.2	25 25.5	-	8 8.2
	山東小学校区	N=124	40 32.3	68 54.8	20 16.1	55 44.4	21 16.9	11 8.9	28 22.6	1 0.8	12 9.7
	大原小学校区	N=129	60 46.5	58 45.0	22 17.1	50 38.8	25 19.4	4 3.1	37 28.7	6 4.7	11 8.5
	伊吹小学校区	N=69	33 47.8	31 44.9	13 18.8	29 42.0	13 18.8	2 2.9	16 23.2	-	7 10.1
	春照小学校区	N=101	35 34.7	47 46.5	31 30.7	38 37.6	33 32.7	16 15.8	19 18.8	1 1.0	5 5.0
	米原小学校区	N=216	75 34.7	102 47.2	40 18.5	80 37.0	44 20.4	23 10.6	40 18.5	9 4.2	16 7.4
	河南小学校区	N=122	45 36.9	59 48.4	25 20.5	37 30.3	21 17.2	12 9.8	25 20.5	4 3.3	9 7.4
	坂田小学校区	N=161	66 41.0	82 50.9	24 14.9	74 46.0	21 13.0	12 7.5	36 22.4	3 1.9	13 8.1
	息長小学校区	N=106	34 32.1	49 46.2	17 16.0	41 38.7	11 10.4	11 10.4	27 25.5	4 3.8	8 7.5
	不明・無回答	N=42	14 33.3	11 26.2	5 11.9	21 50.0	12 28.6	1 2.4	6 14.3	2 4.8	6 14.3

※上位2項目に網掛けしています

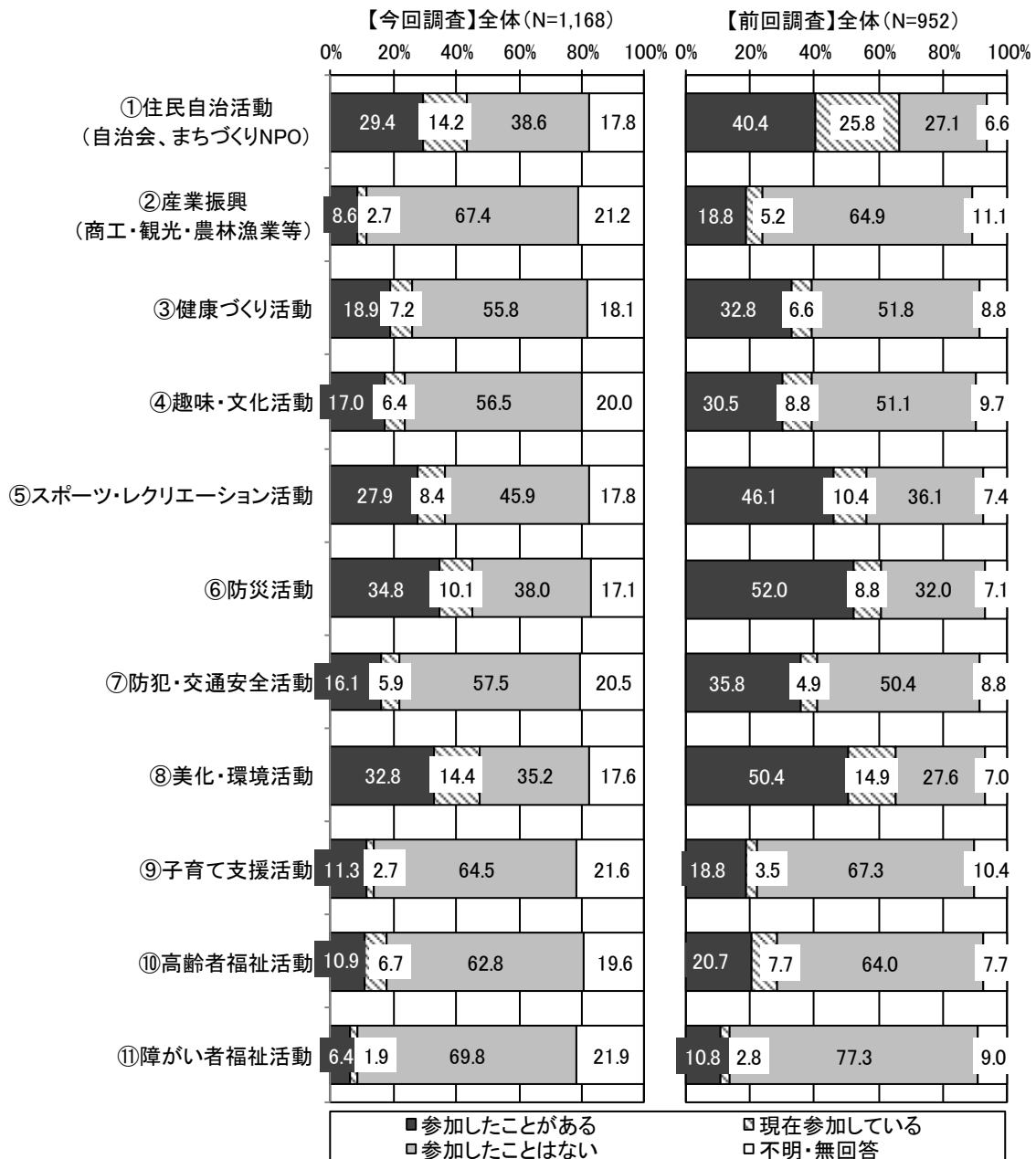
問 21 お住まいの地域で行われている次のような地域活動の中で、あなたがここ1～2年の間に参加したのがありますか。(1)～(12)のそれぞれの活動ごとに、①参加経験、②今後の参加意向について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

〔①参加経験〕

参加経験についてみると、【参加経験がある】(「参加したことがある」「現在参加している」の合計)では『⑧美化・環境活動』が47.2%、『⑥防災活動』が44.9%、『①住民自治活動』が43.6%と続いています。

前回調査と比較すると、全ての項目で【参加経験がある】が少なくなっており、少子高齢化による参加者の減少や地域における関わりの希薄化の影響等がうかがえます。特に『①住民自治活動』が22.6ポイント、『⑤スポーツ・レクリエーション活動』が20.2ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■ご近所に困っている人がいる時にできること（住民自治活動の参加経験別）

住民自治活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、それ以外についても、ほとんどで『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも高くなっています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
住民自治活動の参加経験別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	参加したことがある	N=343	232 67.6	135 39.4	83 24.2	90 26.2	34 9.9	77 22.4	39 11.4
	現在参加している	N=166	126 75.9	68 41.0	46 27.7	53 31.9	16 9.6	39 23.5	19 11.4
	参加したことはない	N=451	232 51.4	161 35.7	96 21.3	103 22.8	38 8.4	79 17.5	32 7.1
	不明・無回答	N=208	100 48.1	73 35.1	34 16.3	35 16.8	19 9.1	27 13.0	15 7.2
上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答		
住民自治活動の参加経験別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	参加したことがある	N=343	33 9.6	66 19.2	81 23.6	1 0.3	20 5.8	24 7.0	
	現在参加している	N=166	18 10.8	42 25.3	33 19.9	4 2.4	7 4.2	2 1.2	
	参加したことはない	N=451	31 6.9	65 14.4	54 12.0	4 0.9	89 19.7	18 4.0	
	不明・無回答	N=208	10 4.8	44 21.2	24 11.5	5 2.4	26 12.5	29 13.9	

■ご近所に困っている人がいる時にできること（健康づくり活動の参加経験別）

健康づくり活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、それ以外についても、ほとんどで『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも高くなっています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
健康づくり活動の参加経験別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	参加したことがある	N=221	162 73.3	96 43.4	54 24.4	58 26.2	28 12.7	55 24.9	26 11.8
	現在参加している	N=84	59 70.2	46 54.8	22 26.2	20 23.8	5 6.0	21 25.0	9 10.7
	参加したことはない	N=652	368 56.4	228 35.0	150 23.0	167 25.6	57 8.7	120 18.4	55 8.4
	不明・無回答	N=211	101 47.9	67 31.8	33 15.6	36 17.1	17 8.1	26 12.3	15 7.1
上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答		
健康づくり活動の参加経験別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	参加したことがある	N=221	23 10.4	51 23.1	42 19.0	1 0.5	9 4.1	16 7.2	
	現在参加している	N=84	10 11.9	21 25.0	16 19.0	3 3.6	5 6.0	2 2.4	
	参加したことはない	N=652	50 7.7	106 16.3	109 16.7	6 0.9	102 15.6	26 4.0	
	不明・無回答	N=211	9 4.3	39 18.5	25 11.8	4 1.9	26 12.3	29 13.7	

■ ご近所に困っている人がいる時にできること（防災活動の参加経験別）

防災活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、それ以外についても、ほとんどで『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも高くなっています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
防災 活動 の 参加 経験 別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	参加したことがある	N=406	286 70.4	168 41.4	106 26.1	113 27.8	47 11.6	95 23.4	46 11.3
	現在参加している	N=118	82 69.5	42 35.6	24 20.3	28 23.7	10 8.5	32 27.1	12 10.2
	参加したことはない	N=444	230 51.8	163 36.7	96 21.6	111 25.0	34 7.7	71 16.0	30 6.8
	不明・無回答	N=200	92 46.0	64 32.0	33 16.5	29 14.5	16 8.0	24 12.0	17 8.5
	上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
防災 活動 の 参加 経験 別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	参加したことがある	N=406	34 8.4	98 24.1	86 21.2	1 0.2	22 5.4	22 5.4	
	現在参加している	N=118	17 14.4	27 22.9	27 22.9	1 0.8	6 5.1	4 3.4	
	参加したことはない	N=444	32 7.2	57 12.8	55 12.4	7 1.6	88 19.8	19 4.3	
	不明・無回答	N=200	9 4.5	35 17.5	24 12.0	5 2.5	26 13.0	28 14.0	

■ ご近所に困っている人がいる時にできること（子育て支援活動の参加経験別）

子育て支援活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、「短時間の子どもの預かり」については『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも特に高くなっています。

上段:件数 下段:%		安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い	
子 育 て 支 援 活 動 の 参加 経験 別	全体	N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
	参加したことがある	N=132	92 69.7	63 47.7	40 30.3	38 28.8	27 20.5	38 28.8	16 12.1
	現在参加している	N=31	23 74.2	14 45.2	12 38.7	12 38.7	3 9.7	10 32.3	8 25.8
	参加したことはない	N=753	451 59.9	276 36.7	170 22.6	191 25.4	58 7.7	142 18.9	62 8.2
	不明・無回答	N=252	124 49.2	84 33.3	37 14.7	40 15.9	19 7.5	32 12.7	19 7.5
	上段:件数 下段:%		短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
子 育 て 支 援 活 動 の 参加 経験 別	全体	N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
	参加したことがある	N=132	30 22.7	31 23.5	26 19.7	1 0.8	4 3.0	8 6.1	
	現在参加している	N=31	6 19.4	9 29.0	7 22.6	-	-	-	
	参加したことはない	N=753	45 6.0	128 17.0	124 16.5	8 1.1	105 13.9	32 4.2	
	不明・無回答	N=252	11 4.4	49 19.4	35 13.9	5 2.0	33 13.1	33 13.1	

■ご近所に困っている人がいる時にできること（高齢者福祉活動の参加経験別）

高齢者福祉活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、「話し相手」や「ちょっとした家事」については『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも特に高くなっています。

上段:件数 下段:%	安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い
高齢者福祉活動の参加経験別							
全体 N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
参加したことがある N=127	95 74.8	59 46.5	36 28.3	33 26.0	25 19.7	35 27.6	20 15.7
現在参加している N=78	55 70.5	45 57.7	26 33.3	25 32.1	13 16.7	19 24.4	14 17.9
参加したことはない N=734	427 58.2	259 35.3	165 22.5	189 25.7	55 7.5	142 19.3	56 7.6
不明・無回答 N=229	113 49.3	74 32.3	32 14.0	34 14.8	14 6.1	26 11.4	15 6.6
上段:件数 下段:%	短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
高齢者福祉活動の参加経験別							
全体 N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
参加したことがある N=127	15 11.8	35 27.6	35 27.6	1 0.8	3 2.4	10 7.9	
現在参加している N=78	11 14.1	20 25.6	16 20.5	2 2.6	4 5.1	3 3.8	
参加したことはない N=734	59 8.0	118 16.1	113 15.4	7 1.0	106 14.4	29 4.0	
不明・無回答 N=229	7 3.1	44 19.2	28 12.2	4 1.7	29 12.7	31 13.5	

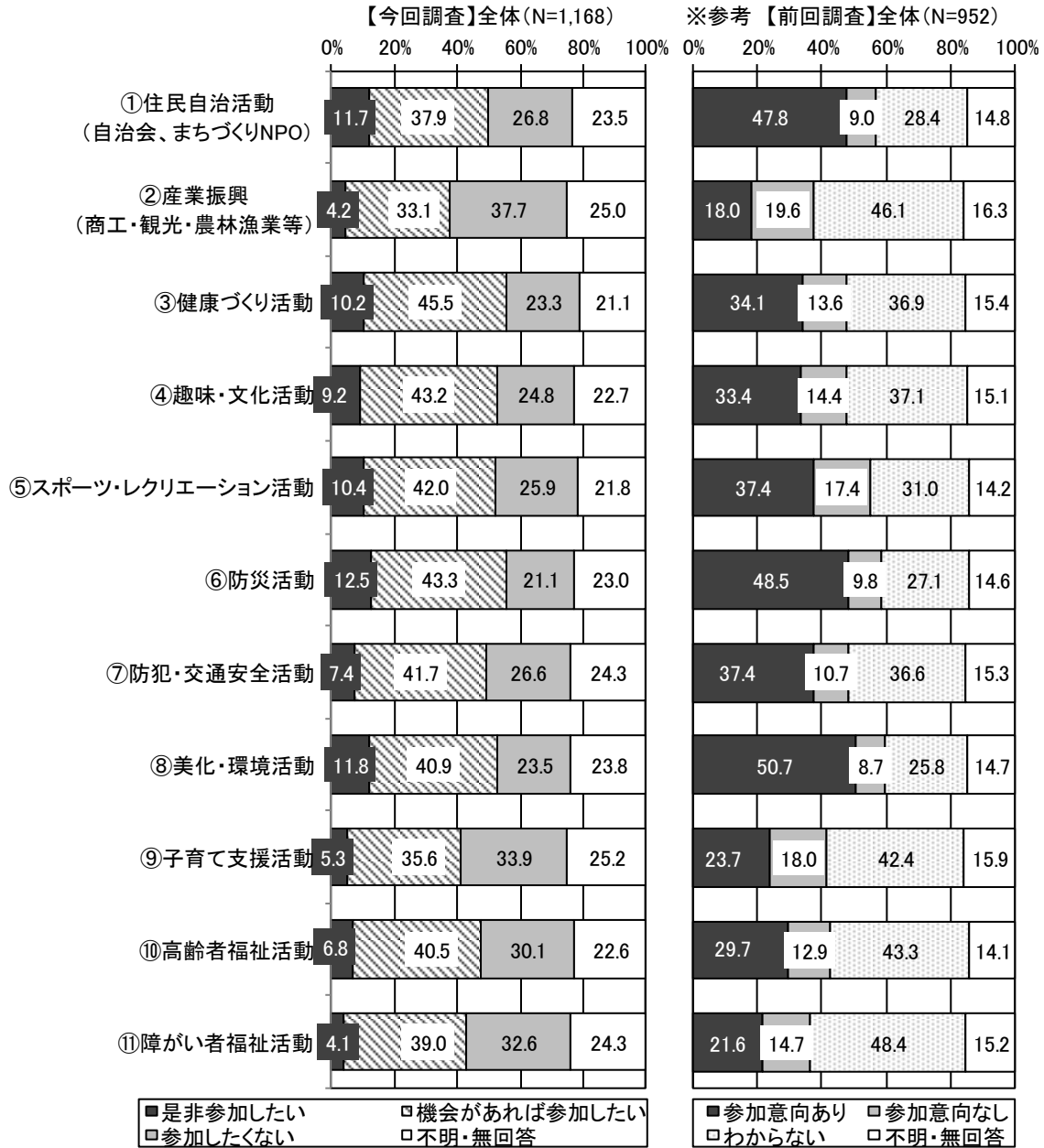
■ご近所に困っている人がいる時にできること（障がい者福祉活動の参加経験別）

障がい者福祉活動の参加経験別にみると、すべてにおいて「安否確認の声かけ」が高くなっており、「話し相手」や「いざという時の緊急連絡先」については『参加したことがある』『現在参加している』では全体よりも特に高くなっています。

上段:件数 下段:%	安否確認の 声かけ	話し相手	ごみ出し	玄関前の掃 除や除雪	ちょっとした 家事	買い物の代 行	買い物や通 院等の付き 添い
障がい者福祉活動の参加経験別							
全体 N=1,168	690 59.1	437 37.4	259 22.2	281 24.1	107 9.2	222 19.0	105 9.0
参加したことがある N=75	60 80.0	38 50.7	20 26.7	23 30.7	10 13.3	23 30.7	13 17.3
現在参加している N=22	14 63.6	12 54.5	6 27.3	7 31.8	4 18.2	5 22.7	3 13.6
参加したことはない N=815	490 60.1	303 37.2	194 23.8	213 26.1	75 9.2	163 20.0	72 8.8
不明・無回答 N=256	126 49.2	84 32.8	39 15.2	38 14.8	18 7.0	31 12.1	17 6.6
上段:件数 下段:%	短時間の子 どもの預かり	いざという時 の緊急連絡 先	災害避難時 の付き添い	その他	特にできるこ とはない	不明・無回答	
障がい者福祉活動の参加経験別							
全体 N=1,168	92 7.9	217 18.6	192 16.4	14 1.2	142 12.2	73 6.3	
参加したことがある N=75	9 12.0	27 36.0	22 29.3	1 1.3	1 1.3	2 2.7	
現在参加している N=22	2 9.1	9 40.9	3 13.6	-	2 9.1	2 9.1	
参加したことはない N=815	70 8.6	132 16.2	132 16.2	7 0.9	108 13.3	35 4.3	
不明・無回答 N=256	11 4.3	49 19.1	35 13.7	6 2.3	31 12.1	34 13.3	

〔②今後の参加意向〕

今後の参加意向についてみると、【参加したい】（「是非参加したい」「機会があれば参加したい」の合計）では『⑥防災活動』が55.8%、『③健康づくり活動』が55.7%、『⑧美化・環境活動』が52.7%と続いています。

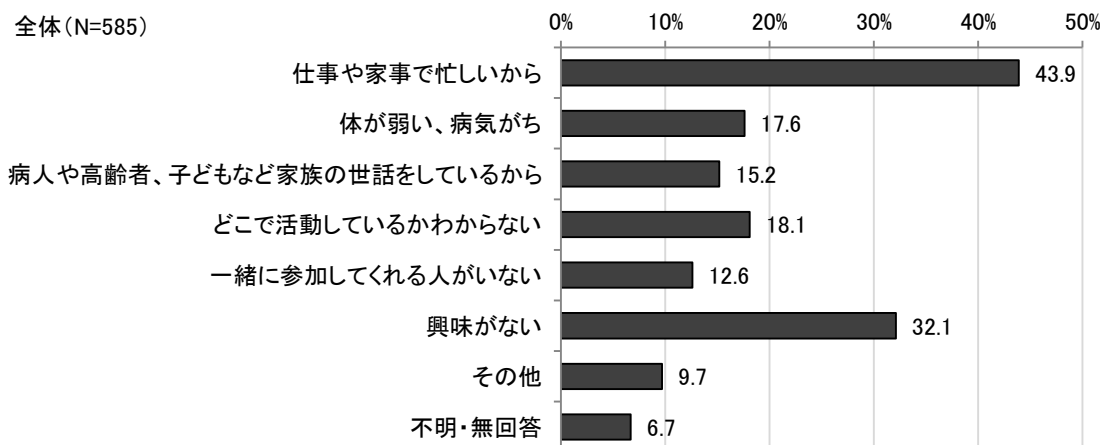


※前回調査は選択肢が異なるため、参考比較としています

【問 21 「②今後の参加意向」で、1つでも「参加したくない」を選んだ方におうかがいします】

問 21-1 その理由は何ですか。(3つまで○)

参加したくない理由についてみると、「仕事や家事で忙しいから」が43.9%、「興味がない」が32.1%、「どこで活動しているかわからない」が18.1%と続いています。



■地域活動に参加したくない理由（年齢別）

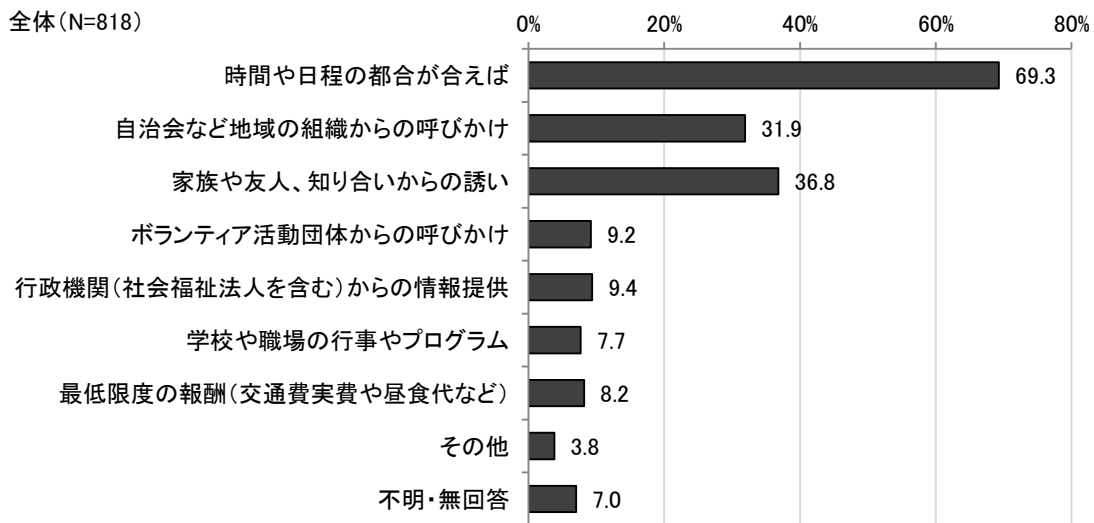
年齢別にみると、『90歳以上』を除き、『70歳代』『80歳代』では「体が弱い、病気がち」、それ以外では「仕事や家事で忙しいから」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		仕事や家事 で忙しいから	体が弱い、病 気がち	病人や高齢 者、子どもな ど家族の世 話をしている から	どこで活動し ているかわ からない	一緒に参加 してくれる人 がいない	興味がない	その他	不明・無回答
年齢別	全体	N=585 43.9	103 17.6	89 15.2	106 18.1	74 12.6	188 32.1	57 9.7	39 6.7
	20歳代	N=53 58.5	1 1.9	4 7.5	12 22.6	16 30.2	22 41.5	-	4 7.5
	30歳代	N=71 67.6	4 5.6	14 19.7	9 12.7	10 14.1	27 38.0	6 8.5	2 2.8
	40歳代	N=74 52.7	3 4.1	11 14.9	13 17.6	7 9.5	31 41.9	5 6.8	5 6.8
	50歳代	N=96 47.9	14 14.6	15 15.6	19 19.8	13 13.5	36 37.5	6 6.3	5 5.2
	60歳代	N=107 48.6	20 18.7	18 16.8	15 14.0	11 10.3	35 32.7	4 3.7	10 9.3
	70歳代	N=95 24.2	33 34.7	12 12.6	23 24.2	7 7.4	19 20.0	16 16.8	5 5.3
	80歳代	N=58 24.1	20 34.5	10 17.2	8 13.8	4 6.9	13 22.4	12 20.7	6 10.3
	90歳以上	N=20 10.0	6 30.0	3 15.0	4 20.0	3 15.0	2 10.0	8 40.0	-
	不明・無回答	N=11 18.2	2 18.2	2 18.2	3 27.3	3 27.3	3 27.3	-	2 18.2

【問 21「②今後の参加意向」で、1つでも「機会があれば参加したい」を選んだ方におうかがいします】

問 21-2 どのような機会があれば参加したいと思いますか。(3つまで○)

参加してみたいと思う機会についてみると、「時間や日程の都合が合えば」が 69.3%、「家族や友人、知り合いからの誘い」が 36.8%、「自治会など地域の組織からの呼びかけ」が 31.9%と続いています。



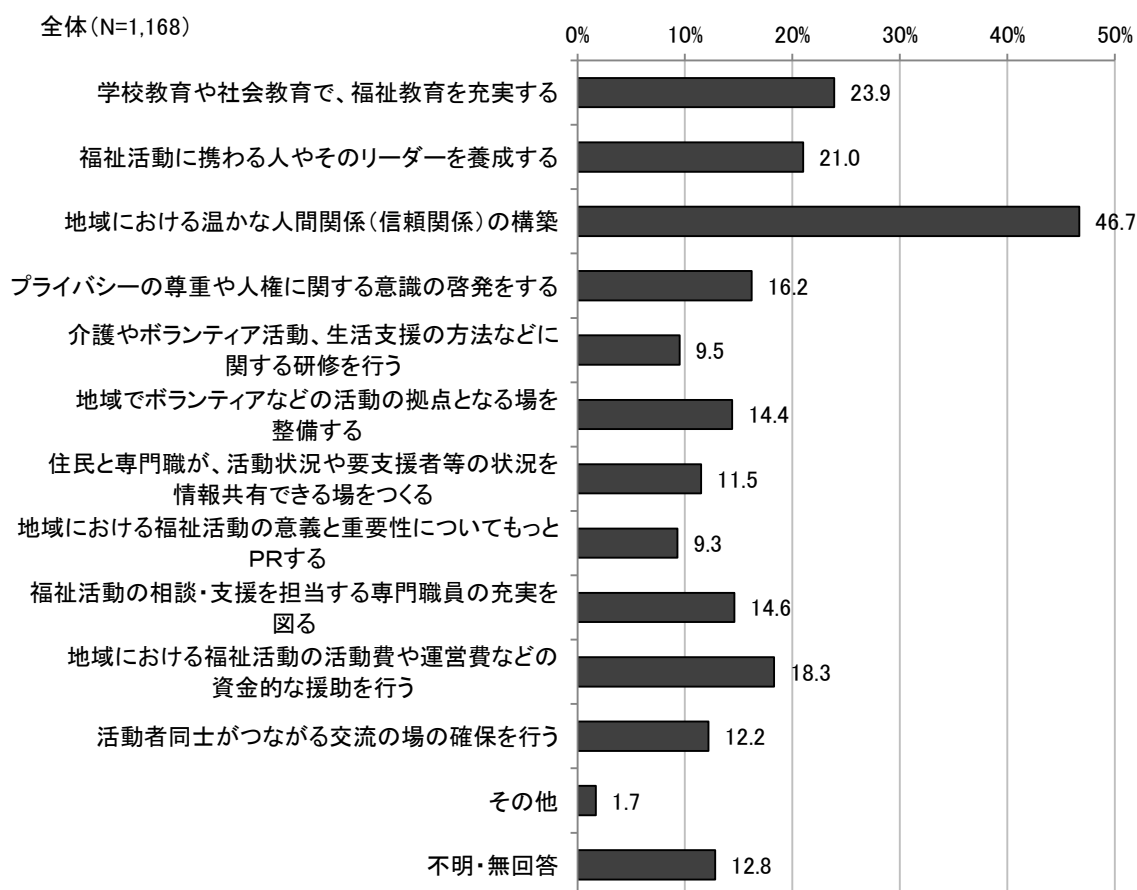
■どのような機会があれば地域活動に参加したいと思うか（年齢別）

年齢別にみると、『80歳代』『90歳以上』では「自治会など地域の組織からの呼びかけ」、70歳代以下では「時間や日程の都合が合えば」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		時間や日程の都合が合えば	自治会など地域の組織からの呼びかけ	家族や友人、知り合いからの誘い	ボランティア活動団体からの呼びかけ	行政機関(社会福祉法人を含む)からの情報提供	学校や職場の行事やプログラム	最低限度の報酬(交通費実費や昼食代など)	その他	不明・無回答
年齢別	全体 N=818	567 69.3	261 31.9	301 36.8	75 9.2	77 9.4	63 7.7	67 8.2	31 3.8	57 7.0
	20歳代 N=55	45 81.8	2 3.6	31 56.4	-	6 10.9	14 25.5	8 14.5	2 3.6	1 1.8
	30歳代 N=94	73 77.7	9 9.6	41 43.6	2 2.1	7 7.4	19 20.2	12 12.8	7 7.4	2 2.1
	40歳代 N=109	83 76.1	23 21.1	32 29.4	1 0.9	9 8.3	19 17.4	18 16.5	2 1.8	7 6.4
	50歳代 N=141	113 80.1	43 30.5	52 36.9	7 5.0	11 7.8	7 5.0	10 7.1	6 4.3	1 0.7
	60歳代 N=173	123 71.1	69 39.9	56 32.4	24 13.9	13 7.5	1 0.6	10 5.8	4 2.3	11 6.4
	70歳代 N=148	91 61.5	69 46.6	57 38.5	28 18.9	21 14.2	-	5 3.4	5 3.4	18 12.2
	80歳代 N=72	27 37.5	35 48.6	26 36.1	7 9.7	9 12.5	1 1.4	3 4.2	4 5.6	13 18.1
	90歳以上 N=11	2 18.2	5 45.5	2 18.2	2 18.2	1 9.1	-	-	1 9.1	3 27.3
	不明・無回答 N=15	10 66.7	6 40.0	4 26.7	4 26.7	-	2 13.3	1 6.7	-	1 6.7

問 22 地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つまで○)

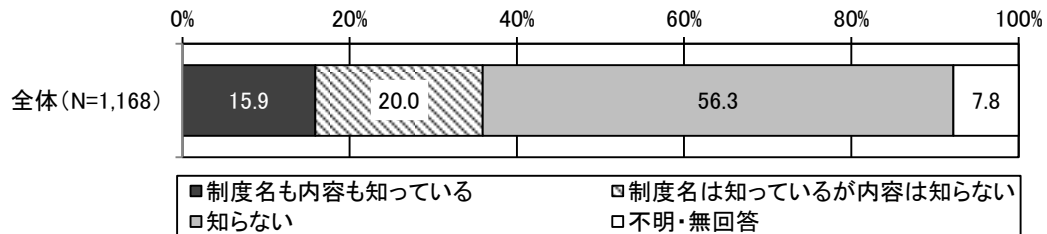
助け合いや支え合いを活発にするために必要だと思うことについてみると、「地域における温かな人間関係(信頼関係)の構築」が46.7%、「学校教育や社会教育で、福祉教育を充実する」が23.9%、「福祉活動に携わる人やそのリーダーを養成する」が21.0%と続いています。



5. 災害時の支え合いについて

問 23 あなたは「避難行動要支援者登録制度」※について、知っていますか。(1つに○)

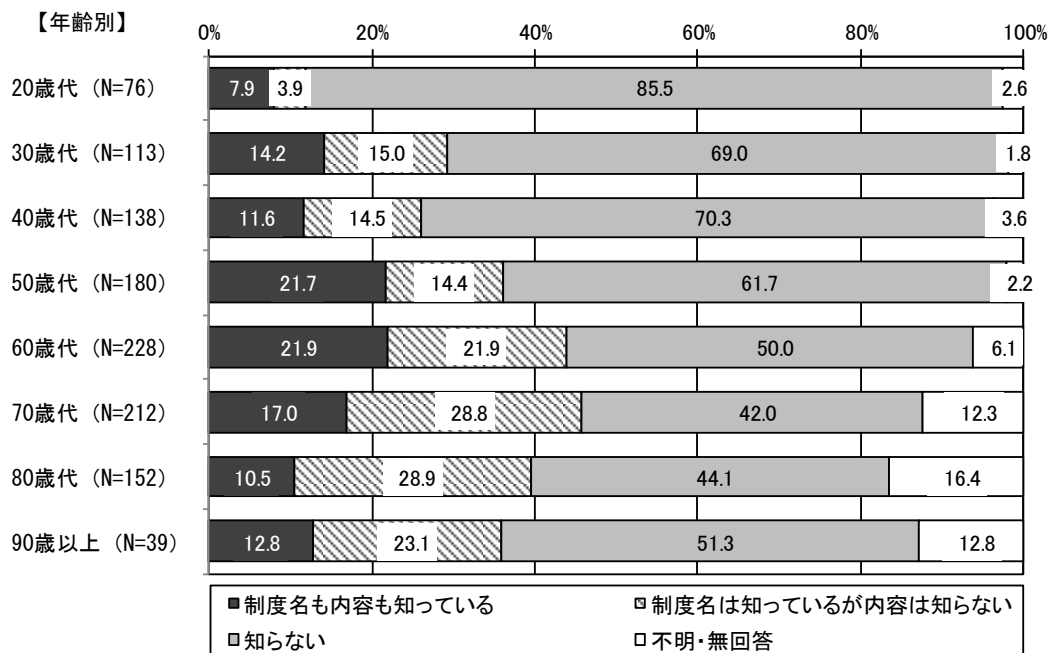
「避難行動要支援者登録制度」についてみると、「知らない」が56.3%、「制度名は知っているが内容は知らない」が20.0%、「制度名も内容も知っている」が15.9%と続いています。



※避難行動要支援者登録制度とは、ひとり暮らしの高齢者や障がいのある人など、災害時の避難行動に支援が必要な人(避難行動要支援者)に登録していただき、大規模な災害発生時には地域の皆さんで避難を支援する取り組みです。

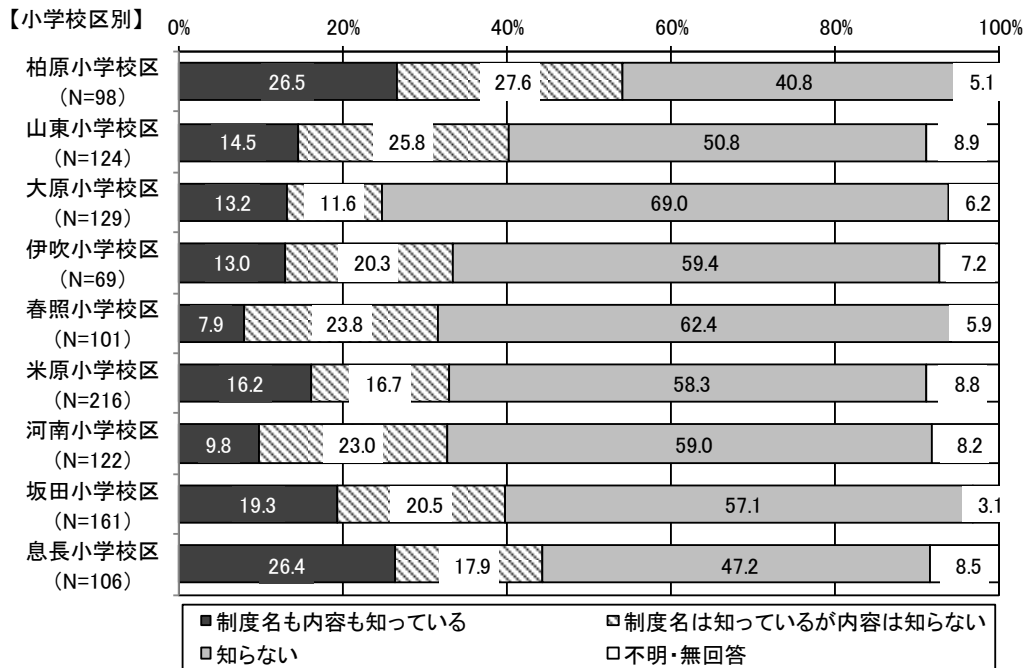
■「避難行動要支援者登録制度」の認知度(年齢別)

年齢別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『70歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



■「避難行動要支援者登録制度」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『柏原小学校区』が最も高く、『大原小学校区』が最も低くなっています。

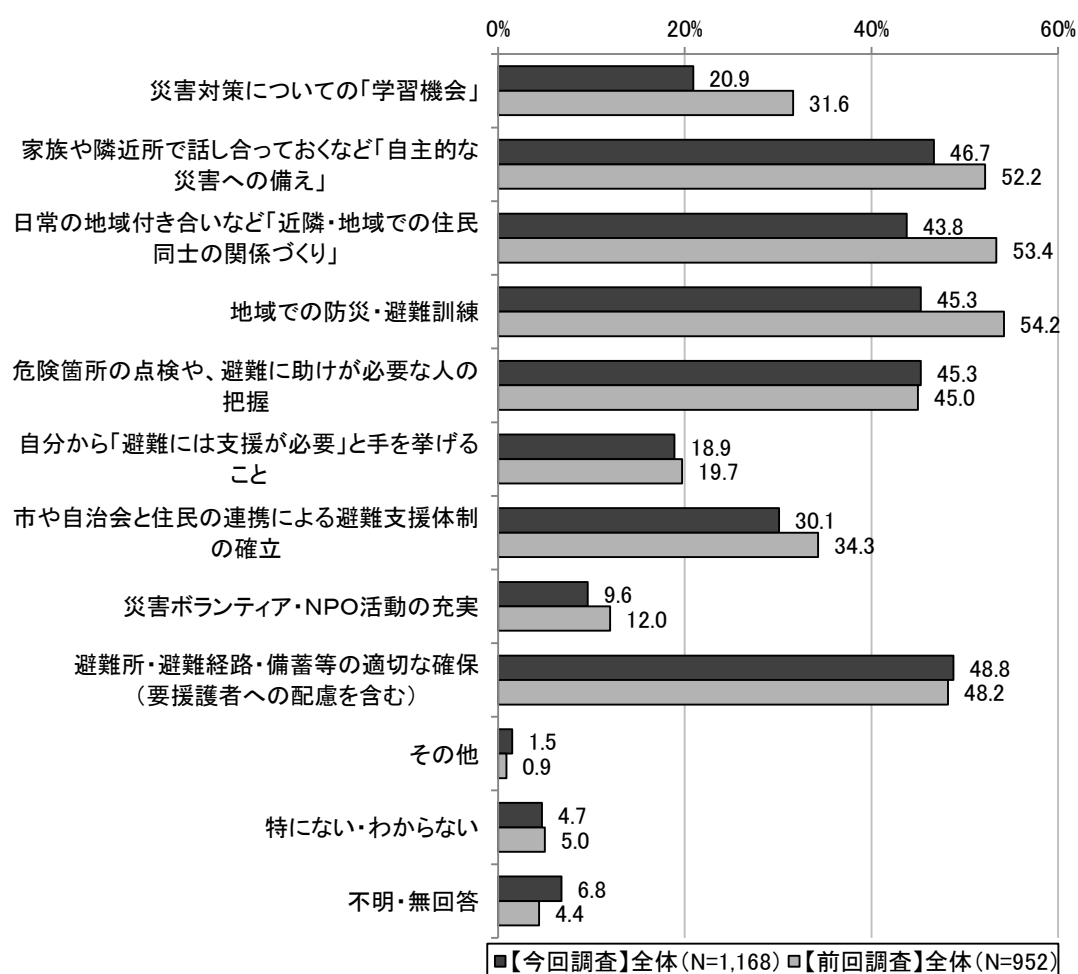


問 24 あなたは、地震等の災害に対する地域の備えとして、大切と思うことはどんなことですか。
(あてはまるものすべてに○)

災害などに対する地域の備えとして、大切に思うことについてみると、「避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保（要援護者への配慮を含む）」が48.8%、「家族や隣近所で話し合っておくなど自主的な災害への備え」が46.7%、「地域での防災・避難訓練」「危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握」がともに45.3%と続いています。

前回調査と比較すると、「避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保（要援護者への配慮を含む）」「危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握」以外は少なくなっています。特に「災害対策についての学習機会」が10.7ポイント少なくなっています。

■前回調査との経年比較



■地震等の災害に対する地域の備えとして、大切と思うこと（年齢別）

年齢別にみると、『20歳代』から『50歳代』までは「避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保（要援護者への配慮を含む）」、『60歳代』では「地域での防災・避難訓練」、『70歳代』では「日常の地域付き合いなど近隣・地域での住民同士の関係づくり」、『80歳代』『90歳以上』では「家族や隣近所で話し合っておくなど自主的な災害への備え」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		災害対策についての「学習機会」	家族や隣近所で話し合っておくなど「自主的な災害への備え」	日常の地域付き合いなど「近隣・地域での住民同士の関係づくり」	地域での防災・避難訓練	危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握	自分から「避難には支援が必要」と手を挙げること	
年齢別	全体	N=1,168	244 20.9	545 46.7	512 43.8	529 45.3	529 45.3	221 18.9
	20歳代	N=76	12 15.8	27 35.5	23 30.3	31 40.8	32 42.1	10 13.2
	30歳代	N=113	23 20.4	57 50.4	35 31.0	41 36.3	57 50.4	17 15.0
	40歳代	N=138	28 20.3	67 48.6	53 38.4	60 43.5	64 46.4	29 21.0
	50歳代	N=180	43 23.9	86 47.8	77 42.8	96 53.3	87 48.3	28 15.6
	60歳代	N=228	46 20.2	98 43.0	120 52.6	123 53.9	111 48.7	44 19.3
	70歳代	N=212	48 22.6	107 50.5	110 51.9	103 48.6	103 48.6	46 21.7
	80歳代	N=152	37 24.3	78 51.3	70 46.1	53 34.9	52 34.2	39 25.7
	90歳以上	N=39	4 10.3	15 38.5	11 28.2	13 33.3	12 30.8	6 15.4
	不明・無回答	N=30	3 10.0	10 33.3	13 43.3	9 30.0	11 36.7	2 6.7
	上段:件数 下段:%		市や自治会と住民の連携による避難支援体制の確立	災害ボランティア・NPO活動の充実	避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保(要援護者への配慮を含む)	その他	特にない・わからない	不明・無回答
年齢別	全体	N=1,168	352 30.1	112 9.6	570 48.8	17 1.5	55 4.7	79 6.8
	20歳代	N=76	22 28.9	10 13.2	44 57.9	-	3 3.9	2 2.6
	30歳代	N=113	38 33.6	11 9.7	78 69.0	1 0.9	5 4.4	2 1.8
	40歳代	N=138	32 23.2	15 10.9	83 60.1	2 1.4	6 4.3	4 2.9
	50歳代	N=180	52 28.9	21 11.7	105 58.3	3 1.7	7 3.9	5 2.8
	60歳代	N=228	79 34.6	15 6.6	116 50.9	3 1.3	10 4.4	11 4.8
	70歳代	N=212	61 28.8	14 6.6	77 36.3	4 1.9	9 4.2	22 10.4
	80歳代	N=152	52 34.2	22 14.5	49 32.2	2 1.3	8 5.3	19 12.5
	90歳以上	N=39	8 20.5	1 2.6	8 20.5	1 2.6	5 12.8	6 15.4
	不明・無回答	N=30	8 26.7	3 10.0	10 33.3	1 3.3	2 6.7	8 26.7

■地震等の災害に対する地域の備えとして、大切と思うこと（近所付き合いの程度別）

近所付き合いの程度別にみると、『困った時には互いに助け合う』では「日常の地域付き合いなど近隣・地域での住民同士の関係づくり」、『お互いによく訪問し合う』では「家族や隣近所で話し合っておくなど自主的な災害への備え」、それ以外では「避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保（要援護者への配慮を含む）」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		災害対策についての「学習機会」	家族や隣近所で話し合っておくなど「自主的な災害への備え」	日常の地域付き合いなど「近隣・地域での住民同士の関係づくり」	地域での防災・避難訓練	危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握	自分から「避難には支援が必要」と手を挙げること
近所付き合いの程度別	全体 N=1,168	244 20.9	545 46.7	512 43.8	529 45.3	529 45.3	221 18.9
	困った時には互いに助け合う N=251	59 23.5	137 54.6	142 56.6	136 54.2	120 47.8	52 20.7
	お互いによく訪問し合う N=52	15 28.8	35 67.3	31 59.6	24 46.2	24 46.2	15 28.8
	会った時には立ち話をする N=422	100 23.7	207 49.1	196 46.4	196 46.4	207 49.1	84 19.9
	あいさつをする程度 N=364	64 17.6	143 39.3	121 33.2	154 42.3	153 42.0	56 15.4
	ほとんど付き合いはない N=45	3 6.7	10 22.2	8 17.8	8 17.8	11 24.4	11 24.4
	不明・無回答 N=34	3 8.8	13 38.2	14 41.2	11 32.4	14 41.2	3 8.8
	上段:件数 下段:%	市や自治会と住民の連携による避難支援体制の確立	災害ボランティア・NPO活動の充実	避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保（要援護者への配慮を含む）	その他	特になし・わからない	不明・無回答
近所付き合いの程度別	全体 N=1,168	352 30.1	112 9.6	570 48.8	17 1.5	55 4.7	79 6.8
	困った時には互いに助け合う N=251	84 33.5	26 10.4	107 42.6	2 0.8	8 3.2	18 7.2
	お互いによく訪問し合う N=52	18 34.6	8 15.4	22 42.3	-	2 3.8	6 11.5
	会った時には立ち話をする N=422	128 30.3	40 9.5	216 51.2	9 2.1	14 3.3	24 5.7
	あいさつをする程度 N=364	103 28.3	32 8.8	191 52.5	4 1.1	24 6.6	12 3.3
	ほとんど付き合いはない N=45	9 20.0	3 6.7	22 48.9	1 2.2	7 15.6	7 15.6
	不明・無回答 N=34	10 29.4	3 8.8	12 35.3	1 2.9	-	12 35.3

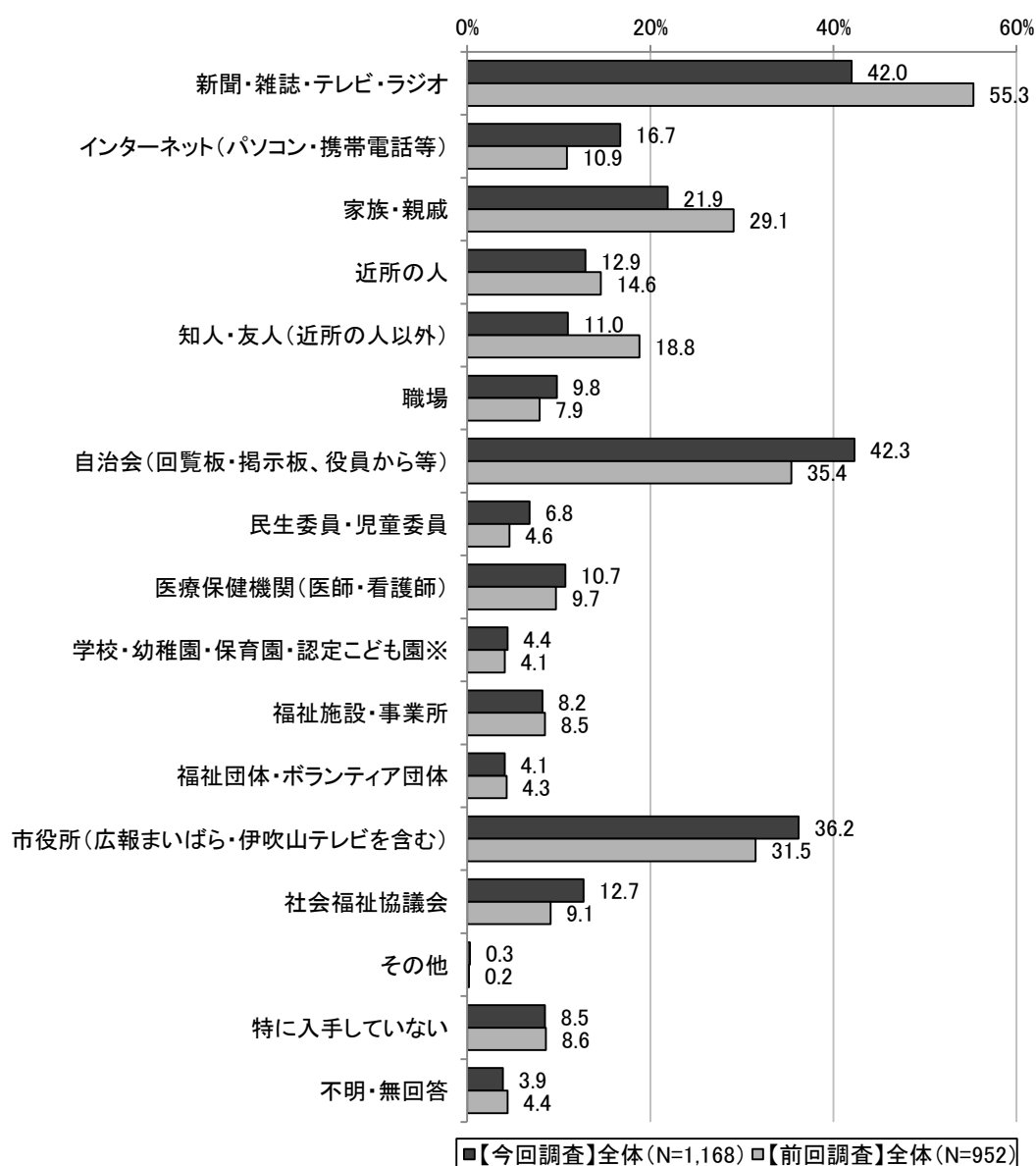
6. 地域福祉に関連する制度や機関、団体について

問 25 あなたは、福祉に関する情報を、どこ（誰）から入手していますか。（あてはまるものすべてに○）

情報の入手先についてみると、「自治会（回覧板・掲示板、役員から等）」が 42.3%、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 42.0%、「市役所（広報まいばら・伊吹山テレビを含む）」が 36.2%と続いています。

前回調査と比較すると、「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が 13.3 ポイント低くなっているのに対して、「自治会（回覧板・掲示板、役員から等）」が 6.9 ポイント、「インターネット（パソコン・携帯電話等）」が 5.8 ポイント高くなっています。

■前回調査との経年比較



※前回調査では「学校・幼稚園・保育園」

■福祉に関する情報の入手先（年齢別）

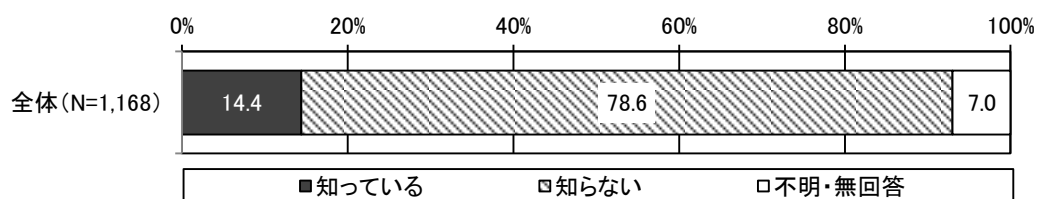
年齢別にみると、『20歳代』では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」、「インターネット（パソコン・携帯電話等）」、「家族・親戚」、『30歳代』では「インターネット（パソコン・携帯電話等）」、『40歳代』では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」と「自治会（回覧板・掲示板、役員から等）」、『80歳代』では「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」、『90歳以上』では「家族・親戚」、それ以外では「自治会（回覧板・掲示板、役員から等）」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		新聞・雑誌・ テレビ・ラジ オ	インターネッ ト(パソコン・ 携帯電話等)	家族・親戚	近所の人	知人・友人 (近所の人以 外)	職場	自治会(回覧 板・掲示板、 役員から等)	民生委員・児 童委員	医療保健機 関(医師・看 護師)	
年齢別	全体	N=1,168	490 42.0	195 16.7	256 21.9	151 12.9	128 11.0	115 9.8	494 42.3	80 6.8	125 10.7
	20歳代	N=76	29 38.2	29 38.2	29 38.2	2 2.6	7 9.2	17 22.4	10 13.2	-	6 7.9
	30歳代	N=113	41 36.3	45 39.8	29 25.7	8 7.1	16 14.2	21 18.6	35 31.0	2 1.8	5 4.4
	40歳代	N=138	58 42.0	36 26.1	25 18.1	9 6.5	14 10.1	17 12.3	58 42.0	5 3.6	5 3.6
	50歳代	N=180	75 41.7	35 19.4	30 16.7	27 15.0	14 7.8	43 23.9	76 42.2	7 3.9	26 14.4
	60歳代	N=228	99 43.4	24 10.5	33 14.5	25 11.0	27 11.8	11 4.8	122 53.5	13 5.7	24 10.5
	70歳代	N=212	101 47.6	14 6.6	46 21.7	45 21.2	34 16.0	4 1.9	117 55.2	20 9.4	26 12.3
	80歳代	N=152	73 48.0	6 3.9	47 30.9	24 15.8	13 8.6	-	60 39.5	28 18.4	26 17.1
	90歳以上	N=39	10 25.6	1 2.6	15 38.5	10 25.6	1 2.6	-	6 15.4	2 5.1	3 7.7
	不明・無回答	N=30	4 13.3	5 16.7	2 6.7	1 3.3	2 6.7	2 6.7	10 33.3	3 10.0	4 13.3

上段:件数 下段:%		学校・幼稚 園・保育園・ 認定こども園	福祉施設・事 業所	福祉団体・ボ ランティア団 体	市役所(広報 まいばら・伊 吹山テレビを 含む)	社会福祉協 議会	その他	特に入手して いない	不明・無回答	
年齢別	全体	N=1,168	51 4.4	96 8.2	48 4.1	423 36.2	148 12.7	3 0.3	99 8.5	46 3.9
	20歳代	N=76	7 9.2	5 6.6	-	10 13.2	1 1.3	-	13 17.1	2 2.6
	30歳代	N=113	15 13.3	7 6.2	2 1.8	34 30.1	6 5.3	-	17 15.0	2 1.8
	40歳代	N=138	19 13.8	6 4.3	3 2.2	46 33.3	11 8.0	1 0.7	19 13.8	1 0.7
	50歳代	N=180	5 2.8	17 9.4	4 2.2	67 37.2	18 10.0	1 0.6	11 6.1	3 1.7
	60歳代	N=228	-	20 8.8	12 5.3	81 35.5	37 16.2	-	14 6.1	11 4.8
	70歳代	N=212	3 1.4	17 8.0	15 7.1	112 52.8	42 19.8	1 0.5	8 3.8	8 3.8
	80歳代	N=152	-	21 13.8	8 5.3	56 36.8	25 16.4	-	10 6.6	12 7.9
	90歳以上	N=39	-	3 7.7	1 2.6	7 17.9	6 15.4	-	5 12.8	4 10.3
	不明・無回答	N=30	2 6.7	-	3 10.0	10 33.3	2 6.7	-	2 6.7	3 10.0

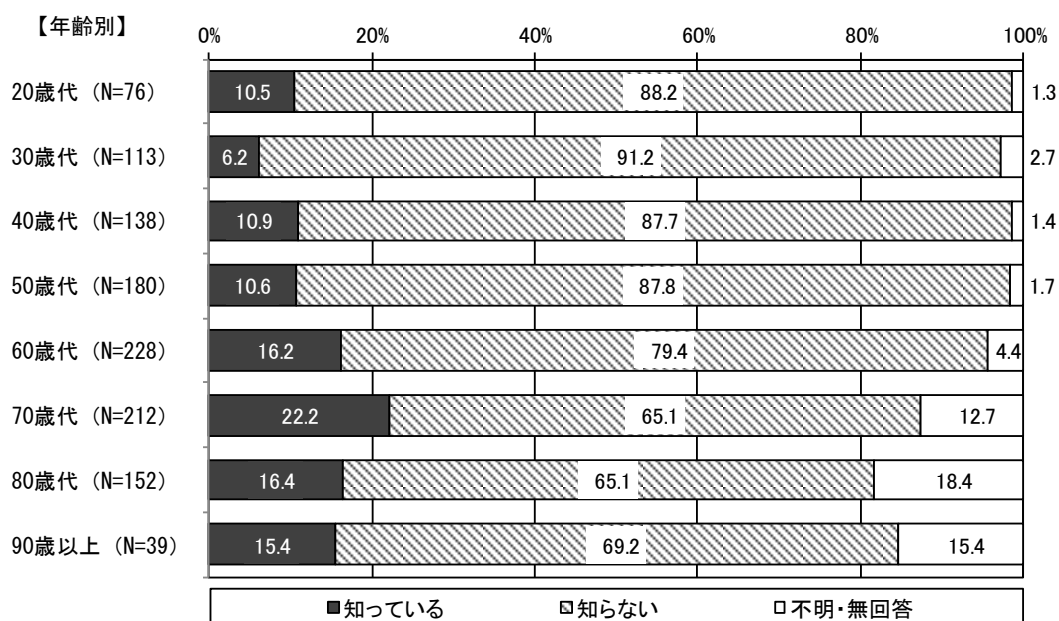
問 26 あなたは、「まいばら福祉のまちづくり計画」について知っていますか。(1つに○)

「まいばら福祉のまちづくり計画」の認知度についてみると、「知っている」が14.4%、「知らない」が78.6%となっています。



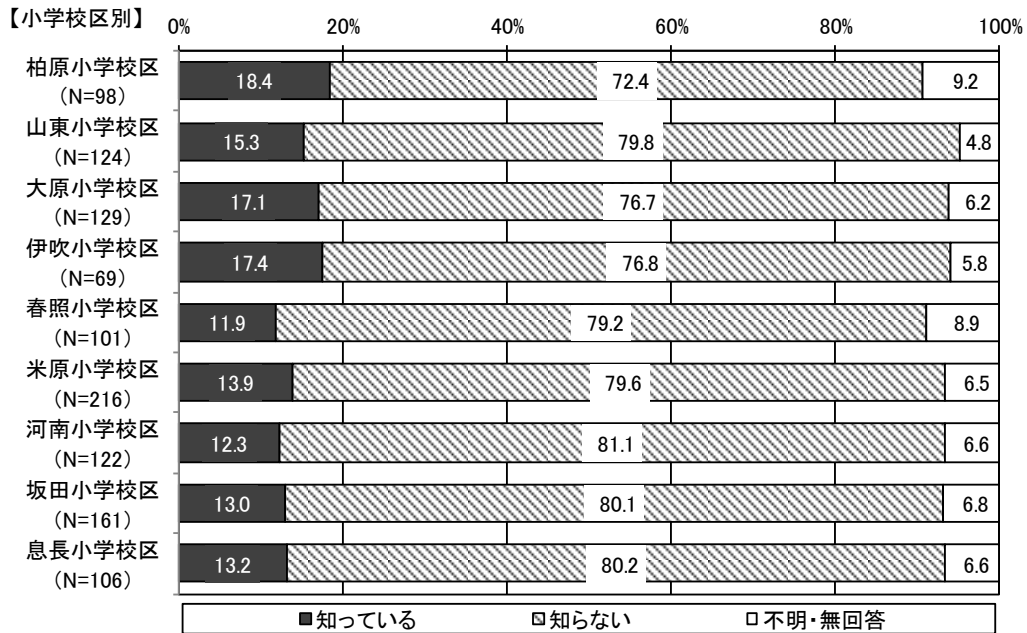
■ 「まいばら福祉のまちづくり計画」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、『70歳代』において最も高く、『30歳代』において最も低くなっています。



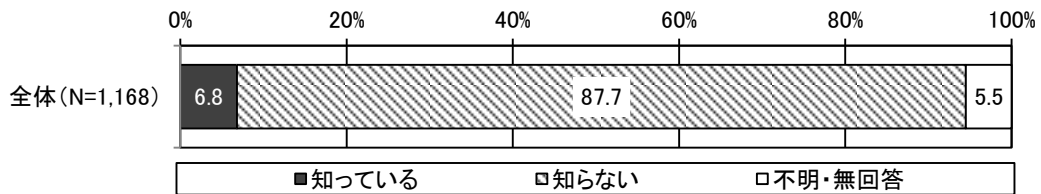
■「まいばら福祉のまちづくり計画」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、『柏原小学校区』が最も高く、『春照小学校区』が最も低くなっています。



問 27 あなたは、「福祉圏域」※について知っていますか。（1つに○）

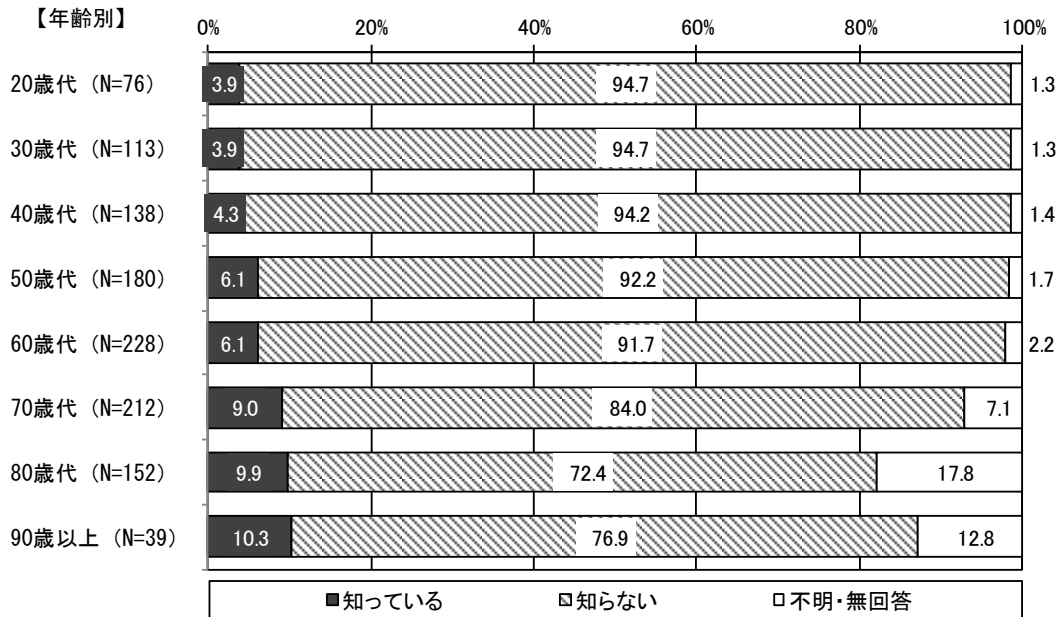
「福祉圏域」の認知度についてみると、「知っている」が6.8%、「知らない」が87.7%となっています。



※福祉圏域とは、市において福祉活動や事業が効果的に展開できる圏域（範囲）として、地域で支え合う『地域活動圏（自治会・旧町域エリア）』、医療・福祉が連携して専門的ケアを行う『地域ケア圏』、市全体の総ぐるみによる福祉推進圏『市内全域』を形成し、圏域ごとに、関係する機関や団体がスクラムを組むことで確実に推進していくものとして設定したものです。

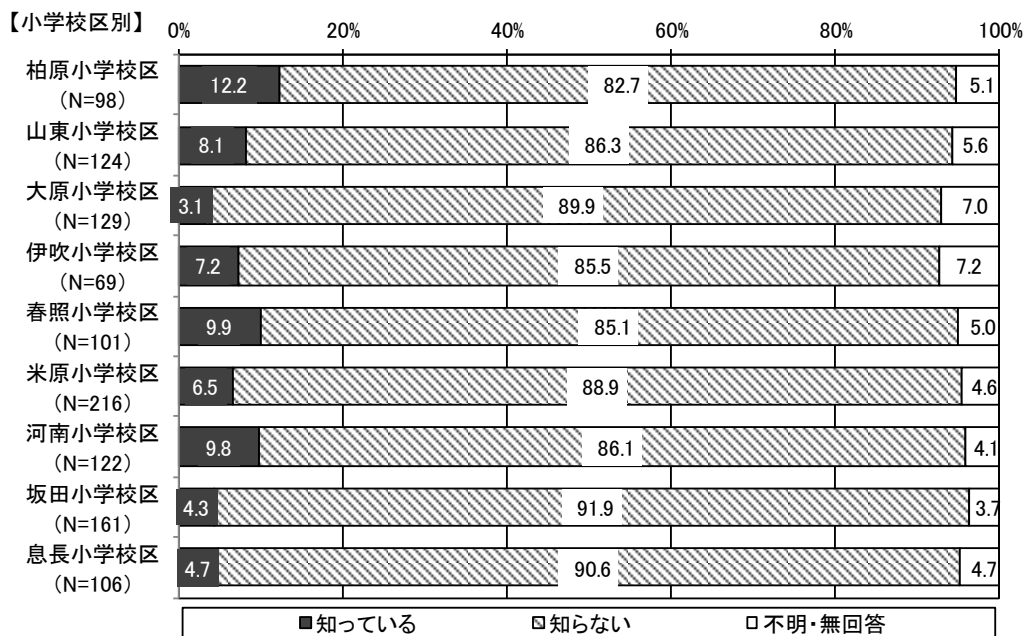
■「福祉圏域」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、『90歳以上』において最も高く、『20歳代』『30歳代』において低くなっています。



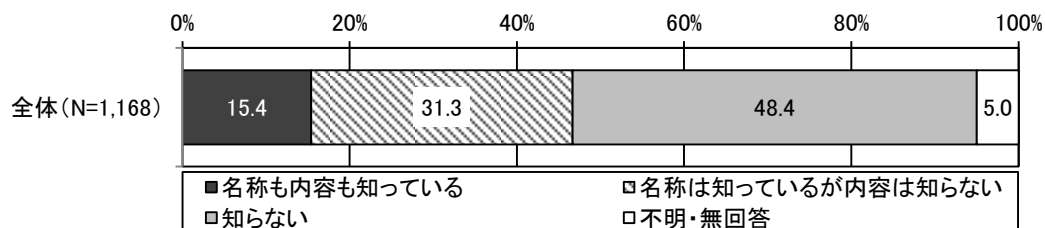
■「福祉圏域」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、『柏原小学校区』が最も高く、『大原小学校区』が最も低くなっています。



問 28 あなたは、「地域包括ケアシステム」*について、知っていますか。(1つに○)

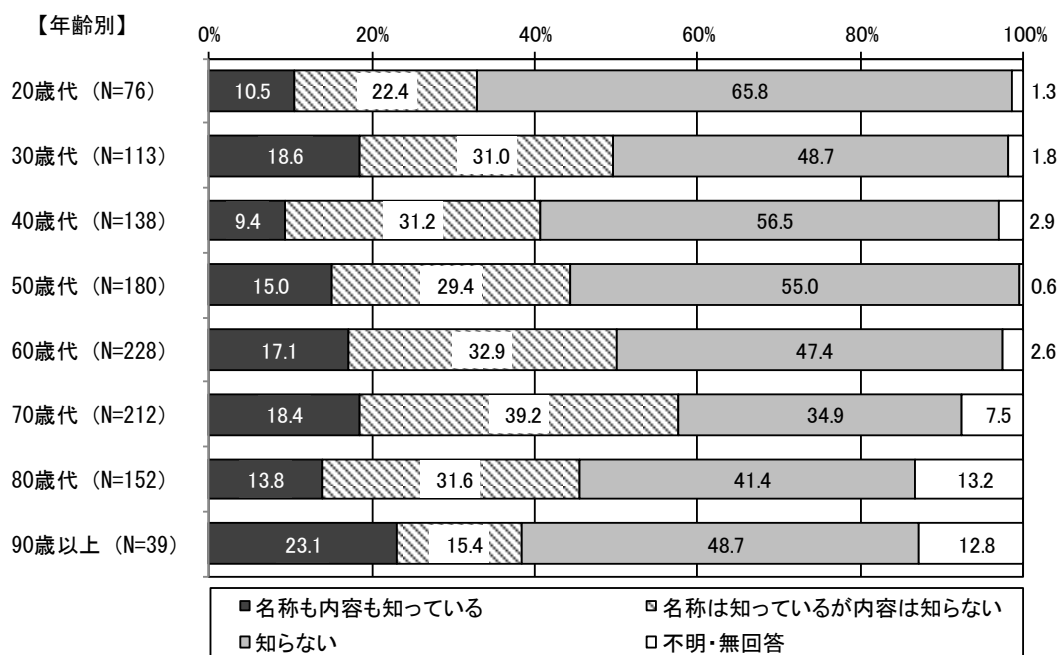
「地域包括ケアシステム」の認知度についてみると、「知らない」が 48.4%、「名称は知っているが内容は知らない」が 31.3%、「名称も内容も知っている」が 15.4%となっています。



※地域包括ケアシステムとは、「誰もが住み慣れた地域で、健康で安心して生活できるように、医療や介護、福祉サービスなどのさまざまな生活支援サービスを、日常生活の場で、一体的に受けることができる地域のしくみ」のことをいいます。

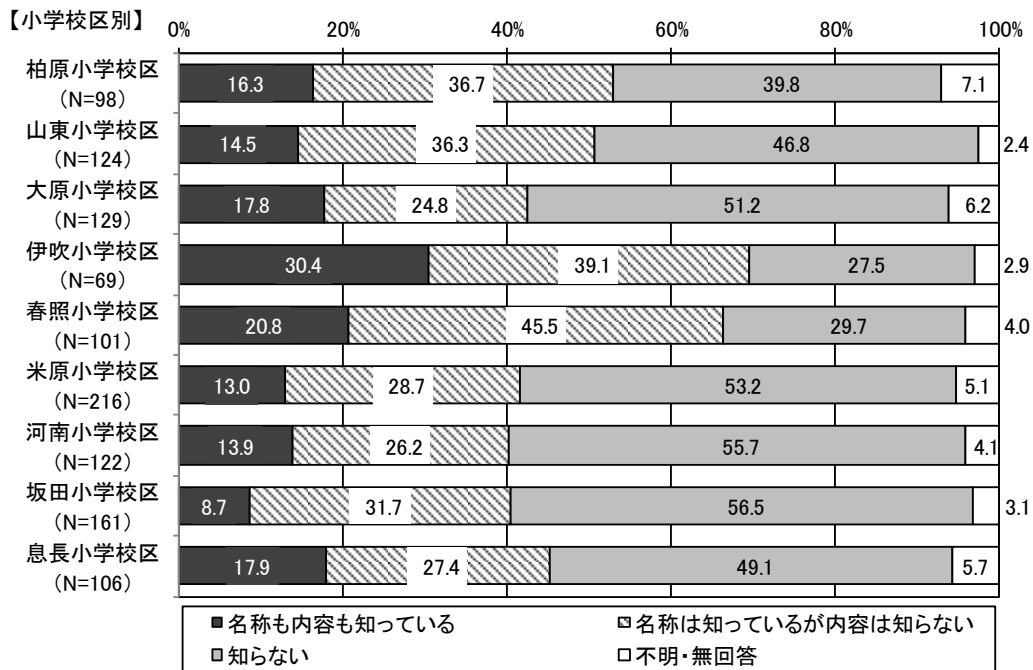
■「地域包括ケアシステム」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称は知っているが内容は知らない」を合わせると『70歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



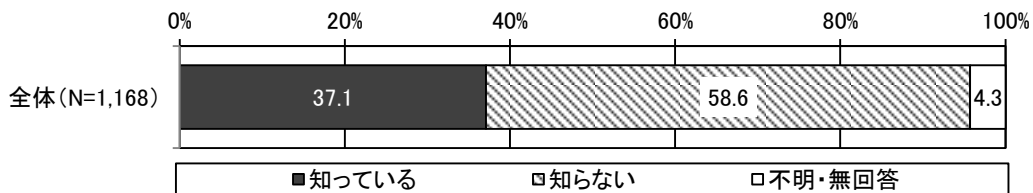
■「地域包括ケアシステム」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称は知っているが内容は知らない」を合わせると『伊吹小学校区』が最も高く、『河南小学校区』が最も低くなっています。



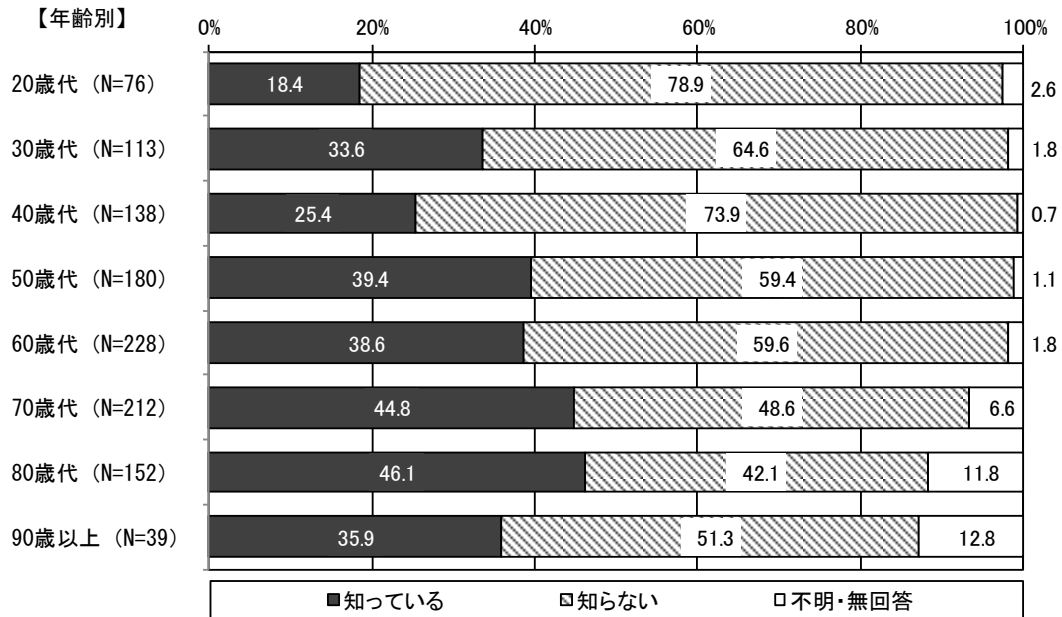
問 29 あなたは、地域包括支援センターにおいて、介護保険や認知症などの相談を受付けていることを知っていますか。（1つに○）

地域包括支援センターで介護保険や認知症などの相談を受付けていることの認知度についてみると、「知っている」が37.1%、「知らない」が58.6%となっています。



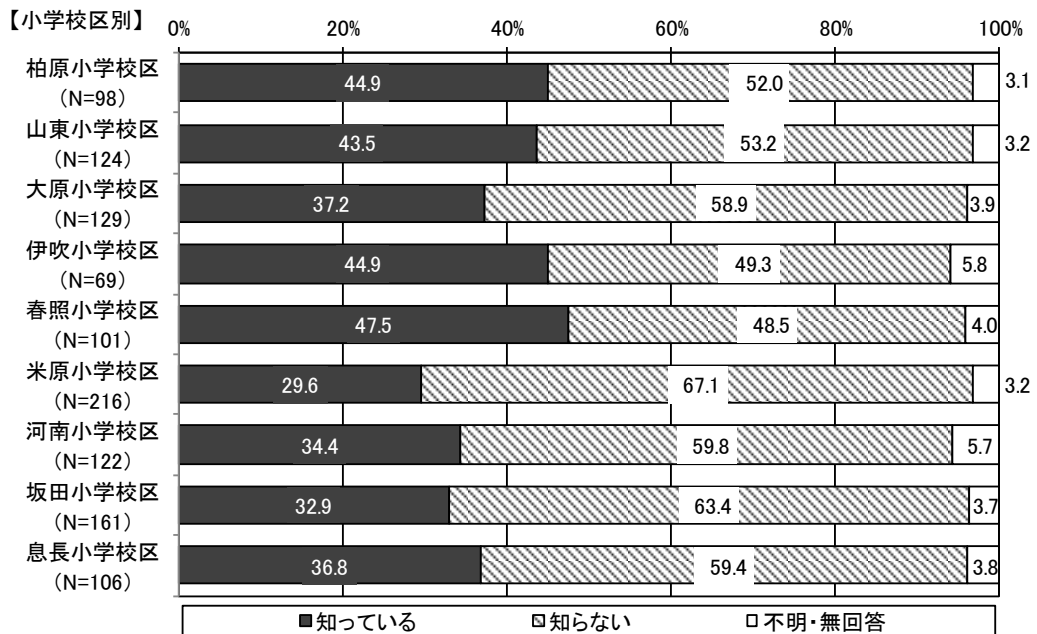
■地域包括支援センターにおいて、介護保険や認知症などの相談を受付けていることの認知度（年齢別）

年齢別にみると、『80歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



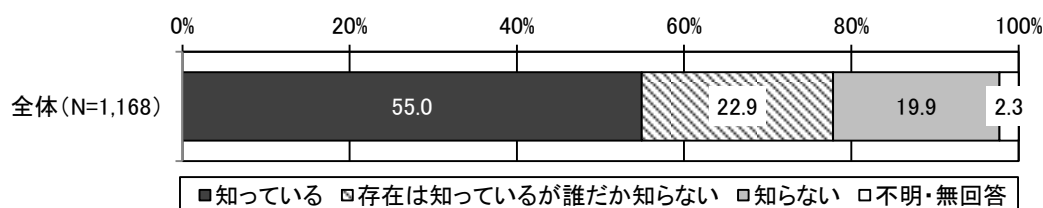
■地域包括支援センターにおいて、介護保険や認知症などの相談を受付けていることの認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、『春照小学校区』が最も高く、『米原小学校区』が最も低くなっています。



問 30 あなたは、住んでいる地域を担当している「民生委員・児童委員」*を知っていますか。
(1つに○)

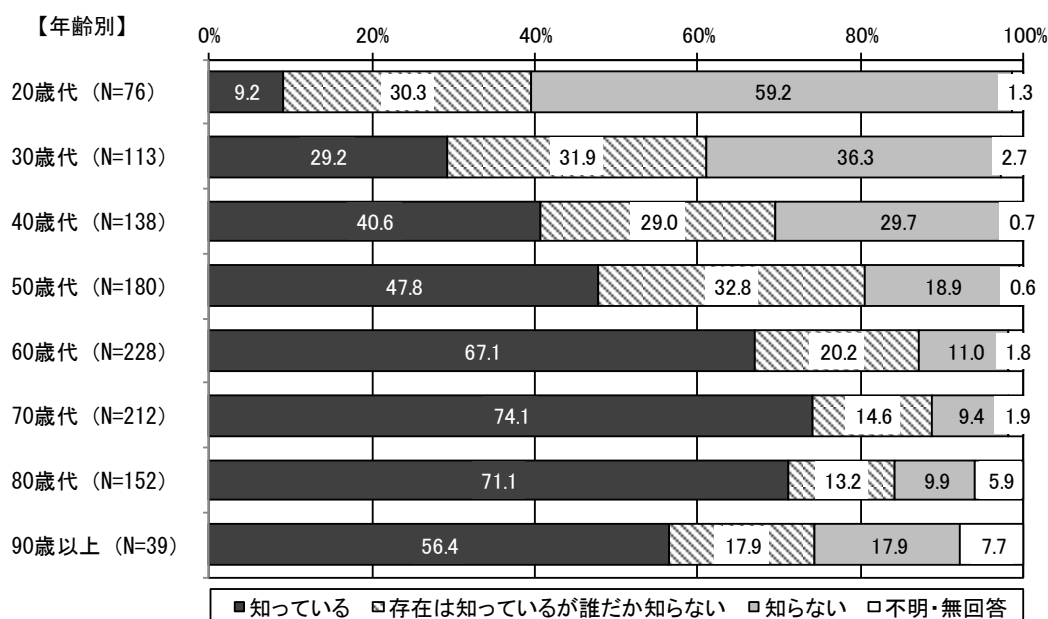
「民生委員・児童委員」の認知度についてみると、「知っている」が 55.0%、「存在は知っているが誰だか知らない」が 22.9%、「知らない」が 19.9%となっています。



※民生委員は、厚生労働大臣から委嘱され、それぞれの地域において、常に住民の立場に立って相談に応じ、必要な援助を行い、社会福祉の増進に努める方々であり、「児童委員」を兼ねています。

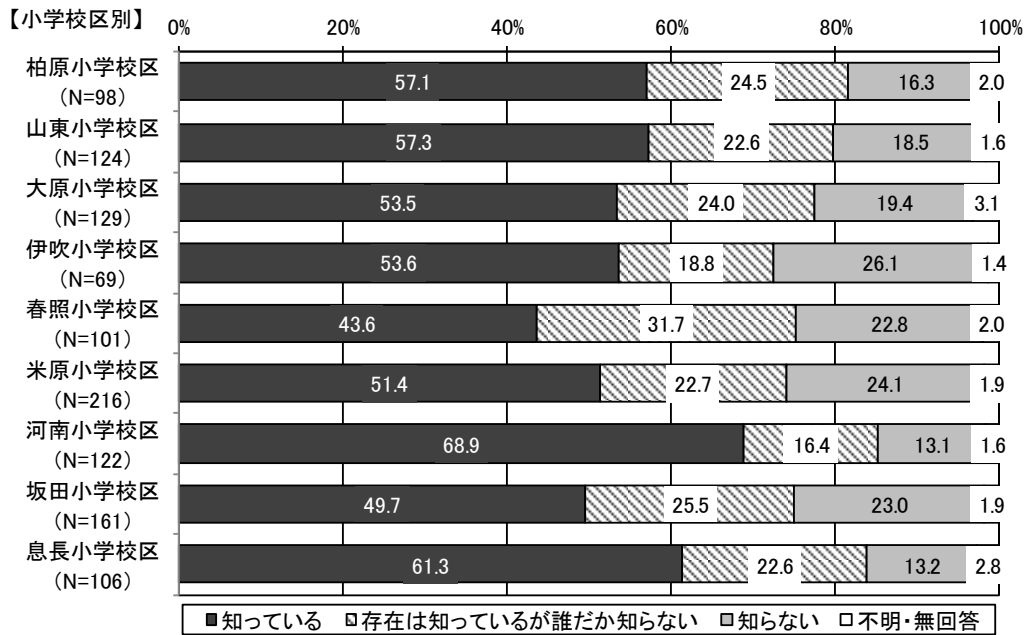
■「民生委員・児童委員」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「知っている」と「存在は知っているが誰だか知らない」を合わせると『70歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



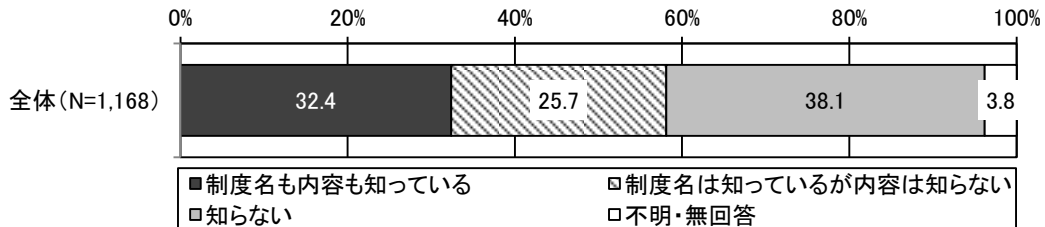
■「民生委員・児童委員」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「知っている」と「存在は知っているが誰だか知らない」を合わせると『河南小学校区』が最も高く、『伊吹小学校区』が最も低くなっています。



問 31 あなたは、「成年後見制度」*を知っていますか。（1つに○）

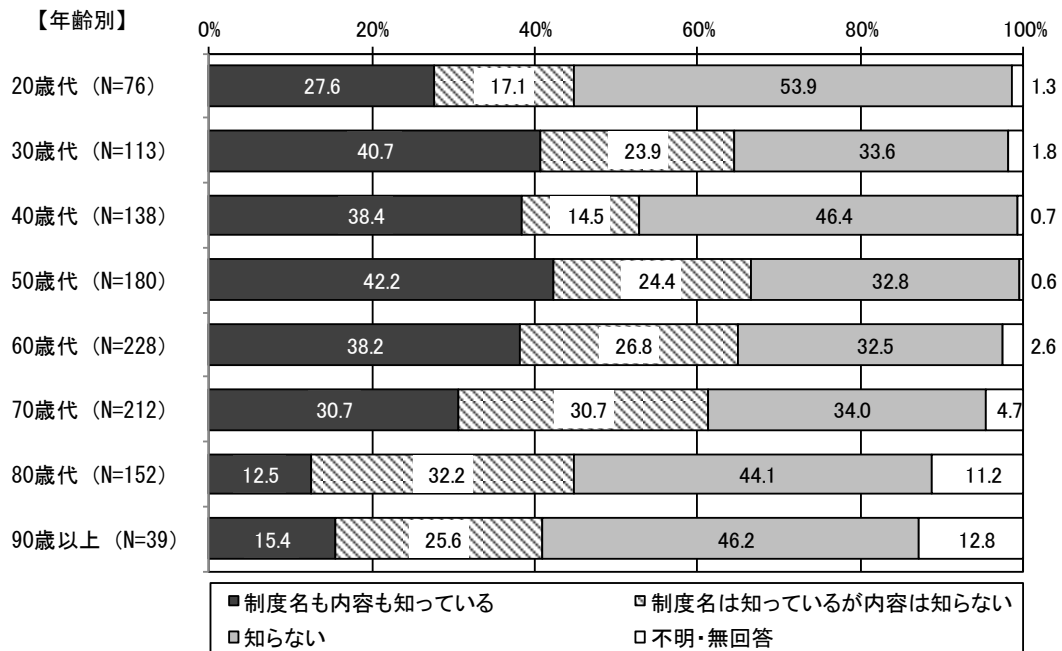
「成年後見制度」の認知度についてみると、「知らない」が 38.1%、「制度名も内容も知っている」が 32.4%、「制度名は知っているが内容は知らない」が 25.7%となっています。



*成年後見制度とは、障がいや認知症等で判断能力が十分でない場合、本人に代わって家庭裁判所が決める法定後見人が財産管理や介護サービス契約等を行うことができる制度です。

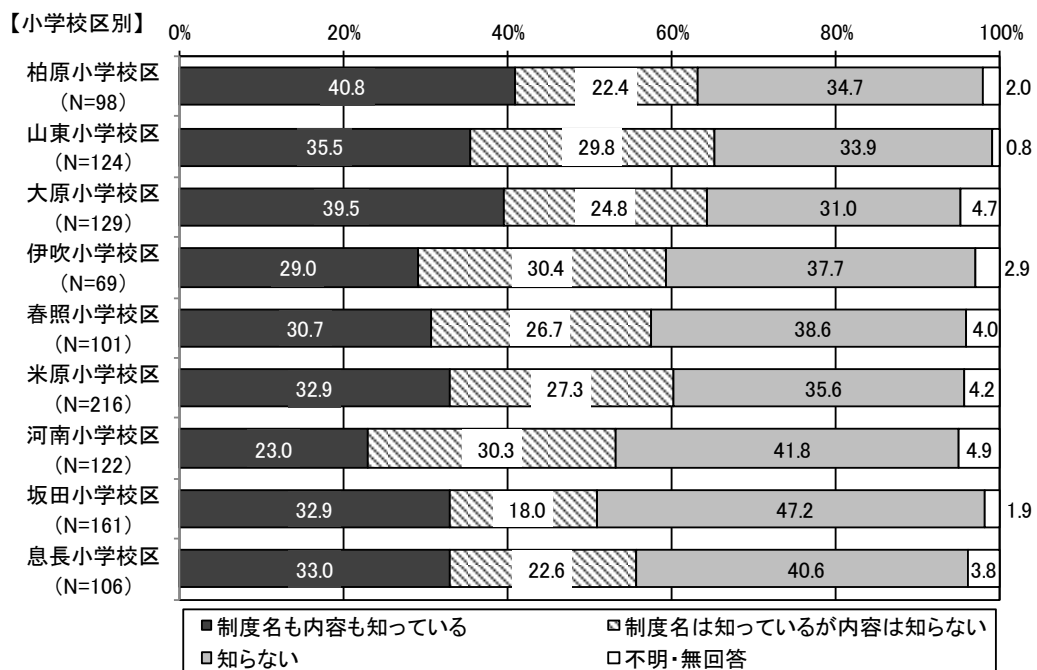
■ 「成年後見制度」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『50歳代』において最も高く、『90歳以上』において最も低くなっています。



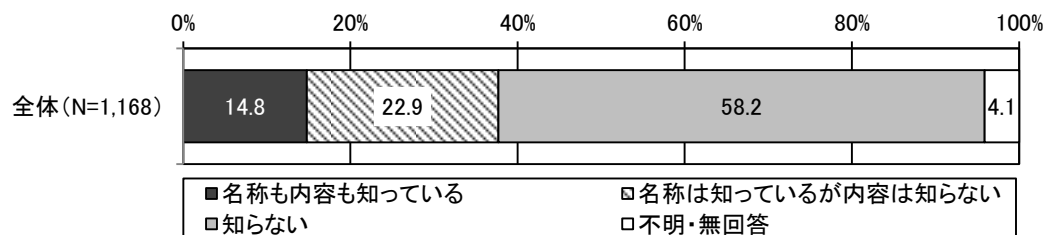
■ 「成年後見制度」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『山東小学校区』が最も高く、『坂田小学校区』が最も低くなっています。



問 32 あなたは、「障害者差別解消法」*について、知っていますか。(1つに○)

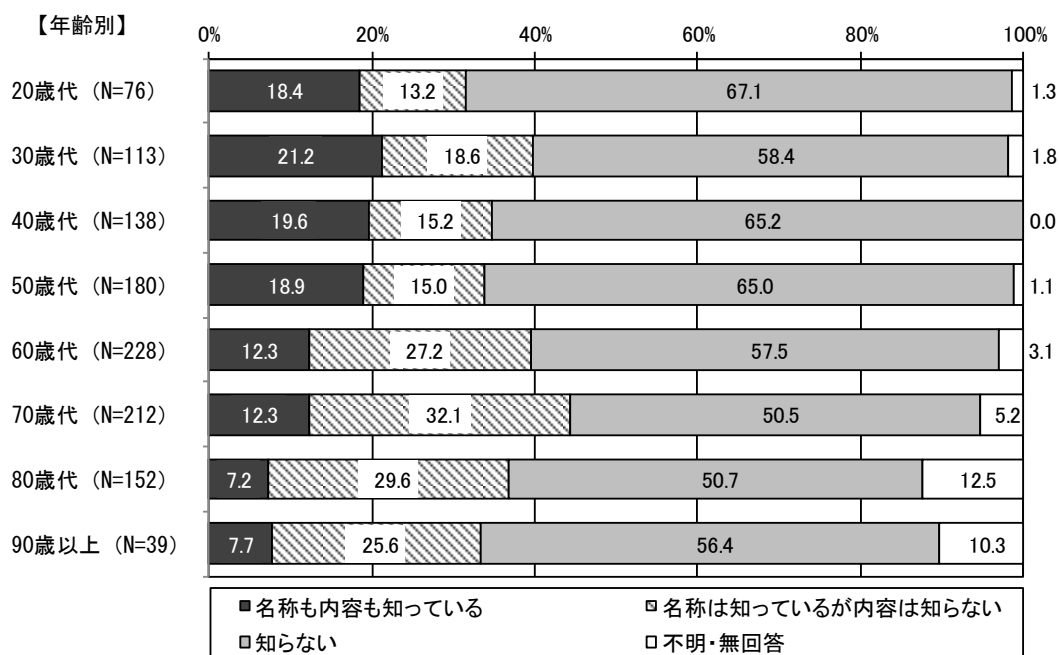
「障害者差別解消法」の認知度についてみると、「知らない」が58.2%、「名称は知っているが内容は知らない」が22.9%、「名称も内容も知っている」が14.8%となっています。



※障害者差別解消法とは、全ての国民が、障がいの有無によって分け隔てられることなく、相互に人格と個性を尊重し合いながら共生する社会の実現に向け、障がいを理由とする差別の解消を推進することを目的として、平成28年4月から施行されています。

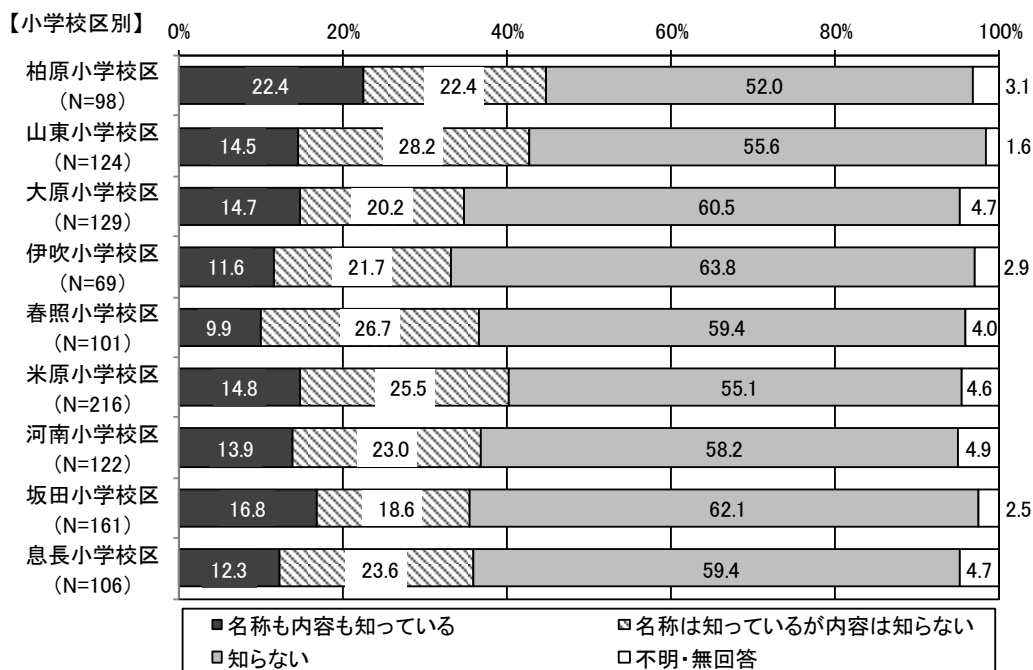
■「障害者差別解消法」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称は知っているが内容は知らない」を合わせると『70歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



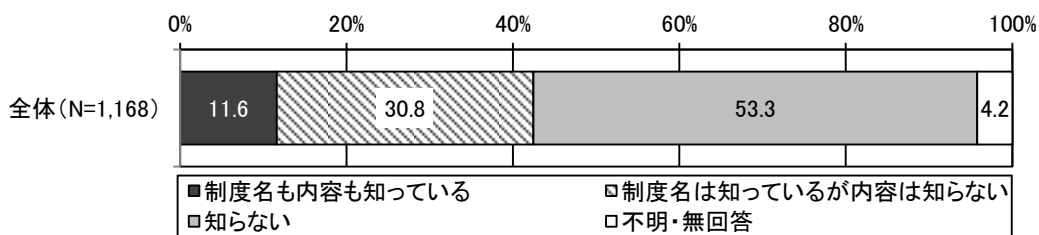
■ 「障害者差別解消法」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「名称も内容も知っている」と「名称は知っているが内容は知らない」を合わせると『柏原小学校区』が最も高く、『伊吹小学校区』が最も低くなっています。



問 33 あなたは、「生活困窮者自立支援制度」*について知っていますか。（1つに○）

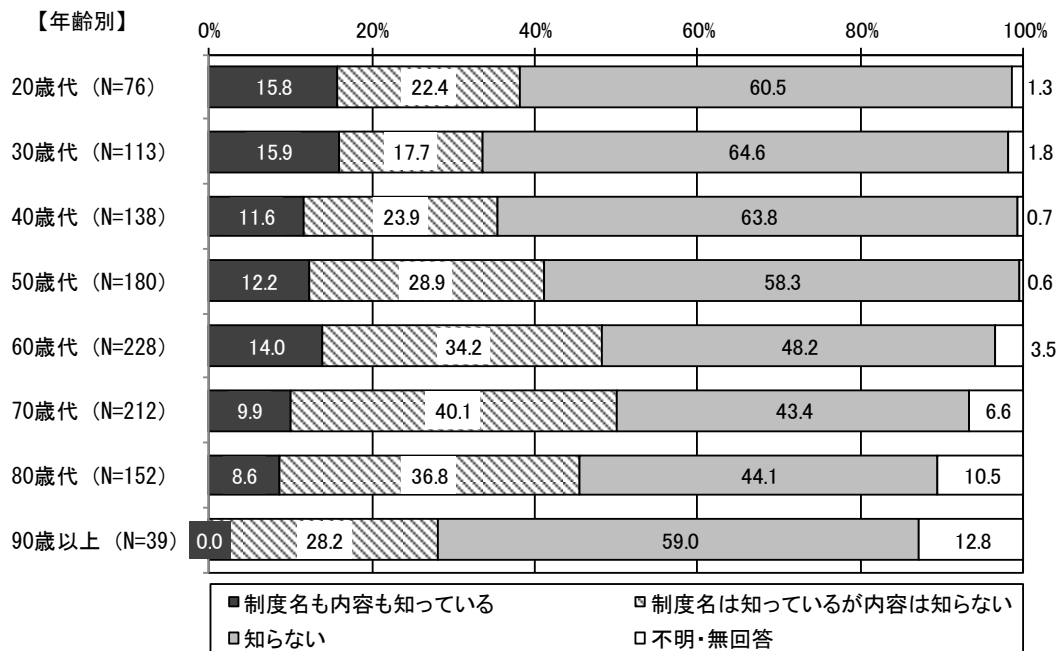
「生活困窮者自立支援制度」の認知度についてみると、「知らない」が53.3%、「制度名は知っているが内容は知らない」が30.8%、「制度名も内容も知っている」が11.6%となっています。



*生活困窮者自立支援法に基づき、福祉事務所設置自治体（県および市）が自立相談支援機関（相談窓口）を設置し、生活困窮者への相談支援の実施や住居確保給付金の支給、その他の生活困窮者に対する自立の支援に関する措置を講ずることにより、自立に向けた支援を行います。「生活困窮者」とは、多重債務者、ホームレス、ニート、ひきこもり、障がい疑われる人など、さまざまな課題により経済的に困窮している人をいいます。生活保護に至る前の段階から、早期の支援が必要とされています。

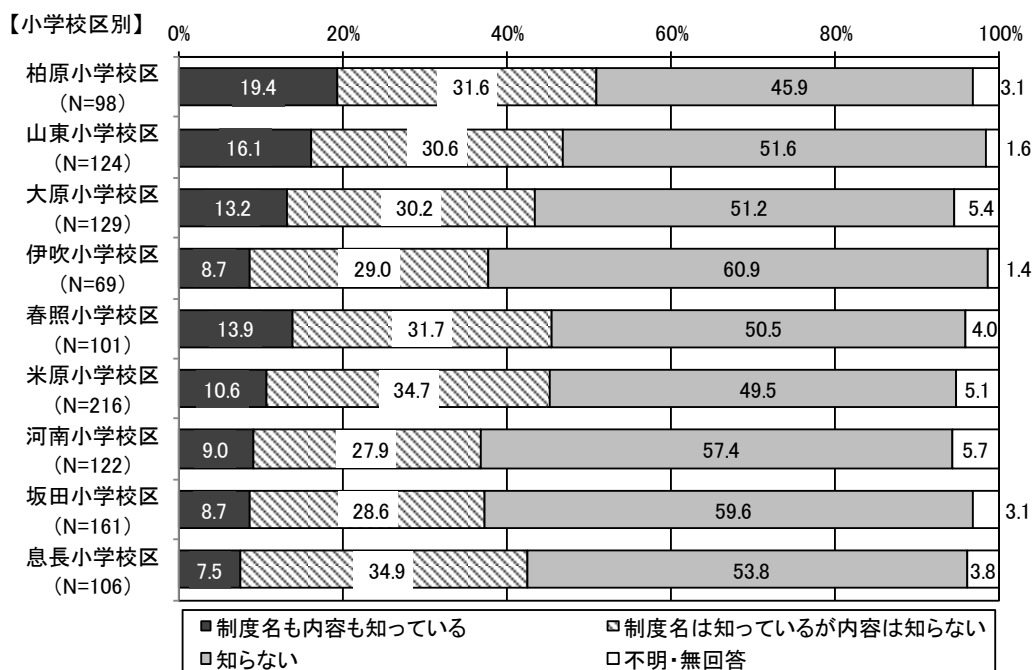
■ 「生活困窮者自立支援制度」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『70歳代』において最も高く、『90歳以上』において最も低くなっています。



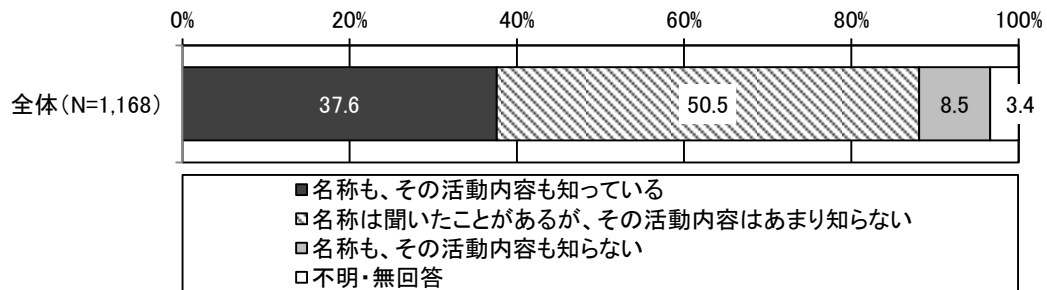
■ 「生活困窮者自立支援制度」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「制度名も内容も知っている」と「制度名は知っているが内容は知らない」を合わせると『柏原小学校区』が最も高く、『河南小学校区』が最も低くなっています。



問 34 あなたは、「米原市社会福祉協議会」*を知っていますか。(1つに○)

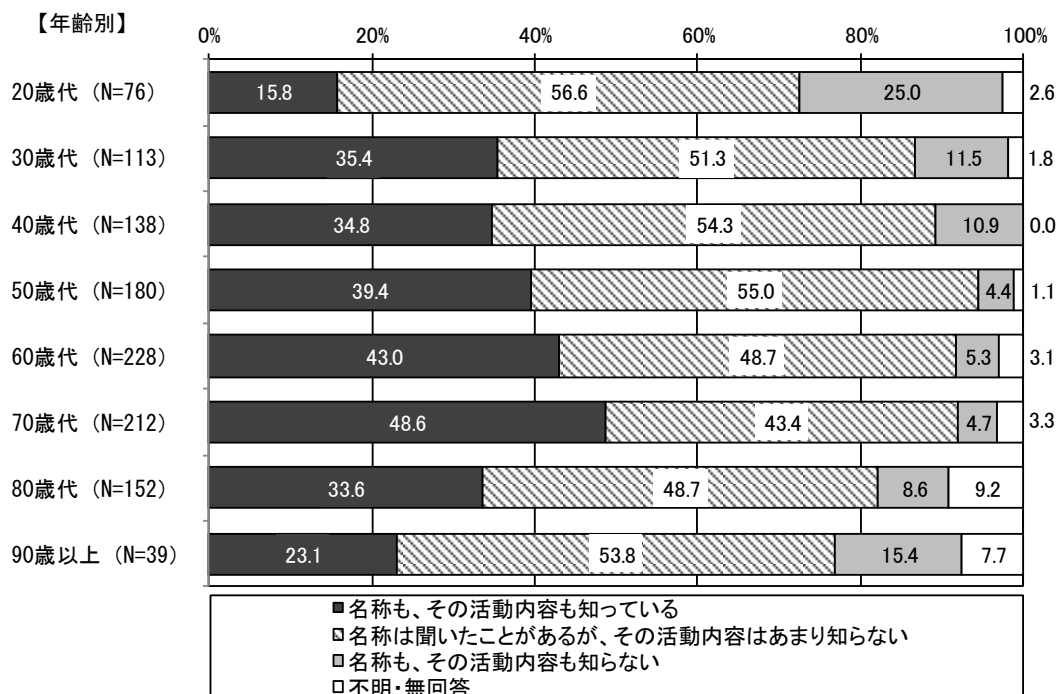
「米原市社会福祉協議会」の認知度についてみると、「名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」が 50.5%、「名称も、その活動内容も知っている」が 37.6%、「名称も、その活動内容も知らない」が 8.5%となっています。



※社会福祉協議会とは、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らせるように、市民主体、市民参加による福祉活動を行っています。高齢者や障がい者などを支援するボランティアの活動支援や福祉サービス、独自の福祉事業の提供を通じて、生活が豊かになるための取り組みを行っている団体です。

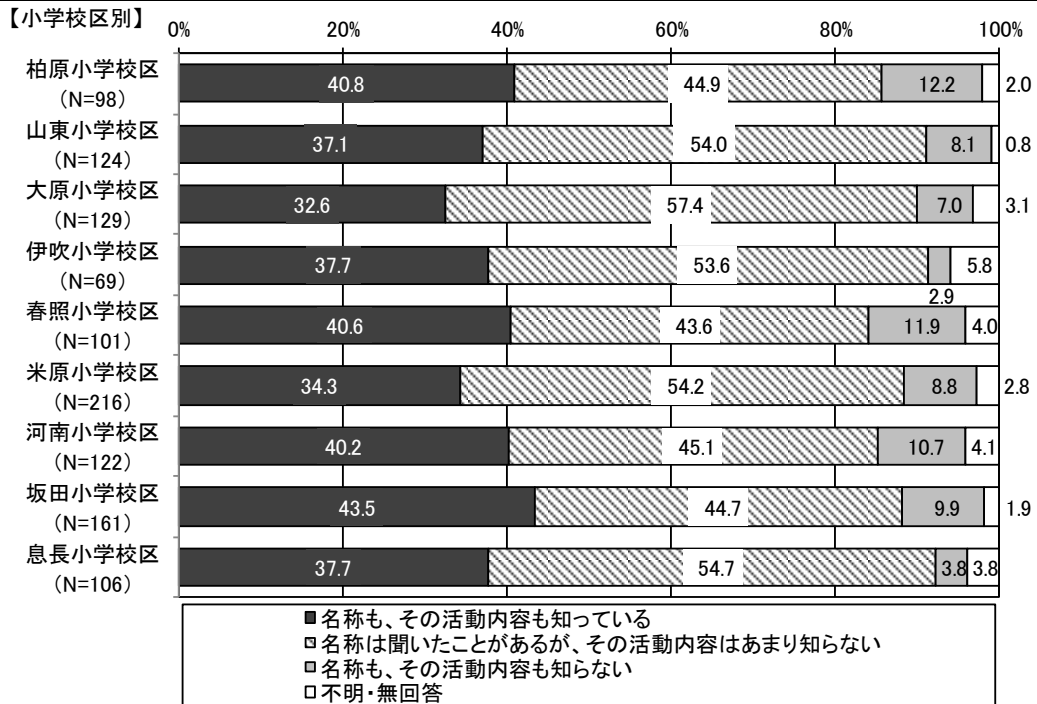
■「米原市社会福祉協議会」の認知度（年齢別）

年齢別にみると、「名称も、その活動内容も知っている」と「名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」を合わせると『50歳代』において最も高く、『20歳代』において最も低くなっています。



■「米原市社会福祉協議会」の認知度（小学校区別）

小学校区別にみると、「名称も、その活動内容も知っている」と「名称は聞いたことがあるが、その活動内容はあまり知らない」を合わせると『息長小学校区』が最も高く、『春照小学校区』が最も低くなっています。



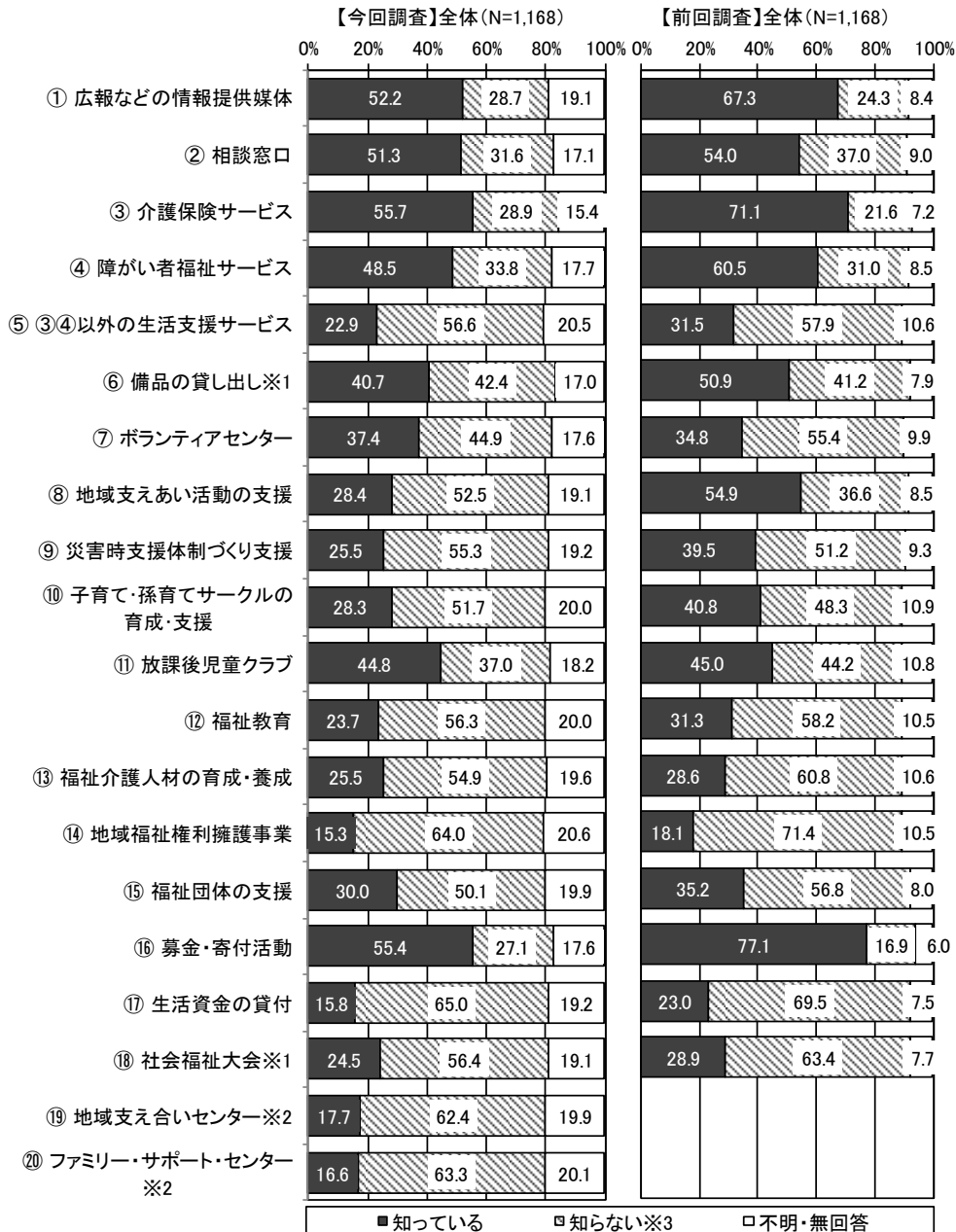
問 35 米原市社会福祉協議会が行っている事業について、あなたの①取組への認識と、②今後の充実への期待についてうかがいます。(1)～(21)について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

【①取組への認識】

取組への認識についてみると、「知っている」では『③介護保険サービス』が55.7%、『⑩募金・寄付活動』が55.4%、『①広報などの情報提供媒体』が52.2%と続いています。

前回調査と比較すると、『⑦ボランティアセンター』以外は「知っている」が少なくなっています。

■前回調査との経年比較



※1 前回調査では「⑥福祉機器等の貸出」「⑩福祉イベント」

※2 前回調査では項目なし

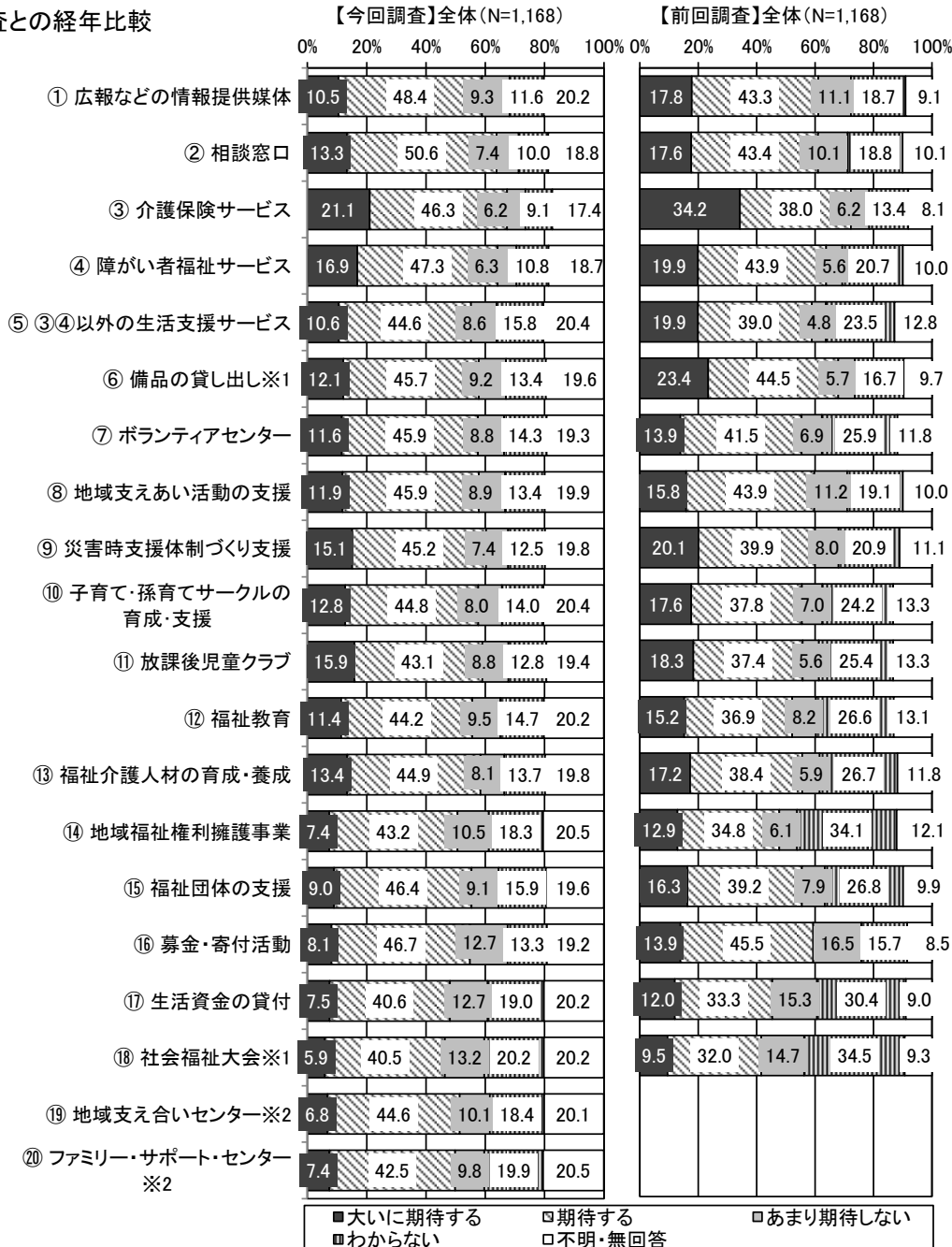
※3 前回調査では「知らなかった」

【②今後の充実への期待】

今後の充実への期待についてみると、【期待】（「大いに期待する」「期待する」の合計）では『③介護保険サービス』が67.4%、『④障がい者福祉サービス』が64.2%、『②相談窓口』が63.9%と続いています。

前回調査と比較しても、あまり大きな差はみられません。

■ 前回調査との経年比較



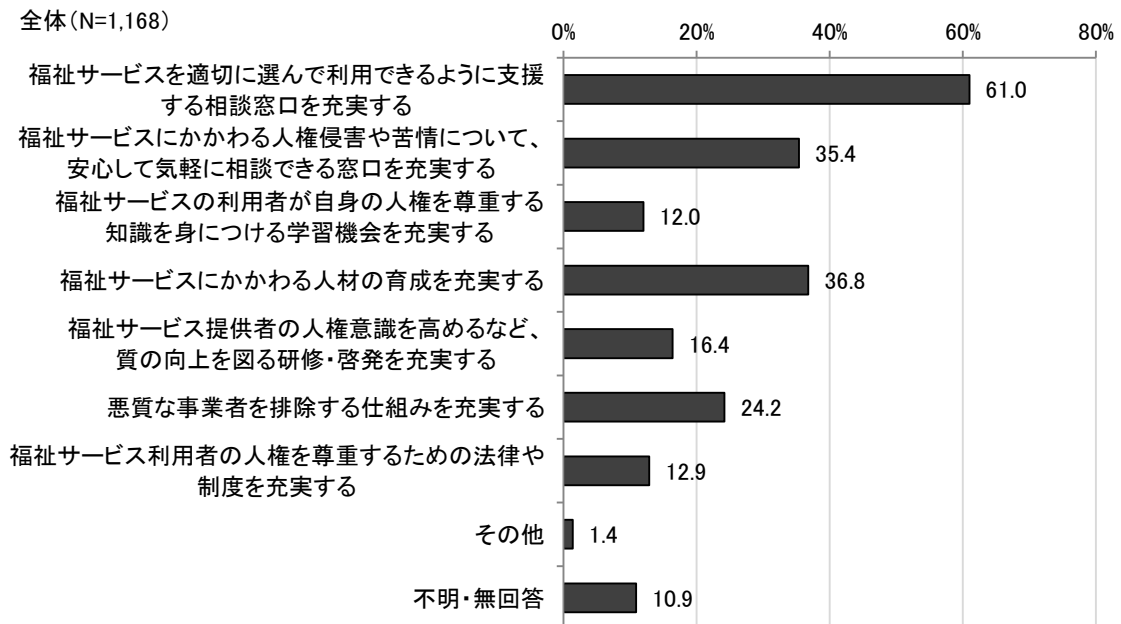
※1 前回調査では「⑥福祉機器等の貸出」「⑩福祉イベント」

※2 前回調査では項目なし

7. 米原市の地域福祉施策について

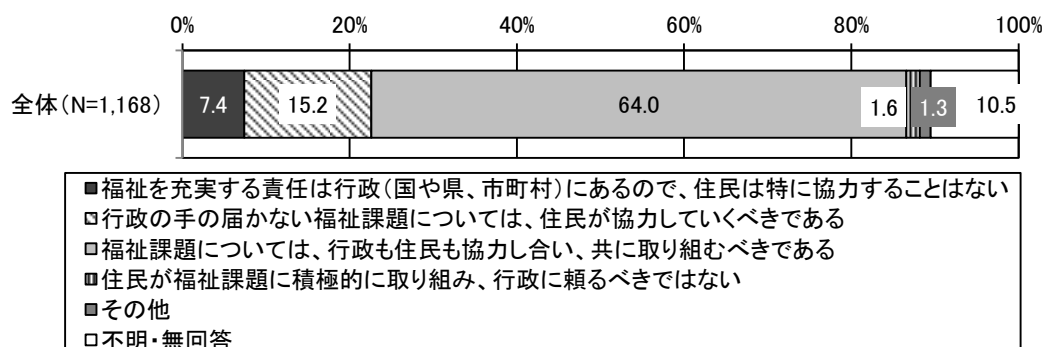
問 36 あなたは、子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるようにするため、どのようなことを充実すべきだと思いますか。（3つまで○）

子育てや高齢者、障がい者に関するサービスを安心して利用できるようにするために充実すべきことについてみると、「福祉サービスを適切に選んで利用できるように支援する相談窓口を充実する」が 61.0%、「福祉サービスにかかわる人材の育成を充実する」が 36.8%、「福祉サービスにかかわる人権侵害や苦情について、安心して気軽に相談できる窓口を充実する」が 35.4%と続いています。



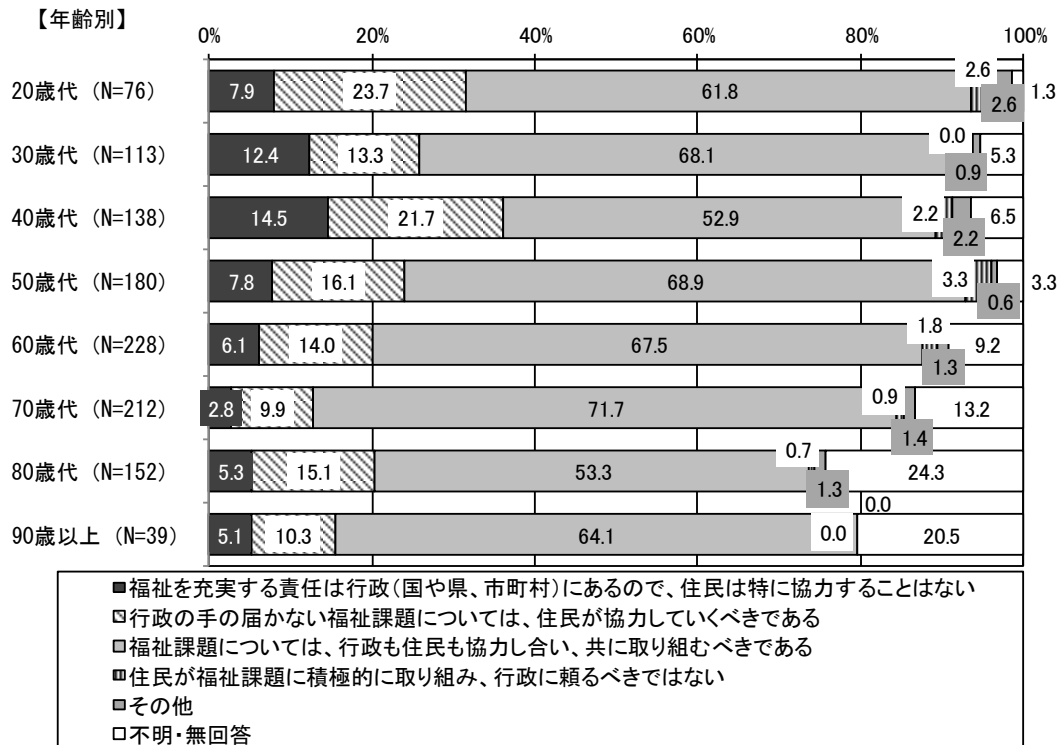
問 37 あなたは、福祉を充実させていくうえで、行政と地域住民の関係についてどのように考えますか。（もっとも近い考え方1つに○）

福祉を充実させるうえで考える、行政と地域住民の関係についてみると、「福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである」が 64.0%、「行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである」が 15.2%、「福祉を充実する責任は行政（国や県、市町村）にあるので、住民は特に協力することはない」が 7.4%と続いています。



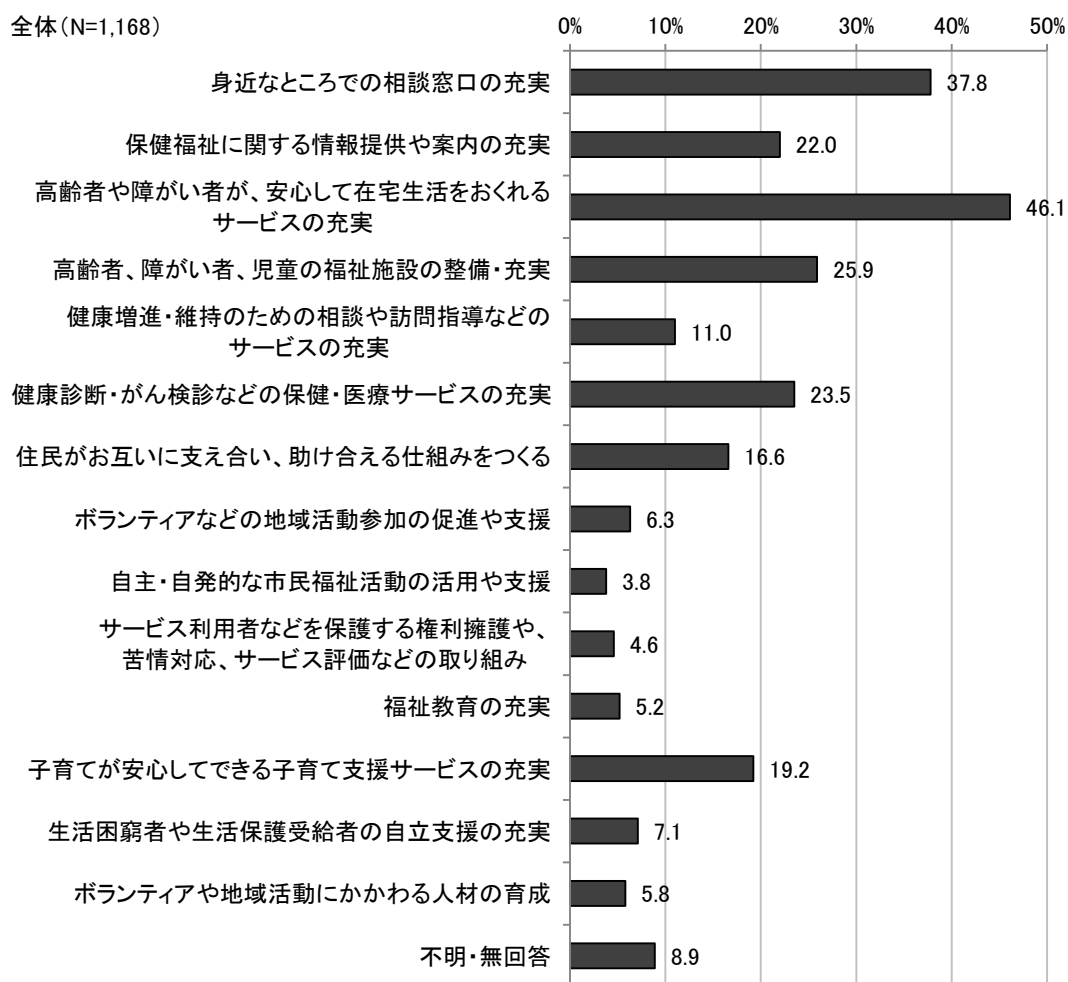
■行政と地域住民の関係についての考え（年齢別）

年齢別にみると、「福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである」では『70歳代』において最も高く、『40歳代』において最も低くなっています。



問 38 今後、米原市が健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策として、どれを優先して充実すべきだと思いますか。(3つまで○)

健康や福祉を充実していくうえで優先して取り組むべき施策についてみると、「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が46.1%、「身近なところでの相談窓口の充実」が37.8%、「高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実」が25.9%と続いています。



■健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策（年齢別）

年齢別にみると、『20歳代』『30歳代』では「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」、40歳代以上では「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		身近なところで の相談窓口の 充実	保健福祉に関 する情報提供 や案内の充実	高齢者や障が い者が、安心し て在宅生活をお くれるサービスの 充実	高齢者、障がい 者、児童の福祉 施設の整備・充 実	健康増進・維持 のための相談 や訪問指導な どのサービスの 充実	健康診断・がん 検診などの保 健・医療サービ スの充実	住民がお互い に支え合い、助 け合える仕組み をつくる	ボランティアな どの地域活動 参加の促進や 支援
全体	N=1,168	441 37.8	257 22.0	538 46.1	302 25.9	128 11.0	275 23.5	194 16.6	74 6.3
20歳代	N=76	28 36.8	12 15.8	27 35.5	23 30.3	1 1.3	30 39.5	10 13.2	4 5.3
30歳代	N=113	32 28.3	30 26.5	28 24.8	43 38.1	11 9.7	38 33.6	15 13.3	4 3.5
40歳代	N=138	50 36.2	45 32.6	53 38.4	34 24.6	10 7.2	29 21.0	17 12.3	6 4.3
50歳代	N=180	80 44.4	40 22.2	93 51.7	56 31.1	20 11.1	43 23.9	27 15.0	12 6.7
60歳代	N=228	72 31.6	55 24.1	103 45.2	57 25.0	25 11.0	65 28.5	46 20.2	21 9.2
70歳代	N=212	95 44.8	39 18.4	122 57.5	49 23.1	29 13.7	43 20.3	43 20.3	13 6.1
80歳代	N=152	59 38.8	26 17.1	77 50.7	25 16.4	19 12.5	21 13.8	28 18.4	10 6.6
90歳以上	N=39	11 28.2	6 15.4	22 56.4	6 15.4	9 23.1	2 5.1	6 15.4	2 5.1
不明・無回答	N=30	14 46.7	4 13.3	13 43.3	9 30.0	4 13.3	4 13.3	2 6.7	2 6.7

上段:件数 下段:%		自主・自発的な 市民福祉活動 の活用や支援	サービス利用 者などを保護す る権利擁護や、 苦情対応、サー ビス評価などの 取り組み	福祉教育の充 実	子育てが安心し てできる子育て 支援サービスの 充実	生活困窮者や 生活保護受給 者の自立支援 の充実	ボランティアや 地域活動にか かわる人材の 育成	その他	不明・無回答
全体	N=1,168	44 3.8	54 4.6	61 5.2	224 19.2	83 7.1	68 5.8	14 1.2	104 8.9
20歳代	N=76	4 5.3	5 6.6	6 7.9	32 42.1	8 10.5	-	1 1.3	2 2.6
30歳代	N=113	5 4.4	4 3.5	6 5.3	55 48.7	3 2.7	3 2.7	2 1.8	6 5.3
40歳代	N=138	3 2.2	5 3.6	14 10.1	46 33.3	14 10.1	6 4.3	2 1.4	9 6.5
50歳代	N=180	9 5.0	8 4.4	7 3.9	29 16.1	11 6.1	16 8.9	2 1.1	5 2.8
60歳代	N=228	11 4.8	10 4.4	14 6.1	34 14.9	17 7.5	17 7.5	1 0.4	16 7.0
70歳代	N=212	5 2.4	13 6.1	8 3.8	16 7.5	14 6.6	10 4.7	5 2.4	20 9.4
80歳代	N=152	6 3.9	7 4.6	4 2.6	7 4.6	9 5.9	11 7.2	1 0.7	32 21.1
90歳以上	N=39	-	2 5.1	2 5.1	2 5.1	1 2.6	2 5.1	-	8 20.5
不明・無回答	N=30	1 3.3	-	-	3 10.0	6 20.0	3 10.0	-	6 20.0

■健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策（小学校区別）

小学校区別にみると、『米原小学校区』では「身近なところでの相談窓口の充実」、それ以外では「高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実」が最も高くなっています。

上段:件数 下段:%		身近なところでの 相談窓口の 充実	保健福祉に関 する情報提供 や案内の充実	高齢者や障が い者が、安心し て在宅生活をお くれるサービスの 充実	高齢者、障がい 者、児童の福祉 施設の整備・充 実	健康増進・維持 のための相談 や訪問指導な どのサービスの 充実	健康診断・がん 検診などの保 健・医療サービ スの充実	住民がお互い に支え合い、助 け合える仕組み をつくる	ボランティアな どの地域活動 参加の促進や 支援
全体	N=1,168	441 37.8	257 22.0	538 46.1	302 25.9	128 11.0	275 23.5	194 16.6	74 6.3
柏原小学校区	N=98	42 42.9	17 17.3	47 48.0	17 17.3	12 12.2	20 20.4	23 23.5	7 7.1
山東小学校区	N=124	38 30.6	33 26.6	66 53.2	29 23.4	16 12.9	29 23.4	22 17.7	14 11.3
大原小学校区	N=129	48 37.2	27 20.9	58 45.0	36 27.9	8 6.2	34 26.4	22 17.1	7 5.4
伊吹小学校区	N=69	23 33.3	15 21.7	35 50.7	20 29.0	10 14.5	19 27.5	10 14.5	1 1.4
春照小学校区	N=101	39 38.6	21 20.8	49 48.5	27 26.7	10 9.9	30 29.7	16 15.8	6 5.9
米原小学校区	N=216	97 44.9	51 23.6	87 40.3	57 26.4	30 13.9	42 19.4	40 18.5	9 4.2
河南小学校区	N=122	44 36.1	20 16.4	58 47.5	31 25.4	13 10.7	31 25.4	22 18.0	4 3.3
坂田小学校区	N=161	63 39.1	47 29.2	74 46.0	45 28.0	18 11.2	39 24.2	24 14.9	18 11.2
息長小学校区	N=106	31 29.2	20 18.9	47 44.3	28 26.4	8 7.5	24 22.6	12 11.3	7 6.6
不明・無回答	N=42	16 38.1	6 14.3	17 40.5	12 28.6	3 7.1	7 16.7	3 7.1	1 2.4

上段:件数 下段:%		自主・自発的な 市民福祉活動 の活用や支援	サービス利用 者などを保護す る権利擁護や、 苦情対応、サー ビス評価などの 取り組み	福祉教育の充 実	子育てが安心し てできる子育て 支援サービスの 充実	生活困窮者や 生活保護受給 者の自立支援 の充実	ボランティアや 地域活動にか かわる人材の 育成	その他	不明・無回答
全体	N=1,168	44 3.8	54 4.6	61 5.2	224 19.2	83 7.1	68 5.8	14 1.2	104 8.9
柏原小学校区	N=98	4 4.1	6 6.1	5 5.1	15 15.3	6 6.1	2 2.0	2 2.0	12 12.2
山東小学校区	N=124	9 7.3	6 4.8	10 8.1	14 11.3	14 11.3	7 5.6	2 1.6	5 4.0
大原小学校区	N=129	2 1.6	6 4.7	10 7.8	34 26.4	8 6.2	3 2.3	2 1.6	11 8.5
伊吹小学校区	N=69	2 2.9	4 5.8	3 4.3	13 18.8	2 2.9	2 2.9	-	8 11.6
春照小学校区	N=101	2 2.0	6 5.9	2 2.0	25 24.8	5 5.0	9 8.9	1 1.0	7 6.9
米原小学校区	N=216	9 4.2	12 5.6	10 4.6	41 19.0	17 7.9	13 6.0	2 0.9	21 9.7
河南小学校区	N=122	6 4.9	3 2.5	6 4.9	21 17.2	8 6.6	7 5.7	2 1.6	10 8.2
坂田小学校区	N=161	4 2.5	6 3.7	11 6.8	38 23.6	7 4.3	13 8.1	2 1.2	9 5.6
息長小学校区	N=106	5 4.7	4 3.8	3 2.8	20 18.9	9 8.5	9 8.5	1 0.9	9 8.5
不明・無回答	N=42	1 2.4	1 2.4	1 2.4	3 7.1	7 16.7	3 7.1	-	12 28.6

※上位3項目(河南小学校区のみ4項目)に網掛けしています

■健康や福祉を充実していくうえで取り組むべき施策（行政と地域住民の関係別）

行政と地域住民の関係別にみると、『福祉を充実する責任は行政にあるので、住民は特に協力することはない』では「身近なところでの相談窓口の充実」、『住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない』では「保健福祉に関する情報提供や案内の充実」、それ以外では「高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が高くなっています。

上段:件数 下段:%		身近なところでの相談窓口の充実	保健福祉に関する情報提供や案内の充実	高齢者や障がい者が、安心して在宅生活をおくれるサービスの充実	高齢者、障がい者、児童の福祉施設の整備・充実	健康増進・維持のための相談や訪問指導などのサービスの充実	健康診断・がん検診などの保健・医療サービスの充実	住民がお互いに支え合い、助け合える仕組みをつくる	ボランティアなどの地域活動参加の促進や支援	
行政と地域住民の関係別	全体	N=1,168	441 37.8	257 22.0	538 46.1	302 25.9	128 11.0	275 23.5	194 16.6	74 6.3
	福祉を充実する責任は行政(国や県、市町村)にあるので、住民は特に協力することはない	N=86	43 50.0	20 23.3	40 46.5	30 34.9	2 2.3	26 30.2	5 5.8	3 3.5
	行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである	N=178	81 45.5	43 24.2	97 54.5	40 22.5	22 12.4	44 24.7	33 18.5	16 9.0
	福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである	N=747	297 39.8	178 23.8	375 50.2	215 28.8	94 12.6	198 26.5	149 19.9	53 7.1
	住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない	N=19	6 31.6	10 52.6	6 31.6	6 31.6	2 10.5	4 21.1	4 21.1	-
	その他	N=15	2 13.3	2 13.3	4 26.7	3 20.0	1 6.7	2 13.3	1 6.7	-
	不明・無回答	N=123	12 9.8	4 3.3	16 13.0	8 6.5	7 5.7	1 0.8	2 1.6	2 1.6
上段:件数 下段:%		自主・自発的な市民福祉活動の活用や支援	サービス利用者などを保護する権利擁護や、苦情対応、サービス評価などの取り組み	福祉教育の充実	子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実	生活困窮者や生活保護受給者の自立支援の充実	ボランティアや地域活動にかかわる人材の育成	その他	不明・無回答	
行政と地域住民の関係別	全体	N=1,168	44 3.8	54 4.6	61 5.2	224 19.2	83 7.1	68 5.8	14 1.2	104 8.9
	福祉を充実する責任は行政(国や県、市町村)にあるので、住民は特に協力することはない	N=86	-	5 5.8	1 1.2	20 23.3	6 7.0	3 3.5	2 2.3	1 1.2
	行政の手の届かない福祉課題については、住民が協力していくべきである	N=178	9 5.1	3 1.7	10 5.6	30 16.9	9 5.1	15 8.4	1 0.6	1 0.6
	福祉課題については、行政も住民も協力し合い、共に取り組むべきである	N=747	34 4.6	42 5.6	48 6.4	171 22.9	62 8.3	43 5.8	6 0.8	6 0.8
	住民が福祉課題に積極的に取り組み、行政に頼るべきではない	N=19	1 5.3	1 5.3	1 5.3	1 5.3	3 15.8	2 10.5	-	-
	その他	N=15	-	2 13.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	2 13.3	5 33.3	1 6.7
	不明・無回答	N=123	-	1 0.8	-	1 0.8	2 1.6	3 2.4	-	95 77.2

Ⅲ 課題のまとめ

1. 回答者について

回答者の年齢については、60歳以上が半数を占めており、小学校区別にみると『柏原小学校区』『山東小学校区』『河南小学校区』では60歳以上の割合が60%を超えています。

また、家族構成については、「親と子の2世代世帯」が半数近くとなっており、小学校区別にみると、「ひとり暮らしの単身世帯」は『米原小学校区』、「祖父母と親と子の3世代世帯」は『伊吹小学校区』において他の小学校区よりも高くなっています。

2. 地域とのかかわりなどについて

地域に愛着を感じる理由については、居住年数や住環境以外にも、地域との交流があること、また、愛着を感じない理由については、生まれ育ったまちではないこと以外にも、地域との交流が少ないことが多く挙げられており、地域とのかかわりの有無が地域への愛着に大きく影響しています。

身近な地域の範囲については、「自治会」が最も高くなっているものの、前回調査より減少しており、一方で、「旧町域」「米原市」「湖北地域」が増加していることから、身近な地域の範囲が拡大していることがうかがえます。

近所付き合いの程度については、前回調査よりも「困った時には互いに助け合う」が減少する半面「あいさつをする程度」が増加しており、地域の希薄化が進んでいることがうかがえます。その中で、居住年数が長い住民が多く住む地域では、「困った時には互いに助け合う」が高い傾向にあるため、居住年数の長さにかかわらず地域とのかかわりを深められる取り組みの推進が必要です。

また、地域の人たちが協力して取り組んでいくことが必要な問題については、「地域住民同士の交流・接点づくり」が多く挙げられていることから、まずは身近な地域における交流活動を活性化させ、地域への愛着心を向上させることで、まち全体の活力の向上につながることを期待されます。

3. 日常生活について

日常生活における困りごとや悩み・不安については、「心身の健康」や「老後の生活設計」など、高齢化に関する課題が多く挙げられています。また、20歳代から30歳代以上では「家計」など経済的な課題が、30歳代から40歳代では「災害への備え」など防災対策が課題として挙げられています。

相談先については、家族・親戚や友人・知人が多く挙げられている一方で、行政や社会福祉協議会などの公的機関は少なくなっており、相談内容によって相談先を選択されていることがうかがえます。

ご近所に困っている人がいる時にできることについては、「安否確認の声かけ」や「話し相手」などが多く挙げられており、気軽にできる支援として促進を図る必要があります。また、困っている人への手助けに向けて必要な支援については、「気軽に相談できる窓口」が多く挙げられており、地域の困りごとと手助けをつなぐための支援の充実が必要です。さらに、困っている人に対してちょっとした家事ができる人では「活動に関する研修や講習会」、災害避難時の付添いができる人では「人材・リーダーの育成」も多く挙げられており、困りごと等への解決に向けた地域の人材育成も必要です。

4. 地域活動・ボランティア活動について

住んでいる地域の住民自治活動について、さらに活発にするためには、「住民一人ひとりが地域への関心を高めること」や「みんなが気軽に参加できる地域イベントの開催」「近所の人とのつながりをつくる」が多く挙げられており、地域への自分事としての参画を促進するため、身近な活動やイベント等の交流の場の創出が必要です。

参加したことがある地域活動については、「住民自治活動」以外にも、「美化・環境活動」や「防災活動」が多く挙げられており、子どもから高齢者まで、幅広く参加できる活動の参加経験が高くなっています。

地域活動に参加したくない理由については、「仕事や家事で忙しい」や「興味がない」、また、参加したいと思う機会については、「時間や日程の都合が合えば」が多く挙げられており、地域活動における役割の細分化や負担の軽減、気軽に参加できる活動の拡充が必要です。また、「地域の組織からの呼びかけ」や「家族等からの誘い」も多く挙げられており、参加の拡大に向けた地道な声かけや誘いが重要です。

地域における助け合いや支え合いの活動を活発にするために必要なことについては、「地域における温かな人間関係（信頼関係）の構築」が多く挙げられており、住む人みんなに優しい、開かれた地域づくりが求められています。

5. 災害時の支え合いについて

避難行動要支援者登録制度の認知度については、「知らない」が半数以上となっており、自治会など地域を挙げたさらなる登録の促進が必要です。

災害時に対する地域の備えとして大切なことについては、「避難所・避難経路・備蓄等の適切な確保」などのハード面の取り組みだけでなく、「自主的な災害への備え」や「地域での防災・避難訓練」「危険箇所の点検や、避難に助けが必要な人の把握」「近隣・地域での住民同士の関係づくり」などのソフト面の取り組みも多く挙げられています。災害時に対する備えとして、日頃からの助け合い、支え合いの関係づくりを進めるとともに、災害に対する取り組みを推進することで日常生活での助け合い、支え合いにもつなげていくことが重要です。

6. 地域福祉に関する制度や機関、団体について

福祉に関する情報の入手先については、「自治会」や「新聞・雑誌・テレビ・ラジオ」が多く挙げられており、また、20歳代から30歳代以上では「インターネット」、70歳代では「市役所」も多く挙げられているため、情報の対象者を考慮した内容の充実や情報発信体制の強化が必要です。

地域福祉に関する制度や機関、団体については、若い世代では認知度が低くなる傾向にあるため、若者を対象としたイベントの開催や、子どもの頃からの福祉教育や体験活動の充実が必要です。

また、成年後見制度や障害者差別解消法、生活困窮者自立支援制度については、高齢者ほど認知度が低くなる傾向があるため、身近な事例を取り上げるなど、より分かりやすくする工夫が必要です。

地域包括ケアシステムや地域包括支援センターの業務内容の周知については、高齢者だけでなく、介護を受ける前の立場や家族を介護する立場である、40歳代から60歳の中年層も重点的な対象としていくことも必要です。

米原市社会福祉協議会の認知度については、9割近くとなっている一方で、活動内容の認知度については半数程度となっています。認知度や充実への期待度が高い事業以外にも、認知度が低いものの今後さらに重要となる生活支援サービスや福祉教育などについても、充実を図る必要があります。

7. 米原市の地域福祉施策について

福祉サービスを安心して利用できるようにするため、充実を図ることについては、「適切な利用を支援する相談窓口の充実」や「安心して気軽に相談できる窓口の充実」が多く挙げられており、幅広く対応してもらうことができ、かつ安心して気軽に利用できる相談体制の整備が求められています。また、「福祉サービスにかかわる人材育成の充実」も多く挙げられており、福祉サービスの充実に向けて、基盤となる多様な人材の育成が求められています。

福祉を充実させるうえでの行政と住民との関係について、行政と住民の協働により福祉課題を解決していくことが求められており、行政や住民をはじめ、関係機関・団体も巻き込んだ、地域丸ごと、総ぐるみのまちづくりのさらなる推進が必要です。

米原市が健康や福祉を充実するうえで取り組むべき施策については、「高齢者や障がい者が安心して在宅生活をおくれるサービスの充実」が多く挙げられており、住み慣れた地域で生活しながらサービスを受けられる環境づくりが求められています。また、20歳代から30歳代の子育て世代からは、「子育てが安心してできる子育て支援サービスの充実」が多く挙げられており、子育て環境の充実も求められています。さらに、行政と住民が協力しながら共に取り組むことも求められているため、行政と住民が地域課題の解決に向けて話し合うことができる機会をさらに確保するとともに、交流を深めていくことで、今後も協働で福祉のまちづくりに取り組む必要があります。

**「第2次まいばら福祉のまちづくり計画」
策定のためのアンケート調査
結果報告書**

【発行年月】平成30年3月

【発行・編集】米原市健康福祉部くらし支援課

〒521-0292 米原市長岡 1206 番地

TEL : 0749-55-8110 FAX : 0749-55-8130

E-mail : fukushi@city.maibara.lg.jp